



Gunma Museum of Art,  
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

群馬県立館林美術館年報 平成17年度

# Annual Report

---



---

# 目次

---

## •展覧会 p.5

- A 展覧会一覧 p.5
- B 企画展示記録 p.6
- C 特別展示記録 p.35
- D コレクション展示記録 p.39
- E 観覧者数一覧表 p.52

## •教育普及 p.53

- A 講演会 p.53
- B 作品解説会・ギャラリートーク p.53
- C ワークショップ p.55
- D 創作体験コーナー みんなのアトリエ p.57
- E 美術講座 p.57
- F ミュージアム・オリエンテーリング GMAT探検隊 p.58
- G 子どもミュージアム・スクール p.58
- H アーティスト・トーク p.59
- I パフォーマンス p.59
- J 学校連携その他 p.60
- K 刊行物 p.61
- L ボランティア p.63
- M 博物館実習 p.63
- N 友の会 p.63

## •所蔵資料 p.64

- A 美術作品 p.64
- B 図書資料その他 p.86

## •関係者および職員名簿 p.87



## (1)企画展示

展示名	会期、会場	内容
「植物画の世界 －高知県立牧野植物園所蔵 作品を中心に－」	4/16～6/12 展示室2～4	西洋および日本の近現代に、植物学の研究にともない展開してきた植物画の歴史を、高知県立牧野植物園の所蔵作品を中心に、原画、版画、書籍による250余点で紹介。
「夏の蟹気楼－自然をうつ しだす現代の作家たち－」	6/25～8/31 展示室1～4	現代作家10名の表現にみられる自然の存在に焦点をあて、そこに表れた自然の様相を、絵画、写真、ドローイング、立体、映像、インスタレーション、パフォーマンス等で紹介。
「ハンス・アルプ展 －20世紀彫刻の開拓者－」	9/11～11/27 展示室1～4	丸みを帯びた「有機的形態」を生み出し、20世紀彫刻のパイオニアと称されるハンス・アルプの世界を、絵画、コラージュ、レリーフ、彫刻等約190点で紹介。

## (2)特別展示

展示名	会期、会場	内容
鵜飼美紀+辻和美 －光のかげら－	12/10～4/2 展示室1、 エントランス 中庭	自然光の入る展示室1を主な会場に、鵜飼美紀は水を入れたガラスのうつわによるインスタレーションを、辻和美はしずくの形をしたガラスを天井から降らせたインスタレーションを行った。

## (3)コレクション展示

展示名	会期、会場	内容
近現代の彫刻 I	4/16～6/12 展示室1	フランソワ・ポンボン、ブルーノ・ロメダなど近現代彫刻を展示。
1950年代(昭和25-34年)の美術	12/10～4/2 展示室2	群馬県のコレクションから1950年代の日本の美術を展示。
柄澤齊	12/10～1/15 展示室3	版画家柄澤齊の版画集「樹々の家族」全61点を展示。
宮脇愛子	1/18～2/19 展示室3	美術家宮脇愛子の1960年代の立体と平面作品を展示。
藤牧義夫と『新版画』	2/22～4/2 展示室3	版画家藤牧義夫が参加したグループの機関誌『新版画』のうち5冊分を紹介。
2004年度新収蔵作品 近現代の彫刻 II	12/10～4/2 展示室4	平成16年度新収蔵作品と、フランソワ・ポンボン、アリストイード・マイヨールなどの近現代彫刻を展示。

1.植物画の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—

会期 平成17年4月16日(土)～6月12日(日)  
 会場 展示室2、3、4  
 主催 群馬県立館林美術館  
 協力 高知県立牧野植物園  
 観覧料 一般800(640)円、大高生400(320)円  
 ( )内は20名以上の団体割引料金

本展では、ヨーロッパおよび日本の近現代に制作された植物画の世界を、高知県立牧野植物園所蔵のコレクションを中心に原画、版画および書籍による約250点のイメージにより紹介した。

高知県立牧野植物園所蔵のコレクションは、牧野富太郎の植物画と蔵書、彼が収集した江戸時代末期の植物画に、ヨーロッパ近代の植物図譜などが加わったものである。本展はこのコレクションを中心に、町田市立国際版画美術館、千葉県立中央博物館、館林市立資料館、その他を加えて、展覧会をヨーロッパと日本の2章に分け、時代に沿って、それぞれを三つのセクションをもうけて構成し、植物画の芸術性を、歴史や博物学との関係を含めて紹介したものである。

ヨーロッパでは、ルネサンス期の自然科学の復興と大航海

時代を背景に、植物画が植物学の記録手段として重視され、その成果は16世紀の木版刷り本草書にあらわれる。17世紀には、銅版植物画が登場し、さらに未知の土地での植物探検から新種植物を紹介する図版が生み出された。産業革命以降は英仏を中心に園芸植物が流行、多数の美しい植物画集や雑誌が刊行される黄金時代を迎えた。

一方、日本では江戸後期に蘭学の刺激を受けて博物学への関心が高まり、小野蘭山など先駆者によって植物画を伴う植物研究書が刊行された。また、シーボルトの日本における植物研究は見事な図版入りの『日本植物誌』に結実する。いっぽう飯沼慾斎は西欧植物学を取り入れて、『草木図説』を著している。

明治期には植物学の近代化が進む。牧野富太郎が最新の植物形態学と分類学による日本の完全な植物誌の執筆・植物図制作を計画し、精緻な植物画とともに植物学の隆盛を招いた。

現代では写真による植物図鑑が主流である。しかし、植物学のパートナーとして、科学的正確性と芸術性の両面を有し、部分図や拡大図や断面図を組み合わせ、植物の種の全容をその魅力とともに伝え現代の植物画も健在である。現代のセクションではその未来を探った。



ポスター



図録



ジュニアガイド

# 出品目録

No. 著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
1 ヨハン・シェーンスペルガー刊行 ヨハン・フォン・グーバ著	『健康の庭』	1485.8.22.刊	木版、手彩色 3葉	c.29.8×c.21.5	町田市立国際版画美術館	☆
2 コンラート・ディンクムート刊行	『健康の庭』	1487.3.31.刊	木版、手彩色 3葉	c.25.6×c.18.4	町田市立国際版画美術館	☆
3 アントワーヌ・ヴェラール刊行	『健康の庭』	1501-02刊	木版、手彩色 3葉	c.29.9×c.23.3	町田市立国際版画美術館	☆
4 ヤン・ファン・デル・ロー刊行 レンベルトゥス・ドドネウス著	『草木譜』 4-1 キンボウゲ科トリカブト属	1555刊	木版、手彩色	29.7×21.0	高知県立牧野植物園	
5 ピエトロ・アンドレア・マッティオリ著、 ジョルジオ・リベラーレ、 ヴォルフガング・マイアーベック デザイン・版刻	『ディオスコリデスの薬物 書注釈』 5-1 版木 5-2 図版(現代の刷り)	1562刊	木版、手彩色	20.0×15.0	町田市立国際版画美術館	
6 バシリウス・ベスラー著	『アイヒシュテットの園』 6-1 キョウチクトウ 6-2 スイセン	1613刊	エングレーヴィング、手彩色	55.0×44.0	高知県立牧野植物園	
7 クリストフ・ブランタン刊 レンベルトゥス・ドドネウス著	『草木譜』 7-1 トウダイグサ科チャボタイゲキ(?)	1644刊	木版、手彩色	27.5×19.1	高知県立牧野植物園	
8 ピエトロ・アンドレア・マッティオリ著	『ヘルバリウム・ウィクト ルム』	1676刊	木版 8葉	31.0×19.0	高知県立牧野植物園	☆
9 マリア・シビラ・メーリアン作画	アイリスと蛾の幼虫、蛾 (ジャーマンアイリス) / 『幼虫食草変態図譜』 (1679,1683,1717刊行 第35図)	1700頃	水彩(ヴェラム)	18.7×14.7	高知県立牧野植物園	
10 ヨハン・ヴィルヘルム・ヴァインマン著 ゲオルク・ディオニシウス・ エーレット作画	『花譜』 10-1 キク科ヤナギタンポポ属 10-2 ノウセンカズラ科クレセンティア属(?) / イネ科オオムギ属 10-3 イチヤクソウ科 10-4 キンボウゲ科ラナンキュラス属 10-5 シソ科サルビア属 10-6 ウマノスズクサ科ウマノスズクサ属(?) / シソ科イブキジャコウ属(?) 10-7 アブラナ科シロガラシ属(?) 10-8 ミクリ科	1734-1745刊	多色刷銅版、手彩色	40.2×25.0	高知県立牧野植物園	
11 ヨハン・ヴィルヘルム・ヴァインマン著 ゲオルク・ディオニシウス・ エーレット作画	『花譜』	1734-1745刊	多色刷銅版、手彩色 刊本 解説・図説各 4 冊	各c.41.0×c.26.4×c.5.7	館林市立資料館	☆
12 クリストフ・ヤコブ・トリュー著 ゲオルク・ディオニシウス・エー レット他作画 ヨハン・ヤコブ・ヘイ ド版刻、彩色	『植物選集』 12-1 ヨルノジョウウ(月下美人) 12-2 イチジク(解剖図) 12-3 イチジク(全体図)	1750-1773刊	エッチング、手彩色	52.1×36.2	高知県立牧野植物園	
13 ゲオルク・ディオニシウス・エー レット画	スターチス*	1750頃	水彩(ヴェラム)	25.0×17.0	高知県立牧野植物園	
14 ビエール・ジョゼフ・ピュショール著	『エデンの園』 14-1 (不明) 14-2 コチレドン・オービキュラータ 14-3 コケモモ 14-4 (不明)	1783刊	銅版、手彩色	47.5×28.5	高知県立牧野植物園	
15 ウィリアム・カーティス、ジョン・ シムズ他刊行	『カーティス・ボタニカル・ マガジン』	1787~刊行中	銅版、手彩色 / 多色刷石版	24.0×15.0 (※は24.0×30.0)	高知県立牧野植物園	
15-1 ジェイムズ・サワビー作画	アイリス	1787				○
15-2 フェシット・サンズム作画 ・彫版	スイセン	1792				●
15-3 シドナム・エドワーズ作画 フェシット・サンズム彫版	エンレイソウ	1800				○

No. 著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
15-4	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	トケイソウ	1803			●
15-5	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ジャーマンアイリス	1803			○
15-6	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ニオイイリス	1803			●
15-7	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ヒガンバナ科ネリネ属	1804			○
15-8	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ネギ科	1806			●
15-9	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	アロエ(ユリ科ガステリア 属ピカラー)	1806			○
15-10	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ジャスミン	1806			○
15-11	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ユリ(リリウム・ブルビフェ ルム)※	1807			●
15-12	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	カタバミ科オキザリス属	1807			○
15-13	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ヒガンバナ科ハマユウ属※	1807			●
15-14	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ツノゴマ	1807			●
15-15	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	ユリ科※	1812			○
15-16	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	オニバス※	1812			○
15-17	シドナム・エドワーズ描画 フェシット・サンスム彫版	スマレ	1812			●
15-18	シドナム・エドワーズ描画	クチナシ(コクチナシ?)	1816			○
15-19	描画者不明	ダリア	1817			●
15-20	描画者不明	ニムファエア・ステラータ	1819			●
15-21	ウィリアム・ジャクソン・フッ カー描画	ベゴニア	1830			○
15-22	ウィリアム・ジャクソン・フッ カー描画	トケイソウ※	1830			●
15-23	ウィリアム・ジャクソン・フッ カー描画	モモタマナ※	1830			●
15-24	ウォルター・フィッチ描画	ラン(グラマトフィルム・ スペキオム)※	1860			○
15-25	ウォルター・フィッチ描画	サトイモ科アロカーシア属 ※	1860			○
15-26	マチルダ・スミス描画	スワンリバーマートル	1912			●
15-27	マチルダ・スミス描画	アガベ・マルモラータ	1912			○
15-28	マチルダ・スミス描画	アジサイ (サルゲンティアナ)	1912			●
16	ロバート・ジョン・ソーントン著	『フローラの神殿:リンネの 雌雄蕊分類法新解説図法』	1798-1807刊	ステイプル・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	36.8×29.2	町田市立国際版画美術館



No.	著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
16-1	エーブラム・ペザー描画	スノードロップ (マツユキソウ)	1804	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	48.0×34.6		○
16-2	エーブラム・ペザー描画	ベルシア・シクラメン	1804	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	48.4×40.8		○
16-3	シドナム・エドワーズ描画	ヒヤシンス	1801	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	54.6×43.5		○
16-4	ロバート・ジョン・ソーントン 描画	バラ	1805	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	48.4×37.3		●
16-5	ピーター・ヘンダーソン描画	オーリキュラ	1803	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	40.0×52.2		○
16-6	フィリップ・ライナグル描画	チューリップ	1808	メゾチント(多色)、 一部手彩色	48.0×36.0		○
16-7	フィリップ・ライナグル描画	アオノリュウゼツラン	1798	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	44.0×36.2		○
16-8	ピーター・ヘンダーソン描画	ゲットウ	1801	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	51.8×38.8		●
16-9	フィリップ・ライナグル(花)、 エーブラム・ペザー(背景) 描画	ヨルノジョオウ	1800	メゾチント(多色)、 一部手彩色	48.6×36.4		○
16-1	フィリップ・ライナグル描画	ベニゴウカン	1799	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	47.2×36.0		●
16-11	フィリップ・ライナグル描画	ブルー・パッション・ フラワー(トケイソウ)	1800	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	51.4×38.4		○
16-12	ピーター・ヘンダーソン描画	クアドランギュラー・パッ ション・フラワー	1802	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	55.2×40.6		●
16-13	ピーター・ヘンダーソン描画	白ユリ	1800	ステイプルス・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	53.1×39.0		●
16-14	フィリップ・ライナグル描画	カナダユリ	1799	メゾチント(多色)、 一部手彩色	48.0×36.0		○
16-15	ピーター・ヘンダーソン描画	ドラゴン・アルム	1801	メゾチント(多色)、 一部手彩色	47.4×35.2		○

No. 著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
16-16	ピーター・ヘンダーソン描画 スタペリア	1801	ステイップル・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	52.2×40.2		●
16-17	ピーター・ヘンダーソン描画 アメリカン・カウスリップ	1801	ステイップル・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	44.8×35.8		●
16-18	フィリップ・ライナグル描画 ハナガサジャクナゲ	1804	ステイップル・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	53.8×40.9		●
16-19	ピーター・ヘンダーソン描画 エジプト・ハス	1804	ステイップル・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	45.8×37.7		●
16-20	ピーター・ヘンダーソン描画 エジプト睡蓮	1804	ステイップル・エンブレ ーヴィング、エッチング、 アクアチント(多色)、 一部手彩色	51.8×39.8		●
17	ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ描画 【ユリ科植物図譜】 17-1 ギボウシ 17-2 トゲイクシア 17-8 イクシア 17-3 マルタゴンリリー 17-4 チューリップ 17-5 ムラサキオモト 17-6 イトラン 17-7 ハマユウ	1802-1816刊	ステイップル・エンブレ ーヴィング	53.7×36.0	高知県立牧野植物園	
18	デュアメル・デュ・モンソー著(シャ ルル・ブリッソー=ミルベル増訂) ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ描画 【フランスで露地栽培され る喬木と灌木についての 論考、新デュアメル】 18-1 コンプトニア・ケテラック 18-2 ビテルディエラ・スカンジス 18-3 ウィプルヌム・ティヌス 18-4 ポプルス・エテロフィラ 18-5 ミリカ・ペンシルヴァニカ 18-6 カルピナス・ベトウルス 18-7 ハレリア・ルキダ 18-8 ツバキ(新版)	1801-1819刊	ステイップル・エンブレ ーヴィング	48.2×33.2	高知県立牧野植物園	
19	ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ描画 【J.-J.ルソーの植物学】 19-1 スイセン 19-2 サフラン	1824刊	ステイップル・エンブレ ーヴィング	35.4×26.2	高知県立牧野植物園	
20	ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ描画 【バラ図譜】 20-1 ロサ・ケンティフォーリア・ ムスコサ 'アルバ' 20-2 ロサ・フェティダ	1824刊	ステイップル・エンブレ ーヴィング フォリオ版	35.6×25.0	高知県立牧野植物園	
21	ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ描 画 【バラ図譜】 21-1 ロサ・グラウカ×?ロサ・ピンビ ネリフォーリア(ルドゥーテ) 21-2 ロサ・ステイローサ・ファスティギアーダ 21-3 ロサ・ケンティフォーリア系 21-4 ロサ・ガリカ系	1824-27刊	ステイップル・エンブレ ーヴィング オクタヴォ 版	22.2×15.0	高知県立牧野植物園	
22	ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ描画 【美花選】 22-1 ヤブツバキ	1827-1833刊	ステイップル・エンブレ ーヴィング	31.8×23.4	高知県立牧野植物園	

No.	著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
23	ロンドン園芸協会編著 ウィリアム・ジャクソン・フッカー他画	『ロンドン園芸協会報』 23-1 イチゴ 23-2 モクマオウ科(?) 23-3 キク 23-4 キク 23-5 ジャガイモ	1807-1848刊	ステール・アクアチン ト、石版	29.8×22.4	高知県立牧野植物園	
24	F.-P.ショームトン、J.-L.M.ボワレ、 J.-B.シャンベレ著・P.-J.-F.テュルパン	『薬用植物事典』 24-1 トリカブト(?) 24-2 ウサギギク 24-3 コロハ 24-4 ロベリア	1815-20刊	ステップル・エンブレ ーヴィング	24.4×16.3	高知県立牧野植物園	
25	ジョゼフ・ロック著 エドゥアール・ オカール描画	『薬用植物誌』 25-1 ナス科ヒヨス属 25-2 タバコ	1821-22刊	ステップル・エンブレ ーヴィング	29.2×21.8	高知県立牧野植物園	
26	ジョゼフ・バクストン著 フレデリッ ク・スミス描画	『マガジン・オブ・ボタニー ・アンド・レジスター・オブ ・フラワリング・プランツ』 26-1 カニサボテン 26-2 シャクナゲ 26-3 ハナシノブ科フロックス属	1834-49刊	石版、手彩色	30.0×24.2	高知県立牧野植物園	
27	シャルル・ルメール、M.シャイドワイ ラー、ルイス・ヴァン・ホーテ著 ジョーゼフ・フッカー描画	『ヨーロッパの温室と庭園 の花』 27-1 ヒマラヤハッカクレン 27-2 オオオニバス 27-3 シャクナゲ※ 27-4 シャクナゲ※	1845-1855刊	多色刷石版	33.0×24.7 (※のあるものは 50.4×33.5)	高知県立牧野植物園	
28,29	ジョーゼフ・フッカー著・描画 ウォルター・フィッチ製版	『シッキム・ヒマラヤのシ ャクナゲ』 28 書籍 29 シャクナゲ	1849-51刊	石版、手彩色	50.8×39.0 49.7×37.0	高知県立牧野植物園	☆
30	アレクサンドル・ヴェルシャフェル ト著 ベルナル・レオン、L.スト ーバンド、G.セヴェレイン他描画・ 製版	『新ツバキ属図譜』 30-1 ツバキ 30-2 ツバキ	1848-1860刊	多色刷石版	25.1×16.9	高知県立牧野植物園	
31,32	ヘンリー・ジョン・エルウィズ著 ウォルター・フィッチ描画	『ユリ属の研究』 31 書籍 32 ヤマユリ	1877-80刊	石版、手彩色	56.0×40.0×4.5 53.7×36.0	高知県立牧野植物園	☆
33	アグリコル社刊 ルイス・セシル・デ シャン=サブーレ他描画	『ルヴェ・オルティコル』 33-1 ホオズキ 33-2 カキ 33-3 モモ	1878刊	多色刷石版	25.4×16.7	高知県立牧野植物園	
34	ロバート・ワーナー著 ジョン・ニュ ージェント・フィッチ描画	『ラン画集』 34-1 カトレア 34-2 パンダ	1882-1897刊	石版、手彩色または 多色刷石版	30.8×23.4	高知県立牧野植物園	
35	ルドルフ・ゲーテ他著、ウォルター・ ミュラー描画	『林檎と梨図譜 ドイツの 主要核果種』 35-1 リンゴ 35-2 リンゴ 35-3 洋ナシ	1894刊	多色刷石版	25.6×17.9	高知県立牧野植物園	
36	王立園芸協会刊 アーサー・グローヴ 他著 リリアン・スネリング他描	『ユリ属の研究補遺』	1934-1940、 1960-62刊	石版、手彩色または 多色刷石版 書籍	56.0×37.5	高知県立牧野植物園	☆
37	作者不詳	上毛館林城沼所産水草図	1845	紙本淡彩 卷子	30.4×236.2	館林市立第一資料館	☆
38	京都 永田調兵衛、大路儀右衛門版 島田充房、小野蘭山著・描画	『花鑑』	1759-63刊	木版 全8冊	26.0×18.0	高知県立牧野植物園	

No. 著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
39 大坂 柳原喜兵衛版 橋保国著・描画	『絵本野山草』 (文化3彩色版)	1806刊	多色刷木版 全5冊	22.2×15.2	高知県立牧野植物園	
40 本草図譜刊行会 岩崎灌園著・描画 (索引)岩本米太郎編	『本草図譜』(大正版)	1916-1920刊 (原著:1828刊)	多色刷木版 全95冊 のうち20冊	26.0×18.0	高知県立牧野植物園	
41 飯沼愨齋描画	『草木図説 草部』	1856、1861、 1862刊	木版 全20冊	27.0×19.0	高知県立牧野植物園	
42 成田屋留次郎蔵板 幸良弼著 野村文 紹描画	『都鄙秋興』(新版)	1854刊	多色刷木版 全1冊	18.0×12.5	高知県立牧野植物園	
43 大坂 前川善兵衛版 川原慶賀著・描画	『草木花実写真図譜』	1870刊	多色刷木版 全4冊	29.8×19.0	高知県立牧野植物園	
44 シーボルト著・川原慶賀描画	『日本植物図譜』(復刻版)	1993刊	印刷 丸善株式会社 全2冊	51.5×36.1	高知県立牧野植物園	
45 関根雲停描画	植物画	1845-1850	水彩		高知県立牧野植物園	
	45-1 ビワ	1845		28.1×40.4		
	45-2 リュウガン	1849		40.0×28.0		
	45-3 キンサンジゴ	1849		40.3×29.0		
	45-4 タンボボ	制作年未詳		40.0×28.0		
	45-5 ノーゼンハレン	制作年未詳		40.0×28.0		
	45-6 キンボウゲ科一種図	制作年未詳		27.0×39.0		
	45-7 サユリ	制作年未詳		27.0×39.0		
	45-8 ツキミソウ	制作年未詳		40.2×29.1		
	45-9 オキナグサ*	制作年未詳		27.3×39.3		
	45-10 ヤエキョウチクトウ (キョウチクトウ)	制作年未詳		27.4×39.6		
	45-11 アジサイ	制作年未詳		27.4×39.6		
	45-12 ホトトギス* (ムラサキホトトギス)	制作年未詳		27.3×39.5		
	45-13 フクジュソウ	制作年未詳		29.1×42.0		
	45-14 パイナップル	制作年未詳		29.1×40.2		
46 服部雪齋描画	植物画	1872-1911	水彩		高知県立牧野植物園	
	46-1 サフラン	1872		27.3×19.2		
	46-2 ナニワイバラ	1873		19.4×27.4		
	46-3 トチノキ	1873		21.6×28.6		
	46-4 ベニバナ	1873		25.4×21.0		
	46-5 ホテイユリ	1874		20.0×29.0		
	46-6 ナゴラン	1874		27.3×19.2		
	46-7 ヤマユリ	1874		27.5×39.4		
	46-8 クロマツ	1874		25.1×20.2		
	46-9 キクイモ・ジャガ タライモ	1874		24.0×35.5		
47 牧野富太郎描画	植物画	1887-1911	墨、鉛筆、石版他		高知県立牧野植物園	
	47-1 コ克蘭 『日本植物志図篇』 1巻8集47図の原図	1887	毛筆、墨	27.1×19.2		
	47-2 ヒメキリンソウ 『日本植物志図篇』 1巻10集6図の原図	1889	毛筆、墨、水彩	24.5×16.5		
	47-3 ムジナモ(石版図) 『日本植物志図篇』 1巻12集70図	1891	石版	27.4×38.6		
	47-4 ムジナモ(予備図) 『日本植物志図篇』 1巻12集70図の原図	1891	毛筆、墨、鉛筆	27.5×38.0		

No. 著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
	47-5 ムジナモ(予備図) 『日本植物志図篇』 1巻12集70図の原図	1891	毛筆、墨、鉛筆	27.5×38.6		
	47-6 イワヤシダ 『新撰日本植物図説』 1巻5集22図の原図	制作年不詳	毛筆、墨	27.2×19.7		
	47-7 ツルホラゴケ 『新撰日本植物図説』 1巻5集22図の原図	制作年不詳	毛筆、墨	27.3×19.4		
	47-8 シコクチャルメルソウ(全形図) 『大日本植物志』 1巻2集4図の原図	制作年不詳	毛筆、墨	42.0×30.5		
	47-9 シコクチャルメルソウ(部分図) 『大日本植物志』 1巻2集5図の原図	制作年不詳	毛筆、墨	41.0×32.0		
	47-10 オキナグサ	制作年不詳	毛筆、墨	27.5×19.4		
	47-11 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	8.9×13.4		
	47-12 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	8.9×13.4		
	47-13 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	9.0×13.6		
	47-14 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	13.4×8.9		
	47-15 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	12.0×11.9		
	47-16 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	10.6×15.3		
	47-17 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	10.6×15.2		
	47-18 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	16.4×10.5		
	47-19 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	15.0×11.8		
	47-20 ウメ	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	2.2×15.2		
	47-21 サクユリ(全形図) 『大日本植物志』 1巻2集7図の原図	制作年不詳	毛筆、墨	40.3×29.1		
	47-22 サクユリ(部分図) 『大日本植物志』 1巻2集8図の原図	制作年不詳	毛筆、墨	41.1×31.2		
	47-23 オオヤマザクラ 『大日本植物志』 1巻4集15図の原図(山田壽雄との共作)	制作年不詳	毛筆、墨	40.5×28.0		
	47-24 モクレイシ(全形図) 『大日本植物志』 1巻4集12図の原図(山田壽雄との共作)	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	45.5×31.7		
	47-25 モクレイシ(部分図) 『大日本植物志』 1巻4集14図の原図	制作年不詳	毛筆、墨、鉛筆	41.0×30.4		
	47-26 オオヤマザクラ 『大日本植物志』 1巻4集14図	1911	石版	48.3×33.6		
	47-27 ホテイラン 『大日本植物志』 1巻4集16図	1911	多色刷石版	47.6×35.4		
48 二口善雄描画	『理科図集』のための原画		水彩、鉛筆		千葉県立中央博物館	
	48-1 キツタ	1943		56.0×37.8		●
	48-2 サツマイモ	1943、1945、1950		55.2×37.5		○
	48-3 クガイソウ	1944		56.2×37.3		○
	48-4 シシウド	1944		55.5×37.5		●
	48-5 ツルレイシ	1944		59.0×38.0		○
	48-6 イノコズチ	1944		60.7×41.8		○
	48-7 ヤブガラシ	1944、1949、1954		55.0×37.5		○

No. 著者・作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
	48-8 カラスムギ	1945		59.0×38.0		●
	48-9 ラッキョウ	1948、49		55.8×37.2		○
	48-10 ラッカセイ	1949		56.0×38.0		○
	48-11 シナノキ	1954		56.0×37.8		●
	48-12 イソギク	1954		56.2×37.5		●
	48-13 ツルウメモドキ	1954		56.0×37.5		●
	48-14 アズマネザサ	1955		55.0×39.5		●
	48-15 ホトトギス	1959		55.0×39.4		○
49 二口善雄描画	【画集 椿】原画	1992刊		水彩、鉛筆	高知県立牧野植物園	
	49-1 白拍子	1986		26.8×22.5		○
	49-2 花大臣	1988		28.4×20.0		●
	49-3 唐椿	1988		26.5×21.5		○
	49-4 蜀紅	1987		28.4×20.2		●
	49-5 玉之浦	1982		27.0×21.6		○
	49-6 玉簪	1988		28.4×20.4		●
	49-7 岩根紋	1988		27.8×20.2		●
	49-8 漣	1988		27.0×22.0		○
	49-9 酒中花	1986		26.0×21.0		○
	49-10 紅千鳥	1986		32.0×23.3		○
	49-11 袖隠	1989		35.8×25.3		●
	49-12 蝶の花形	1987		35.8×25.0		●
	49-13 シロヤブツバキ	1976		27.5×38.2		○
	49-14 フランス白	1977		38.3×27.0		●
	49-15 錦魚葉椿	1986		40.5×28.5		○
50 太田洋愛描画	【原色日本のラン 日本ラ ン科植物図譜】原画	1971刊	水彩		個人蔵	
	50-1 ラッキョウラン	1956		39.4×27.2		
	50-2 七鳥チドリ (ハチジョウチドリ)	1957		33.6×24.8		
	50-3 ヤクシマボンサイラン (部分)	1958		34.8×25.5		
	50-4 リュウキュウエビネ	1959		34.4×25.4		
	50-5 アカントフィビウム (奄美大島)	1960		26.8×38.4		
51 太田洋愛描画	【日本桜集】原画*	1973刊	水彩、鉛筆		個人蔵	
	51-1 天城吉野	1972		25.6×18.3		
	51-2 天の川	1969		21.4×14.7		
	51-3 アメリカ	1972		23.8×16.9		
	51-4 梅護寺数珠掛桜	1970		22.8×16.9		
	51-5 紅豊	1971		23.8×17.4		
	51-6 長州緋桜	1968		0.8×15.4		○
	51-7 福祿寿	1969		22.0×15.4		
	51-8 下馬桜	1972		23.6×15.8		
	51-9 寒桜	1970		24.8×17.5		●
	51-10 薄寒桜	1970		23.8×15.9		○
	51-11 鞍馬桜	1972		23.8×17.6		●
	51-12 静香	1970		23.9×18.0		
	51-13 染井吉野	1965		20.9×15.0		●
	51-14 カンヒザクラ	1969		22.9×15.5		
	51-15 ヤマザクラ	1971		21.9×16.5		○
※参考出品	ウィリアム・ジャクソン・フッカー著 ウォルター・フィッチ描画	庭園のシダ類 ヤマドリゼンマイ シダ類	1862刊	多色刷石版	高知県立牧野植物園	☆
				25.0×15.4 25.0×15.4		

- 
- ・材質については、紙の場合は省略し、紙以外の場合のみ( )で技法の後に記した。
  - ・サイズはペーパー・サイズを基本とし、作品名の後に「\*」のあるものはイメージ・サイズを記した。
  - ・会期中展示替えを行った作品については、No.の下に以下の記号を付した。  
○=4/16-5/15、●=5/17-6/12、☆=適宜(ページ替等)

◎印刷物・会場作成物

●図録 B5変形(25.7×18.2cm)104頁

内容:

あいさつ(館長 木島俊介)

植物画の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—(学芸員 松下由里)

カタログ(章解説:学芸員 松下由里)

第1章 ヨーロッパの植物画

第1節 植物画の黎明—15世紀末から17世紀—

第2節 博物学の時代—18世紀から19世紀初め—

第3節 園芸の開花—19世紀—

第2章 日本の植物画

第1節 江戸・明治の植物画

第2節 牧野富太郎の視線

第3節 現代の植物画

資料編

出品作品リスト

主用著書・画家解説(学芸員 伊藤佳之、徳江庸行、中島幸子、中田宏明、松下和美)

参考文献目録(抄)(学芸員 伊藤佳之)

編集・発行:群馬県立館林美術館

デザイン:矢萩喜從郎

制作:株式会社キジウロウ・ヤハギ

●ジュニアガイド A3、四つ折り

●ポスター B2

●チラシ A4

●パネル

挨拶パネル2枚(館長挨拶文 和文、英文)

解説パネル8枚

牧野植物園紹介パネル3枚

●会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に\*)

[新聞等]

●朝日新聞

4.11、5.7

「植物画の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」<群馬マリオン 沿線美術館情報>

●朝日ぐんま

5.27 「植物画(ボタニカル・アート)の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—科学的な知と芸術的な美の融合」\*<美術探訪>

●太田タイムス

4.2 「植物画の世界 館林美術館 4月16日から」\*

4.23 「植物画の世界 館林美術館で開催中」\*

●産経新聞

4.14 「植物画(ボタニカル・アート)の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」

●上毛新聞

4.8、6.10

「ボタニカル・アート植物画の世界」<気になる情報 ぱれっと>

4.11 「植物画の世界を紹介 16日から館林美術館 原画100点と版画140点」\*

4.11、5.19、6.5

「館林美術館企画展 植物画(ボタニカル・アート)の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」<ゆうまちゃんの掲示板>

4.11 「講演会「日本の植物画の系譜」」「植物画の世界」作品解説会

4.18 「植物画の世界 企画展記念し大場さん講演 館林美術館」\*

4.11、4.18、5.2

「館林美術館企画展「植物画の世界」作品解説会」<ゆうまちゃんの掲示板>

4.22、5.15、5.27

「企画展 植物画の世界」<週末の主な観光イベント>

4.29 「県立館林美術館 ボタニカル・アート植物画の世界」<県内美術館・博物館>

5.1 「身近な野草で植物画」

5.9 「美術館・博物館 他県と連携・交流広がる 高知の県立牧野植物園と企画展」

5.24 「昔の城沼 鮮明に 館林美術館企画展で展示 江戸時代の絵巻好評」\*

6.9 「ボタニカル・アートの世界」<ひろば(投稿欄)>

●上毛新聞シャトル(館林ニュース)

4.4、4.8、4.15、4.18、4.22、4.25、4.29、5.2、5.7、5.9、5.13、5.16、5.20、5.23、5.27、5.30、6.10

「企画展示 植物画(ボタニカル・アート)の世界」<出かけてみませんか 情報BOX>

4.8、4.15

「講演会「日本の植物画の系譜」<出かけてみませんか 情報BOX>

4.15、4.18、4.22、4.25、5.2、5.7、5.16、5.20、5.23、5.27

「植物画の世界 作品解説会」<出かけてみませんか 情報BOX>

4.10、4.22

「参加者を募集 太田三郎 ボタニ・プロジェクト」

4.22 「企画展「植物画の世界」生き生き咲く姿 精細に 欧州、日本の原画や版画250点」\*

4.10、4.24、5.8、5.22、6.5

「館林美術館 植物画の世界」<museum>

●東京新聞

4.20 「ボタニカル・アート 植物画の世界—」<お楽しみウィークリー>

4.28、5.12、5.26

「植物画の世界」<美術館、博物館>

●日本経済新聞

4.15 「植物画の世界」<文化イベント>

●毎日新聞

4.20、4.27、5.4、5.18、5.25、6.1、6.8

「館林美術館(館林市)「植物画の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」<見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム>

4.22、6.10

「館林市・植物画の世界」<ふれあい歳事記>

●まいにち

4、5月号

「群馬県立館林美術館 植物画の世界」<イベント・インフォメーション>

●群馬よみうり あみーご

4.16 「日本の植物画の系譜 県立館林美術館」<講演・講座>

4.16 「多々良沼の植物が教材 30日から全3回 ワークショップの参加者募集」

4.23 「館林 植物画の世界」<県内情報 東毛>

●日刊 協同組合通信

4.28 「植物画の世界—高知県立牧野植物園作品中心—」<特集 話題散策>

[定期刊行物]

●足利漫我人

4、5、6月号

「植物画(ボタニカル・アート)の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」<県立館林美術館情報>

●趣味の園芸

5月号 「植物画(ボタニカル・アート)の世界」展」<イベント>\*

●園芸新知識

5月号 「植物画(ボタニカル・アート)の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」

●ギャラリー

4、5、6月号

「植物画(ボタニカル・アート)の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」<全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ>

●ぐんま県民カレッジ講座

「植物画(ボタニカル・アート)の世界」「植物画(ボタニカル・アート)の世界作品解説会」<平成17年度ぐんま県民カレッジ講座一覧>

●ぐんま情報誌 からっ風

3・4月号 「植物画の世界—高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に—」(Art Museum 2005 美術館情報)



●芸術文化振興基金

No.20 「植物図譜展」<地域文化施設公演・展示活動・美術館展示活動>

●広報たてばやし

4.1号 「市指定重要文化財「植物彩色図」<館林市の文化財紹介③>\*

●広報めいわ

4月号 「館林美術館企画展示 県立館林美術館」<くらしの情報>

●広報めぬま

4月号 「群馬県立館林美術館 植物画の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に～」<もよおし>

●スタンビード

7月号 「県立館林美術館 ボタニカル・アート 植物画の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に～」<ギャラリースケジュール>

●版画芸術

128号 「植物画の世界展 館林美術館(群馬)」<Exhibition>

●ぶらざ

4、5月号

「植物画の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に」<ぎゅらり～>

6月号 「植物画の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に」<ぎゅらり～>

「特集 親子で体験 ときめきミュージアム「自然と人間」がテーマの近・現代美術館 群馬県立館林美術館 企画展「植物画の世界」

●ブラリ

5月号 「植物画 ボタニカル・アートの世界」<プレイガイド県内>

●マイ・リトル・タウン

4月号 「企画展示 植物画(ボタニカル・アート)の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に 記念講演会 ワークショップ」<EVENT GUIDE>

5、6月号

「企画展示 植物画(ボタニカル・アート)の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に」<EVENT GUIDE>

●渡良瀬通信

4、5月号

「植物画の世界」<Watarase Information 美術館>

6月号 「群馬県立館林美術館 植物画の世界」<One Day Trip 館林 多々良>

「植物画の世界」<Watarase Information 美術館>

●博物館研究

Vol.40 No.4、Vol.40 No.5

「群馬県立館林美術館 ボタニカル・アート 植物画の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に～」

●上州風

2005春 21号

「植物画の世界～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に～ 4/16-6/12」<information ミュージアム>

●Deli-J

4、5月号

「ボタニカル・アート 植物画の世界」<Event Guide いべんと伝言板>

●Go! EN

6月号 「季節の色を満喫する旅・館林編 群馬県立館林美術館 個性的な企画展示 植物画の世界」

◎放送

[テレビ]

●NHK教育

5.22 10:45-10:55、20:45-20:55(再) <新日曜美術館>

●群馬テレビ

4.25 7:30-8:00 <ぐんま21 学び発見>

5.1 10:30-11:00(再)

[ラジオ]

●エフエム群馬

4.20 10:40-10:45 <ぐんま情報トッピング>

6.20 17:47-17:51 <FM県政ガイド>

●エフエム太郎

4.8、4.15、4.19

8:20-8:25

<ぐんまいきいき情報>

◎関連事業

●記念講演会

4.17 「日本の植物画の系譜」

講師:大場秀章(東京大学総合研究博物館教授)

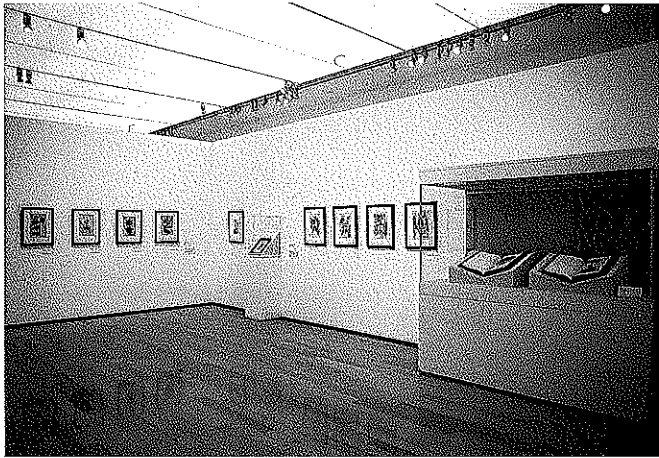
●ワークショップ

4.30、5.1、6.12

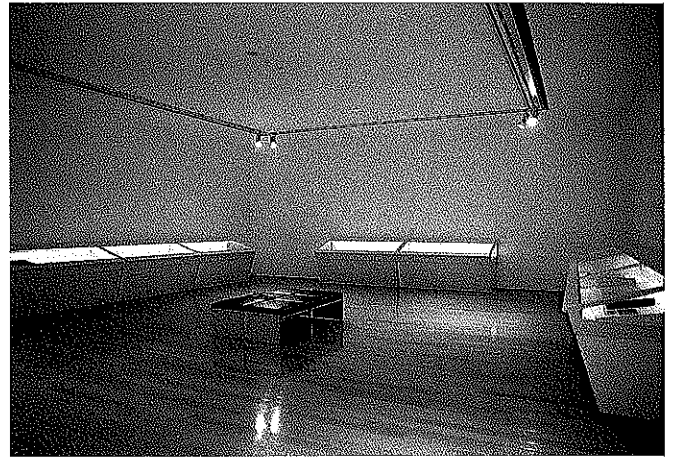
「太田三郎 多々良沼ボタニー・プロジェクト」

講師:太田三郎(造形作家)、青木雅夫(館林市立第十小学校校長)

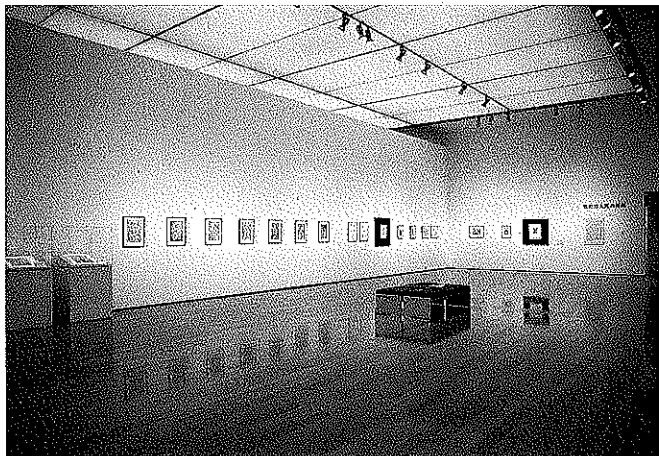
対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)



展示室 2



展示室 3



展示室 4



展示室 4

2.夏の蜃気楼 —自然をうつしだす現代の作家たち—

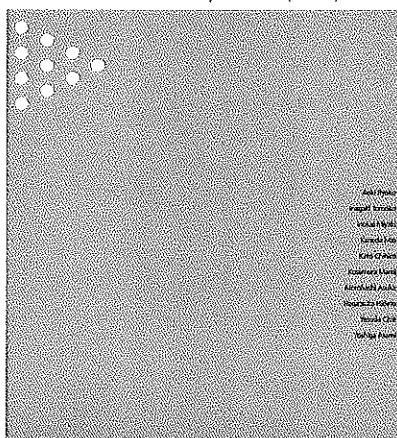
会期 平成17年6月25日(土)～8月31日(水)  
 会場 展示室1、2、3、4  
 主催 群馬県立館林美術館  
 助成 財団法人 地域創造  
 協賛 エプソン販売株式会社、株式会社マランツ コンシューマー マーケティング  
 観覧料 一般400(320)円、大高生200(160)円  
 ( )内は20名以上の団体割引料金

本展では、現代作家の表現に見え隠れする自然の存在に焦点をあて、絵画、ドローイング、写真、映像、インスタレーション、パフォーマンスなど、建築空間と共鳴しながら新鮮な感覚をもたらすさまざまな表現を紹介した。出品作家は、青木陵子、稲垣智子、犬飼美也妃、加藤千尋、金田実生、小瀬村真美、長塚秀人、諸橋明香、安田千絵、吉賀あさみの10名。

自然と芸術という普遍的なテーマを考えるならば、美しい自然をうつしとりたいという欲求や、自然そのものと対峙する姿勢は、歴史的に人々の表現の根底に存在してきたが、現代においては、より鋭敏な感覚によって、自らと自然のかかわりのなかで生み出される表現が際だっているように思われる。本展でとりあげた作家たちの、自然の意味を改めて問いかけてくるような作品には、それぞれにとっての自然のイメージがあたかも「蜃気楼」のようにたちあらわれているという考えより、展覧会のタイトルが導き出された。

展覧会の会期中には、出品作家によるアーティスト・トーク、パフォーマンス公演(会期中4回)、ワークショップ(2回)、創作体験コーナー「みんなのアトリエ」を行い、現代美術を紹介する展覧会において、展示室での鑑賞とは異なるアプローチができる機会ともなった。

Mirage on a Summer Day  
 Reflections on Nature by Contemporary Artists



図録

青木陵子  
 稲垣智子  
 犬飼美也妃  
 加藤千尋  
 金田実生

小瀬村真美  
 長塚秀人  
 諸橋明香  
 安田千絵  
 吉賀あさみ

【観覧時間】  
 ●大館美術館 10:00～18:00(18:00～19:00)  
 ●群馬県立館林美術館 10:00～18:00(18:00～19:00)  
 ●アーティスト・トーク(館林美術館) 6月25日(土) 14:00～15:00  
 ●6月26日(日) 10:00～11:00  
 ●7月1日(土) 10:00～11:00  
 ●7月8日(土) 10:00～11:00  
 ●7月15日(土) 10:00～11:00  
 ●7月22日(土) 10:00～11:00  
 ●7月29日(土) 10:00～11:00  
 ●8月5日(土) 10:00～11:00  
 ●8月12日(土) 10:00～11:00  
 ●8月19日(土) 10:00～11:00  
 ●8月26日(土) 10:00～11:00  
 ●9月2日(土) 10:00～11:00  
 ●9月9日(土) 10:00～11:00  
 ●9月16日(土) 10:00～11:00  
 ●9月23日(土) 10:00～11:00  
 ●9月30日(土) 10:00～11:00

【お問い合わせ】  
 ●大館美術館 0196-33-1111  
 ●群馬県立館林美術館 0286-22-1111  
 ●アーティスト・トーク 0286-22-1111  
 ●6月25日(土) 14:00～15:00  
 ●6月26日(日) 10:00～11:00  
 ●7月1日(土) 10:00～11:00  
 ●7月8日(土) 10:00～11:00  
 ●7月15日(土) 10:00～11:00  
 ●7月22日(土) 10:00～11:00  
 ●7月29日(土) 10:00～11:00  
 ●8月5日(土) 10:00～11:00  
 ●8月12日(土) 10:00～11:00  
 ●8月19日(土) 10:00～11:00  
 ●8月26日(土) 10:00～11:00  
 ●9月2日(土) 10:00～11:00  
 ●9月9日(土) 10:00～11:00  
 ●9月16日(土) 10:00～11:00  
 ●9月23日(土) 10:00～11:00  
 ●9月30日(土) 10:00～11:00

【アクセス】  
 ●大館美術館 大館市大館1-1-1  
 ●群馬県立館林美術館 館林市館林1-1-1  
 ●アーティスト・トーク 館林市館林1-1-1  
 ●6月25日(土) 14:00～15:00  
 ●6月26日(日) 10:00～11:00  
 ●7月1日(土) 10:00～11:00  
 ●7月8日(土) 10:00～11:00  
 ●7月15日(土) 10:00～11:00  
 ●7月22日(土) 10:00～11:00  
 ●7月29日(土) 10:00～11:00  
 ●8月5日(土) 10:00～11:00  
 ●8月12日(土) 10:00～11:00  
 ●8月19日(土) 10:00～11:00  
 ●8月26日(土) 10:00～11:00  
 ●9月2日(土) 10:00～11:00  
 ●9月9日(土) 10:00～11:00  
 ●9月16日(土) 10:00～11:00  
 ●9月23日(土) 10:00～11:00  
 ●9月30日(土) 10:00～11:00

【お問い合わせ】  
 ●大館美術館 0196-33-1111  
 ●群馬県立館林美術館 0286-22-1111  
 ●アーティスト・トーク 0286-22-1111  
 ●6月25日(土) 14:00～15:00  
 ●6月26日(日) 10:00～11:00  
 ●7月1日(土) 10:00～11:00  
 ●7月8日(土) 10:00～11:00  
 ●7月15日(土) 10:00～11:00  
 ●7月22日(土) 10:00～11:00  
 ●7月29日(土) 10:00～11:00  
 ●8月5日(土) 10:00～11:00  
 ●8月12日(土) 10:00～11:00  
 ●8月19日(土) 10:00～11:00  
 ●8月26日(土) 10:00～11:00  
 ●9月2日(土) 10:00～11:00  
 ●9月9日(土) 10:00～11:00  
 ●9月16日(土) 10:00～11:00  
 ●9月23日(土) 10:00～11:00  
 ●9月30日(土) 10:00～11:00

【お問い合わせ】  
 ●大館美術館 0196-33-1111  
 ●群馬県立館林美術館 0286-22-1111  
 ●アーティスト・トーク 0286-22-1111  
 ●6月25日(土) 14:00～15:00  
 ●6月26日(日) 10:00～11:00  
 ●7月1日(土) 10:00～11:00  
 ●7月8日(土) 10:00～11:00  
 ●7月15日(土) 10:00～11:00  
 ●7月22日(土) 10:00～11:00  
 ●7月29日(土) 10:00～11:00  
 ●8月5日(土) 10:00～11:00  
 ●8月12日(土) 10:00～11:00  
 ●8月19日(土) 10:00～11:00  
 ●8月26日(土) 10:00～11:00  
 ●9月2日(土) 10:00～11:00  
 ●9月9日(土) 10:00～11:00  
 ●9月16日(土) 10:00～11:00  
 ●9月23日(土) 10:00～11:00  
 ●9月30日(土) 10:00～11:00

ジュニアガイド

ポスター

# 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
1	青木陵子	スカーフ	2005	インク、水彩・紙	20.9×14.2
2	青木陵子	製めん	2005	水彩・紙	20.9×14.2
3	青木陵子	製めん	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	20.9×14.2
4	青木陵子	沼	2005	インク、フェルトペン・紙	20.9×14.2
5	青木陵子	たぬき	2005	インク、フェルトペン・紙	20.9×14.2
6	青木陵子	elk	2005	インク・紙	20.9×14.2
7	青木陵子	Dear~From	2005	インク・紙	20.9×14.2
8	青木陵子	エッジ	2005	インク・紙	20.9×14.2
9	青木陵子	スカーフ	2005	インク、水彩・紙	20.9×14.2
10	青木陵子	Untitled	2005	インク・紙	30.4×22.9
11	青木陵子	カーテンの陰で	2005	インク・紙	24.2×34.8
12	青木陵子	スピリチュアルソックス	2005	インク、水彩・紙	18.2×12.9
13	青木陵子	Untitled	2005	インク・布	188.0×109.0
14	青木陵子	ストローギク	2005	インク・厚紙	24.0×14.5
15	青木陵子	はな殻*	2001	インク、フェルトペン・厚紙	17.4×12.4
16	青木陵子	おはながみ	2005	インク、フェルトペン・厚紙	45.8×51.4
17	青木陵子	クッキーモンスター	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	36.3×43.2
18	青木陵子	庭	2005	インク、フェルトペン・紙	41.0×29.5
19	青木陵子	アーモンド&フィッシュ	2005	インク・紙	109.0×51.5
20	青木陵子	Untitled	2005	インク、フェルトペン・布	96.0×65.5
21	青木陵子	少肉	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	25.6×16.3
22	青木陵子	しろたえの	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	33.1×24.0
23	青木陵子	クッキー	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	20.9×14.2
24	青木陵子	孤島	2005	インク・紙	17.6×15.9
25	青木陵子	アナアキジャングル①	2005	インク・紙	70.0×49.8
26	青木陵子	アナアキジャングル②	2005	インク・紙	70.0×49.8
27	青木陵子	リストアップ	2005	インク、フェルトペン・紙	33.0×23.8
28	青木陵子	わーぶ	2005	インク、フェルトペン・紙	105.5×126.0
29	青木陵子	竿竹	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	33.0×24.0
30	青木陵子	Dear~From Japan	2005	インク・紙	21.8×14.9
31	青木陵子	Untitled	2005	インク・紙	53.0×55.0
32	青木陵子	額装	2005	インク・紙	25.7×18.2
33	青木陵子	寿司	2005	インク、フェルトペン、水彩・紙	36.8×24.0
34	青木陵子	Untitled	2005	インク、フェルトペン・布	156.0×162.0
35	青木陵子	つむじ風	2005	インク・紙	37.2×27.4
36	青木陵子	Untitled	2005	インク、フェルトペン・布	79.0×54.0
37	青木陵子	あのよろし	2005	インク・紙	18.2×12.3
38	青木陵子	酉	2005	インク・紙	13.9×10.6
39	青木陵子	うずまぎく	2005	インク・厚紙	23.5×14.3
40	青木陵子	蚊帳	2005	インク、フェルトペン・紙	12.2×41.0
41	稲垣智子	オアシス	2005	映像、砂、電化製品	300.0×1450.0×1350.0
42	犬飼美也妃	すっぺはいて in 館林 ~1500個の吐息~	2005	ビニール袋、息、写真、映像、パフォーマンス衣裳	650.0×1260.0×1260.0
43	加藤千尋	うらにわ	2005	石粉粘土、樹脂粘土、樹脂、顔料・アクリル	300.0×540.0×1040.0
44	金田実生	目覚めのとき	2003	油彩・カンヴァス	162.0×162.0
45	金田実生	闇に匿われる光	2003	油彩・紙	80.3×70.0
46	金田実生	早朝に残る音	2003	油彩・カンヴァス	162.0×162.0
47	金田実生	膨張する宙	2003	油彩・紙	154.0×168.0
48	金田実生	冬の呼吸	2004	水溶性クレヨン、鉛筆・紙	154.5×174.0
49	金田実生	夜が少しづつ降りる	2005	油彩・紙	154.2×165.0

No. 作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
50 金田実生	濕り気に濡れる	2005	油彩・紙	154.0×227.5
51 小瀬村真美	四季草花図-春夏秋冬-	2005	映像インスタレーション	(右)5分/(中央)9分/(左)23分
52 長塚秀人	EN03AR03(L)	2003	タイプCプリント	66.0×83.5
53 長塚秀人	SP-E-B(L)	2003	タイプCプリント	66.3×83.9
54 長塚秀人	SP-B-B	2004	タイプCプリント	43.8×53.3
55 長塚秀人	SP-F-C	2004	タイプCプリント	44.3×55.0
56 長塚秀人	SP-KT-A	2004	タイプCプリント	44.3×54.8
57 長塚秀人	SPCBC	2005	タイプCプリント	25.9×36.3
58 長塚秀人	SPCKP	2005	タイプCプリント	25.9×38.9
59 長塚秀人	CAFAP	2005	タイプCプリント	47.8×59.0
60 長塚秀人	CIENE	2005	タイプCプリント	32.5×49.0
61 長塚秀人	CILSR	2005	タイプCプリント	32.5×49.0
62 長塚秀人	ICSLHN	2005	タイプCプリント	29.6×44.5
63 長塚秀人	ICSTB	2005	タイプCプリント	69.5×98.0
64 長塚秀人	ICSTTC	2005	タイプCプリント	29.7×44.5
65 諸橋明香	drifting trash and dream island	2005	ミクストメディア	540.0×980.0×1100.0
66 安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
67 安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
68 安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
69 安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
70 安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
71 安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
72 安田千絵	Untitled	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
73 安田千絵	Untitled	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
74 安田千絵	Untitled	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
75 安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
76 安田千絵	Untitled	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
77 安田千絵	Untitled	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
78 安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
79 安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
80 安田千絵	Untitled	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
81 安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
82 安田千絵	Untitled	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
83 安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
84 安田千絵	Untitled	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
85 安田千絵	Untitled	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
86 安田千絵	Untitled	2003	クリスタル・プリント	90.0×90.0
87 安田千絵	Untitled	2001	クリスタル・プリント	90.0×90.0
88 安田千絵	Untitled	1995	クリスタル・プリント	43.3×43.5
89 安田千絵	Untitled	1999	クリスタル・プリント	43.3×43.5
90 安田千絵	Untitled	1998	クリスタル・プリント	43.3×43.5
91 安田千絵	Untitled	1997	クリスタル・プリント	43.3×43.5
92 安田千絵	Untitled	1993	クリスタル・プリント	43.3×43.5
93 安田千絵	Untitled	1995	クリスタル・プリント	43.3×43.5
94 安田千絵	Untitled	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	43.3×43.5
95 安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	34.6×34.4
96 安田千絵	Untitled	2004	ゼラチン・シルバー・プリント	70.5×41.2
97 安田千絵	Untitled	2004	クリスタル・プリント	70.5×82.8
98 安田千絵	Untitled	2004	ゼラチン・シルバー・プリント	70.5×41.2

No. 作者名	作品名	制作年	様態/技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
99 安田千絵	Untitled	2004	ゼラチン・シルバー・プリント	70.5×41.2
100 安田千絵	Untitled	2004	クリスタル・プリント	70.5×82.8
101 安田千絵	Untitled	2005	クリスタル・プリント	90.0×113.0
102 安田千絵	Untitled	2005	クリスタル・プリント	90.0×113.0
103 吉賀あさみ	The Other Side 1	2005	インク、膠・テトロン布、木	303.0×236.0×24.5
104 吉賀あさみ	The Other Side 2	2005	インク、膠・テトロン布、木	118.0×143.7×22.0
105 吉賀あさみ	The Other Side 3	2005	インク、膠・テトロン布、木	22.0×226.0×196.0

\* は個人蔵。それ以外の作品は作家蔵。

◎印刷物・会場作成物

●図録 B5変形(24×19cm)92頁

内容:

あいさつ(館長 木島俊介) / Foreword

夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち-(学芸員 松下和美)

図版

長塚秀人  
諸橋明香  
青木陵子  
加藤千尋  
小瀬村真美  
金田実生  
吉賀あさみ  
安田千絵  
稲垣智子  
犬飼美也妃

会場図面

出品作家関連事業

出品リスト

作家略歴・主要文獻 / Biographies

編集・発行:群馬県立館林美術館

翻訳:スタンリー・N・アンダソン

デザイン:馬面俊之

制作:インターパブリカ

●ジュニアガイド A3、四つ折り

●ポスター B2

●チラシ A4

●パネル

挨拶パネル

●会場配布用作品リスト、作品鑑賞ガイド

◎主要関連記事(長文記事は末尾に\*)

[新聞等]

●朝日新聞

7.2、7.9 「夏の蜚気楼」<群馬マリオン 沿線美術館情報>

●朝日ぐんま

8.12 「夏の蜚気楼~自然をうつしだす現代の作家たち」

8.13 「犬飼美也妃パフォーマンス「すっではいて」」<地域情報>

●産経新聞

6.28 「夏の蜚気楼」企画展 開催中\*

●上毛新聞

6.17 「館林美術館25日から「夏の蜚気楼」展 作家10人多彩な表現\*

6.20、7.19

「館林美術館企画展「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<ゆうまちゃんの揭示板>

6.24、7.22

「企画展「夏の蜚気楼」<週末の主な観光イベント>

7.1、8.12、8.26

「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<気になる情報ばれっと>

7.1 「企画展「夏の蜚気楼」子どもギャラリートーク」

7.4 「夏の蜚気楼」展 来月31日まで県立館林美術館 豊かな自然映すインスタレーション」\*

7.5、8.1 「館林美術館企画展「夏の蜚気楼」作品解説会」<ゆうまちゃんの揭示板>

7.12 「夏休みに創作手伝って 館林美術館がボランティア募集」\*

7.13 「現代作家が「自然」を表現 23、31日ワークショップも」\*

7.15 「館林美術館「夏の蜚気楼」展出品作家によるパフォーマンス「すっではいて」」<ゆうまちゃんの揭示板>

7.15 「はな殻」<気になる情報パレット 県内美術館博物館>\*

7.16 「館林美術館「夏の蜚気楼」関連ワークショップ「空・大地・身体~風景をつくる~」」<ゆうまちゃんの揭示板>

7.22 「館林美術館「夏の蜚気楼」関連ワークショップ「2005年7月31日の私~自分の形に描く絵~」」<ゆうまちゃんの揭示板>

7.24 「カラー粘土で植物作品 館林美術館 親子10人が創作体験」\*

7.27 「パフォーマンス身近に感じて 館林美術館」\*

8.1 「思い思いにポーズ ワークショップで親子連れなど 等身大の自画像制作」\*

8.4 「館林美術館企画展「夏の蜚気楼」子どもギャラリートーク」<ゆうまちゃんの揭示板>

8.12 「館林美術館企画展「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」アーティスト・トーク」<ゆうまちゃんの揭示板>

8.15 「出品作家自ら解説 館林美術館 制作エピソード紹介」\*

8.17 「館林美術館「夏の蜚気楼」出品作家によるパフォーマンス「すっではいて」」<ゆうまちゃんの揭示板>

9.3 「出品作使い犬飼美也妃さん 空気「開放」するパフォーマンス」\*

12.26 石田省平「美術 回顧 「場」の大切さ強く意識」\*

●上毛新聞シャトル(館林ニュース)

5.16、5.27、5.30、6.14、6.18、6.20、6.24、6.27、7.1、7.4、7.8、7.12、7.15、7.18、7.22、7.25、7.29、8.1、8.5、8.9、8.12、8.15、8.19、8.22、8.29

「企画展示「夏の蜚気楼」」<出かけてみませんか 情報BOX>

6.19、7.3、7.17、8.7

「県立館林美術館 「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<museum>

6.25 「新鮮な感覚に出会う テーマは「自然」」\*

7.8 「ワークショップ参加者を募集 23、31日に県立館林美術館」

●新美術新聞

7.21 No.1062

「夏の蜚気楼」<親子で行こう美術館 夏休みの展覧会 ワークショップ>

「夏の蜚気楼展」

●館林タイムス

6.4 「作品を通じ自然を体感 夏の蜚気楼 群馬県立館林美術館」\*

7.2 「自然をうつす作品「夏の蜚気楼」群馬県立館林美術館」\*

●東京新聞

8.3 「夏の蜚気楼」<お楽しみウィークリー>

●日本経済新聞

7.6 宝玉正彦「十人十色の自然表現 「夏の蜚気楼」展」\*

7.29 「群馬県立館林美術館企画展「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」」<文化イベント>

●毎日新聞

6.22、6.29、7.13、8.3

「館林美術館(館林市)「夏の蜚気楼 自然をうつしだす現代の作家たち」」<見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム>

7.20 「夏の蜚気楼 自然をうつしだす現代の作家たち」<美術展>

7.27 中野秀喜「若手のアート堪能 夏の蜚気楼」<見る 聴く 遊ぶ 群馬>\*

●読売新聞

8.19 「企画展「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」」<ギャラリー>

●群馬よみうり

8.11 「館林」夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<展示>

●群馬よみうり あみーご

7.23 vol.151

「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<お出かけ情報>

[定期刊行物]

●足利漫我人

7月号 「県立館林美術館 「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」

8月号 「県立館林美術館情報」

●いけ花龍生

8月号 「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<ART>\*

●楽SAI

8・9月号「企画展示「夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」」<群馬県内施設イベント情報>

●関東の博物館

30号 松下和美「夏の蜚気楼」展・関連事業レポート」\*

●ギャラリー

4月号 「6月 群馬県 夏の蜚気楼-自然をうつしだす現代の作家たち」<2005年度美術館展覧会ガイド>

6、7月号

「群馬県立館林美術館 夏の蜃気楼」<全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ>

「夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」<Exhibition Spot 6>

7月号 広告掲載

•グラフぐんま

6月号 「県立館林美術館 夏の蜃気楼」<Gallery>\*

7月号 「館林美術館「子どもギャラリートーク」」<子どもイベントガイド>

•ぐんま県民カレッジ講座

「夏の蜃気楼」夏の蜃気楼作品解説会」<平成17年度ぐんま県民カレッジ講座一覧>

•ぐんま広報

7月号 「館林美術館企画展「夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」」<催し>

•ぐんま情報誌 からっ風

7・8月号「夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」<Art Museum 2005 美術館情報>

•広報そうわ お知らせ版ふれあい

8.10 「群馬県立館林美術館からのお知らせ」<お知らせ>

•広報めいわ

6月号 「企画展示 県立館林美術館」

•広報めぬま

8月号 「群馬県立館林美術館「夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」」<もよおし>

•書道界

8月号 「大蛤の吐く気で楼閣が現れる 夏の蜃気楼」<ランダム・ハウス>

•スタンピード

7月号 「県立館林美術館 夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」<今月のアート>

8月号 「県立館林美術館企画展「夏の蜃気楼「自然をうつつだす現代の作家たち」」<くらしの情報>

•地域創造レター

7月号 「夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」

•日経おとなのOFF

9月号 半田滋男「時を忘れさせ、心を癒してくれる 自然の要素を現象として描く作品群」<ART>\*

•博物館研究

Vol.40 No.5、Vol.40 No.6、Vol.40 No.7

「群馬県立館林美術館 夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」

•美術手帖

7、8月号

「夏の蜃気楼 自然をうつつだす現代の作家たち」<Exhibition Preview そのほか注目展覧会から>

•美術の窓

9月号 「夏の蜃気楼-自然をうつつだす現代の作家たち」<展覧会情報 美術館>

•ぶらざ

6、7月号

「夏の蜃気楼~自然をうつつだす現代の作家たち」<ぎゅらり~>

6月号 「「自然と人間」がテーマの近・現代美術館 群馬県立館林美術館 企画展 / 「夏の蜃気楼」」<親子で体験>

8月号 「犬飼美也妃パフォーマンス「すってはいて」」「アーティストトーク」「創作体験コーナー「みんなのアトリエ」」

•ぶらざsister

summer号(創刊号)

「夏の蜃気楼~自然をうつつだす現代の作家たち」<ぎゅらり~>

•プラリ

7月号 「夏の蜃気楼 自然をうつつだす現代の作家たち」<プレイガイド 県内>

•マイ・リトル・タウン

6月号 「群馬県立館林美術館「夏の蜃気楼」自然をうつつだす現代の作家たち」<EVENT GUIDE>

7月号 「群馬県立館林美術館「夏の蜃気楼」自然をうつつだす現代の作家たち 犬飼美也妃パフォーマンス「すってはいて」パフォーマンス

ワークショップ「空・大地・身体~風景をつくる」パフォーマンス「2005年7月31日の私~自分の形に描く絵」<EVENT GUIDE>

•渡良瀬通信

6月号 「群馬県立館林美術館」夏の蜃気楼」<Ready Trip>\*

6、7、8月号

「群馬県立館林美術館「夏の蜃気楼」」<Watarase Information 美術館>

•Deli-J

7、8月号

「夏の蜃気楼~自然をうつつだす現代の作家たち」<Event Guide イベントと伝言板>

◎放送

[テレビ]

•NHK教育

7.31 10:48-10:52、20:48-20:52(再) <新日曜美術館>

[ラジオ]

•エフエム群馬

6.29 10:45-11:00 <ぐんま情報トッピング>

6.29 17:47-17:51 <FM県政ガイド>

•エフエム太郎

6.17、6.24(再)、7.1、7.12、8.9

8:20-8:25 <ぐんまいきいき情報>

◎関連事業

•ワークショップ

7.23 パフォーマンス・ワークショップ「空・大地・身体-風景をつくる」

講師：犬飼美也妃

対象：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

7.31 「2005年7月31日の私-自分の形に描く絵」

講師：吉賀あさみ

対象：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

•アーティスト・トーク

6.25 青木陵子、稲垣智子

8.14 小瀬村真美、諸橋明香

8.20 安田千絵、吉賀あさみ

8.28 加藤千尋、金田実生、長塚秀人

•犬飼美也妃パフォーマンス

6.25、7.24、8.20

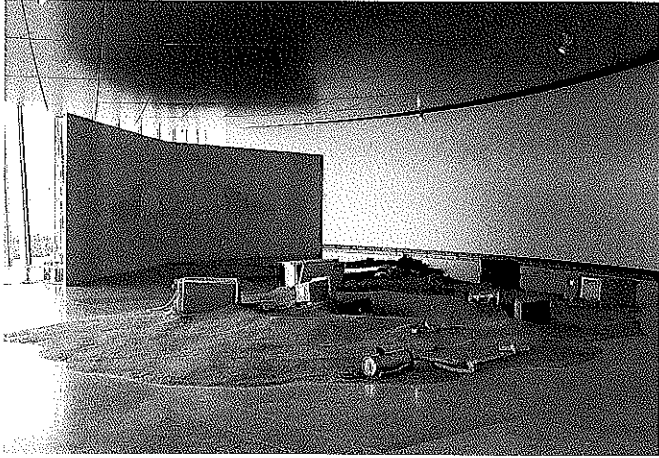
「すってはいて」

8.31 「解放式」

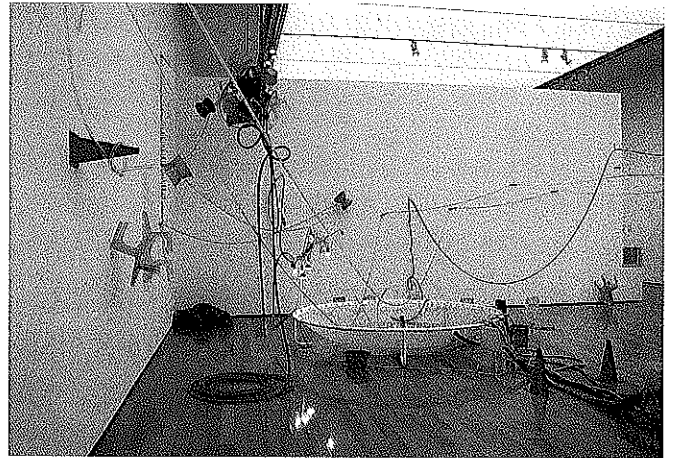
•創作体験コーナー みんなのアトリエ

7.21、7.28、8.4、8.11、8.18、8.25

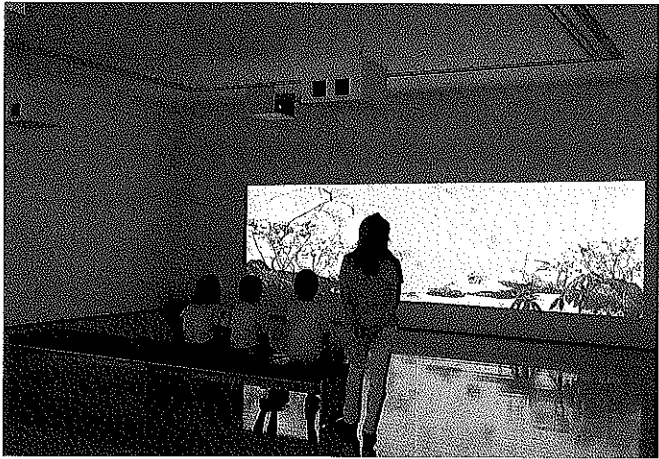




展示室 1



展示室 2



展示室 3



展示室 4



# 出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵
I 人物像の描写について					
1	自画像	1903-04	油彩・カンヴァス	37.5×30.7	★
2	コンポジション I	1907	油彩・カンヴァス	40.5×50.5	★
3	裸婦習作	1907	鉛筆・紙	31.0×24.0	
4	裸婦習作	1907	鉛筆・紙	24.0×31.0	
5	裸婦習作	1907	鉛筆・紙	31.0×24.0	
6	裸婦習作	1907	鉛筆・紙	31.0×24.0	
7	裸婦習作	1907	鉛筆・紙	31.0×24.0	
8	裸婦習作	1907	鉛筆・紙	31.0×24.0	
9	兜	1926	コラージュ・紙	22.0×21.5	
10	三つの人物像	1926頃	鉛筆・紙	27.0×21.1	
11	しわくちャの紙に描かれた絵	1942	油彩・紙	49.8×65.0	
12	トルソ	1930	ブロンズ(0/5)	H.27.0	
13	トルソ-プロフィール	1959	ブロンズ(2/8)	H.29.0	
14	顔	1955	鉛筆・紙	29.8×20.8	
15	無題(仮面)	1958頃	水彩・手漉き紙	34.0×25.0	
16	横たわる	1960	ブロンズ(2/5,1966)	H.65.0	★
17	兜-頭部II	1959	ブロンズ(0/5,1981)	H.54.0	
18	引き出しのついた頭	1960	ブロンズ(2/5,1983)	H.45.0	
19	人形	1960	コラージュ・鉛筆・紙	29.8×18.6	
20	人体幾何学II	1960	コラージュ・紙	45.4×21.5	★
21	人体幾何学III	1960	コラージュ・紙	44.9×20.9	★
22	デメテルの人形	1961	ブロンズ(3/5,1974)	H.41.0	★
23	ひとつ目の人形	1963	ブロンズ(5/5)	H.47.5	
24	柱となる行為	1960頃	コラージュ・紙	42.0×7.9	★
25	柱の彫刻	1961	ジュラルミン(0/5,1989)	H.96.0	
26	偶像	1961	木版・和紙	53.0×37.0	
27	無題	1963頃	ムラーノガラス 台座:木	H.58.5/台座:13.0	
28	紳士	1965	ブロンズ	H.96.0	
29	逃亡前	1963	大理石	H.79.0	
30	人体構成	1965	ブロンズ(2/5,1977)	H.74.5	★
31	彼はおべっかを使う	1965	ブロンズ(1/3,1981)	H.98.0	★
32	塔人間トリーア	1961	ブロンズ(2/5,1961)	H.11.0	
33	銭と無縁の人II	1964	彩色された木	26.0×31.5	
34	人は蠅に似ている	1963/1964	水彩、木版・紙	32.0×23.7	
35	頭部(自画像)	1965	油彩・カンヴァス	52.5×39.5	★
II 幾何学的観点と左右対称の見方					
36	コラージュの結果として(左右対称形)	1914	刺繍、ウール	13.5×24.0/44.5×56.0×16.0	
37	基本的構成	1916	コラージュ・紙	24.6×21.2	
38	アンフォラ(ゾフィー・トイバー=アルプとの共作)	1917	彩色された木	H.30.0	
39	コンポジション	1918	コラージュ、油彩・紙	30.5×35.0	
40	花壇の遊び	1930	墨、鉛筆・紙	31.2×25.2	
41	輪のリズム	1919	タペストリー・ウール	69.0×139.0	
42	植物的シンメトリー	1946	彩色された木	55.0×49.0	
43	シャルトル	1950	木	78.3×62.0	
44	異教の果実	1950	木	H.34.0	
45	花壇	1951	鉛筆・紙	21.0×29.5	
46	花壇の断片	1951	木(2/3)	41.0×27.0	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵
47	蛇の幾何学	1951	木(1/3)	19.5×45.5	
48	蛇の幾何学	1951	彩色された版本	27.0×44.3	★
49	植物的建築	1954	ブロンズ(1/3)	53.7×41.6	
50	植物的銃眼のある敷居	1959	ブロンズ(1/2,1989)	H.159.5	
51	果心	1960	ブロンズ(0/5,1985)	H.41.0	
52	四次元への憧憬	1963	ジュラルミン(0/5,1983)	H.16.8	★
53	たがをはめ直された太陽	1966	木版・紙(H.C.2/3)	35.5×33.1	
54	土星の輪	1965	木	45.9×18.0	
55	対照をなす柱	1965	ジュラルミン(3/5,1966)	H.48.5	★
III おとぎ話の世界					
56	おとぎ話の一節	1917	タペストリー・ウール	10.0×23.5	
57	魔術師	1926	刺繍・ウール	90.0×51.0	
58	持ち上げられた平面、「森のテーブル」	1926	木	42.0×62.0×62.0	★
59	木の精	1934	木	31.0×36.0	
60	キプロス風彫刻	1931-38	大理石	H.16.5	
61	夢のアンフォラ	1941	ブロンズ(0/3,1983)	H.25.0	
62	地の精の国から	1949	大理石	H.25.0	
63	仮面の微笑	1930	彩色された厚紙	38.4×32.2	★
64	森の舞台	1955	リトグラフ・紙(AP)	36.3×31.0	
65	動物のおとぎ話	1956	コラージュ、木版・紙	27.5×22.0	
66	動物のおとぎ話	1956/1958	コラージュ、木版・紙	31.5×24.0	
67-1	ヨットⅠ、「森の中のヨット」より	1957	木版・紙(39/50)	13.7×11.7	
67-2	ヨットⅡ、「森の中のヨット」より	1957	木版・紙(39/51)	13.7×11.7	
67-3	ヨットⅢ、「森の中のヨット」より	1957	木版・紙(39/52)	13.7×11.7	
67-4	ヨットⅣ、「森の中のヨット」より	1957	木版・紙(39/53)	13.7×11.7	
67-5	ヨットⅤ、「森の中のヨット」より	1957	木版・紙(39/54)	13.7×11.7	
67-6	ヨットⅥ、「森の中のヨット」より	1957	木版・紙(39/55)	13.7×11.7	
68	小劇場	1959	ブロンズ(5/5,1972)	H.115.1	★
69	風景-彫刻	1961	大理石	H.17.5	
70	バラ喰うもの	1963	ブロンズ(0/5,1982)	H.14.0	
71	三美神	1961	ジュラルミン(1/5,1961)	H.57.5	
72	翼のある存在	1962	鉛筆・紙	51.0×28.7	
73	翼のある存在	1961	ブロンズ(0/3,1996)	H.122.7	★
74	カラヴェル船のかたちをした鳥	1965	ブロンズ(0/5)台座:大理石	H.68.0/台座:14.5×20.0	
IV 芸術形式としての書く行為					
75-1	映画カレンダーⅢ	1920	木版・手漉き紙	25.2×20.7	★
75-2	映画カレンダーⅥ	1920	木版・手漉き紙	25.4×20.6	★
75-3	映画カレンダーⅩⅡ	1920	木版・手漉き紙	25.2×20.6	★
76	散歩(上に/下に)	1925	彩色された版本	16.7×24.0	★
77	「愛のない夜の力」のための挿絵、 『ヴァリエテ:1929年のシュルレアリスム』p.31所収	1929	墨・紙	27.0×21.0	
78	生まれ出る果実	1937	墨・紙	27.0×21.0	
79	海中のエクリチュール	1941頃	墨・紙	25.1×20.7	
80	コンポジション	1941頃	墨・紙	20.8×26.8	
81	無題	1941頃	鉛筆・透写紙	15.9×11.3	★
82	無題	1941頃	鉛筆・透写紙	15.7×11.9	★
83	無題	1941頃	鉛筆・透写紙	15.6×12.9	★
84	花	1942	テンペラ・紙	30.5×23.5	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵
85	無題	1942	鉛筆・紙	27.0×21.0	
86	空の座	1946	彩色された版木	20.4×38.8	★
87	ルーン文字の碑文	1946頃	コラージュ、グアッシュ・紙	45.0×34.0	
88	無題	1946-47	テンペラ・厚紙	36.3×45.0	★
89	乱闘	1949	墨・紙	25.2×20.9	
90	声の鏡像	1951	彩色された木	29.0×34.5	
91	アテネの枝	1954	彩色された厚紙	60.0×50.0	
92	泉のそば	1960	油彩・紙	73.0×57.0	
V アルプのオブジェ言語					
93	鳥の仮面	1918頃	墨、鉛筆・紙	21.5×27.5	
94	へそのある帽子	1924	彩色された木	49.0×37.0	
95	唇	1926	彩色された厚紙	40.5×42.5	
96	椅子と瓶	1926	彩色された厚紙	23.0×30.0	★
97-1	口髭のかたちをした帽子 クルト・シュヴィッターズ編 『メルツ』第5号、特輯『アルバーデン:アルプ・アルバム』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-2	海『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-3	へそ『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-4	へそのある瓶『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-5	口髭を生やした時計『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-6	泡立て器『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-7	アラビア数字の8『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
97-8	ジャケット『メルツ』所収	1923	リトグラフ・紙	44.8×35.0	
98	雲-貝殻	1932	木	40.0×55.5	
99	家庭用品	1954	木版・紙	30.2×20.8	
100	無題(口髭)	1960頃	コラージュ・紙	18.8×17.3	★
101	トルソとへそ	1924/1963	彩色された木	40.0×32.0	
102	森-帽子	1960	ブロンズ(0/5,1981)	H.18.0	
103	貝殻-帽子	1965	大理石	H.29.0	
104	鏡-葉	1962	ブロンズ(5/5,1984)	H.109.0	★
105	葉-トルソ	1963	ブロンズ(0/5,1981)	H.87.0	
VI メタモルフォーゼという考えの重要性について					
106	開花	1927	コラージュ、水彩・紙	32.7×25.0	
107	バラの花輪を作ろうよ	1946	油彩・カンヴァス	65.0×65.0	
108	貝殻と頭部	1933	ブロンズ(0/5,1985)	H.20.5	
109	座る	1937	ブロンズ(0/5,1983)	H.29.0	
110	貝殻	1938	ブロンズ(0/3,1983)	H.26.0	
111	卵形の鉢の上に凝結した人物像	1947	ブロンズ(0/3,1996)	H.57.8	★
112	鳥の骨格	1947	ブロンズ(0/5,1973)	H.34.0	★
113	めしべ	1950	ブロンズ(4/5,1959)、台座:木	H.34.0/台座:13.0×Ø18.5	
114	姿・花・落下	1951	彩色された版木	27.5×21.3	★
115	落下	1954	墨・和紙	45.5×28.5	
116	姿・花・落下	1959	木(3/3)	26.5×20.5	
117	秤と眼鏡のあいだに	1954	彩色された木	38.0×45.0	
118	花模様、大熊座	1955	彩色された厚紙	56.5×65.5	
119	3つの蕾	1957	ブロンズ(0/3,1974)	H.49.0	
120	ユリまたは象の牙	1958	ブロンズ(0/3,1976)	H.90.0	
121	紙のおもちゃの結果として	1960	ブロンズ(4/5,1964)	H.14.0	
122	うづくまる	1960	ブロンズ(0/5,1975)	H.24.5	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵
123	岩の脳	1961	ブロンズ(1/3,1985)	H.53.5	★
124	天の川の涙	1962	ブロンズ、台座:木	H.40.5/台座:7.5	
125	確固とした歩み	1965	ブロンズ(0/5,1981)	H.31.5	
126	花、輪の中の雲	1963	コラージュ・紙	21.0×24.0	
127	レリーフ<緑色の鼻を持つ頭部>(1923年)の変形	1964	彩色された木	47.0×32.0×10.0	
VII 配置と構成:並べ方の原理					
128	配置	1928	彩色された木	69.5×84.2	
129	配置Ⅲ	1932	彩色された木	83.0×38.0	
130	配置	1932	コラージュ・紙	37.0×26.0	
131	地の果実	1936	墨・紙	27.0×21.0	
132	無題	1934	コラージュ・紙	24.0×24.0	
133	構成	1942	コラージュ・紙	29.5×22.8	
134	コラージュ、ガラス	1942	コラージュ・紙	30.5×20.5	
135	構成(アダム以前のかたち)	1945	木	27.2×25.9	
136	静かな緊張	1951	彩色された版木	23.1×22.3	★
137	無題	1948	コラージュ・紙	31.5×22.7	
138	コラージュ、シャトル	1948	コラージュ・紙	30.0×25.0	
139	白地の上の6つの黒いかたちの配置	1957	コラージュ・紙	104.5×29.5	
140	具体レリーフD	1960	ジュラルミン(5/5)	45.7×63.2	★
141	具体レリーフK、「敷石」	1961	ジュラルミン(3/5)	75.0×30.0	
142	具体レリーフF、「像の上昇Ⅰ」	1961	ジュラルミン(1/5)	150.0×36.0	★
143	無題(ふたつのかたちの配置)	1960頃	コラージュ・紙	18.8×17.5	★
144	配置	1959	コラージュ・紙	51.1×43.8	
145	穏やかな調和	1962	コラージュ・紙	36.7×37.0	
146	和合	1962	コラージュ・紙	30.0×27.5	
147	配置	1942-63	彩色された厚紙	29.0×23.2	★
148	たがをはめ直された太陽	1966	彩色された版木	16.1×14.6	★
149	二層になった配置、「森」	1964	木	43.5×41.5	
VIII 造形原理としての偶然					
150	森の中に置き去りにされるべき彫刻	1932	ブロンズ(0/5,1983)	H.12.0	
151	ちぎられた紙の結果としてのレリーフ	1933	彩色された石膏	25.0×44.0	
152	無題	1932頃	コラージュ・紙	31.3×24.0	
153	ちぎられた紙	1933	コラージュ・紙	30.5×25.0	
154	無題	1934	コラージュ、墨・紙	23.6×19.4	
155	無題	1934頃	コラージュ・紙	18.5×12.5	
156	無題	制作年不詳	エッチング・紙	21.9×16.8	
157	無題	制作年不詳	エッチング・和紙	21.8×16.5	
158	花	1936	コラージュ、墨・紙	25.5×18.7	
159	無題	1938	コラージュ、エッチング・紙	30.2×22.3	
160	複雑な過程	1942	コラージュ・紙	44.8×37.0	
161	無題	1942	コラージュ、墨・紙	28.0×16.0	
162	無題	1940	コラージュ・紙	17.2×16.2	
163	無題	1940	コラージュ・紙	18.2×19.7	
164	無題	1946	コラージュ、水彩・紙	21.5×16.0	
165	無題(ちぎられたゾフィー・トイバー=アルプとハンス・アルプのドローイング)	1947	コラージュ・紙	32.5×24.8	
166	ちぎられた紙の結果としてⅠ	1948	彩色された厚紙	29.0×23.0	★
167	ちぎられた紙の結果としてⅡ	1948	彩色された厚紙	23.0×29.0	★

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵
168	ちぎられた紙の結果として	1952	彩色された厚紙	48.0×38.0	
169	ちぎられた紙の結果として	1952	彩色された厚紙	43.0×57.0	
170	無題	1949	コラージュ・紙	35.0×25.6	
171	偶然の法則に従った配置	1951	彩色された版木	26.9×43.8	★
172	偶然の法則に従って	1951	木(3/3)	28.8×43.1	★
173	無題(カタログ「鏡を通過する」のための 表紙スケッチ)シリーズ14	1958	コラージュ・紙	37.2×25.9	
174	塔のための計画	1961	コラージュ、シルクスクリーン・紙	66.0×49.0	
175	具体レリーフC、「60年7月」	1960	ジュラルミン	63.5×52.5	
176	チェスの駒		ブロンズ(0/5,1963)	H.47.5	

・技法・材質のカッコ内の数字は、エディション番号と製造年。

・寸法のHは作品の高さを表す。

・★はハンス・アルプ&ゾフィー・トイバー＝アルプ財団所蔵。それ以外はアルプ美術館バーンホフ・ローランズエック所蔵。

・No.27、95、151は館林会場不出品。

◎印刷物・会場作成物

●図録 A4(30.4×21.7cm)184頁

内容:

ごあいさつ

メッセージ(ドイツ連邦共和国大使 ヘンリク・シュミーゲロー)

メッセージ(ラインラント・プファルツ州首相 クルト・ベック)

メッセージ(ハンス・アルプ&ゾフィー・トイバー=アルプ財団理事長 デイター・G.ランゲ)

目次

「表徴の帝国におけるアルプ」(アルプ美術館館長 ライムント・シュテッカー)

「ダダ発、宇宙行—アルプへの切符」(神奈川県立近代美術館館長 山梨俊夫)

カタログ

「ハンス・アルプ—詩人、画家、彫刻家」(アルプ美術館学芸員 アストリット・フォン・アステン)

「アルプ美術館バーンホフ・ローランズエック」(アルプ美術館学芸員 アストリット・フォン・アステン)

年譜

日本語文献抄

編集:アルプ美術館バーンホフ・ローランズエック(ライムント・シュテッカー、アストリット・フォン・アステン)

神奈川県立近代美術館(山梨俊夫、初山昌夫)

川村記念美術館(前田希世子)

岡崎市美術館(千葉真智子)

群馬県立館林美術館(徳江庸行、中田宏明)

東京新聞(森要造、田中玲子、井鍋雄介)

翻訳:ジェレミー・ゲインズ、ステファン・リーダー、千葉真智子、初山昌夫

デザイン:笠原香苗

制作:コギト

発行:東京新聞

●ジュニアガイド A3、四つ折り

●ポスター B2

●チラシ A4

●パネル

挨拶パネル2枚(主催者挨拶和文、英文)

章解説パネル8枚

アルプ略年譜パネル1枚

アルプ美術館紹介パネル1枚

●会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に\*)

[新聞等]

●朝日新聞

10.29、11.5、11.12、11.19

「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展」<群馬マリオン 沿線美術館情報>

11.12 「ハンス・アルプ展—20世紀彫刻の開拓者」<群馬マリオン ミュージアム museum>

●朝日ぐんま

11.4 「ハンス・アルプ展~20世紀彫刻の開拓者~ 豊かな表情を持つ柔らかな形」\*<美術探訪>

●上毛新聞

9.9、9.23、10.14、11.18

「県立館林美術館「ハンス・アルプ展—20世紀彫刻の開拓者」」<気になる情報 ばれっと>

9.10 「県立館林美術館 彫刻や絵画190点 あすからハンス・アルプ展」\*

9.10 「館林美術館企画展示「ハンス・アルプ展—20世紀彫刻の開拓者—」」<ゆうまちゃんの掲示板>

9.11 「館林美術館「ハンス・アルプ展」関連講座「ゆうまちゃんの掲示板」

9.16、9.23、9.30、10.21

「企画展「ハンス・アルプ展」」<週末の主な観光イベント>

9.16 「館林美術館企画展「ハンス・アルプ展」子どもギャラリートーク」<ゆうまちゃんの掲示板>

9.20 「館林美術館企画展示「ハンス・アルプ展」作品解説会」<ゆうまちゃんの掲示板>

10.1 「ドイツ美術受講者募集 館林美術館」

10.2 「館林美術館企画展示「ハンス・アルプ展」関連美術講座「『ドイツ美術』がわかる!」」<ゆうまちゃんの掲示板>

11.2 「館林美術館企画展示「ハンス・アルプ展」作品解説会、子どもギャラリートーク」<ゆうまちゃんの掲示板>

●上毛新聞シャトル(館林ニュース)

9.4、9.18、10.2、10.16、11.6、11.20

「館林美術館「20世紀彫刻の開拓者 ハンス・アルプ展」」<museum>

9.26 「ドイツ美術知ろう 来月から県立館林美術館 講座の受講者募集」

9.30、10.3、10.7、10.10、10.14、10.17、10.20、10.22、10.24、10.28、10.31、11.4、11.7、11.11、11.14、11.19、11.21、11.26

「20世紀彫刻の開拓者ハンス・アルプ展」<出かけてみませんか 情報BOX>

11.7、11.11

「美術講座「ドイツ美術がわかる!」」<出かけてみませんか 情報BOX>

●新美術新聞

9.1 No.1065

「群馬県立館林美術館<企画展示>ハンス・アルプ展—20世紀彫刻の開拓者」<美術館、ギャラリーガイド>

●館林タイムス

9.10 「彫刻・版画 ハンス・アルプ展 館林美術館」

●産経新聞

9.27 「開催中 県立館林美術館 ハンス・アルプ展」\*

●東京新聞

2004.10.30

「ハンス・アルプ展によせて 異才発揮したコスモポリタン 詩的コンセプトでまとめ展示」\*(三品信)

1.4 「「ハンス・アルプ展」1月15日—3月27日 神奈川県立近代美術館 葉山」

2.5 「ハンス・アルプ展 アルプの白いレリーフ 反絵画意識が動機? 往年の彫刻の原点」\*(中原祐介)

3.26 「「ハンス・アルプ展」4月5日—6月26日 川村記念美術館」

9.2 「「ハンス・アルプ展」9月11日—11月27日 群馬県立館林美術館」

9.8、9.15、9.22、9.29、10.6、10.13、10.27

「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展—20世紀彫刻の開拓者」<ゆめ・ぼっけ 美術館、博物館>

9.12 「ハンス・アルプ展 館林で開幕」\*

9.21 「ハンス・アルプ展 ペアで10組招待」<お楽しみウィークリー>

10.5 「ハンス・アルプ展 上 小劇場」\*(中田宏明 県立館林美術館学芸員)

10.8 「ハンス・アルプ展 中 葉—トルソ」\*(中田宏明 県立館林美術館学芸員)

10.10 「ハンス・アルプ展 下 岩の脳」\*(中田宏明 県立館林美術館学芸員)

11.3、11.10、11.17、11.24  
「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展—20世紀彫刻の開拓者」<ゆめ・ぼっけ 美の叢書>

●日本経済新聞

5.5 「アルプ「デメテルの人形」すべては生命に連なる」\*(律) <かたち百景>

●毎日新聞

9.7、9.21、9.28、10.5、10.19、11.2、11.9、11.16、11.23

「館林美術館(館林市)「ハンス・アルプ展」」<見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム>

[定期刊行物]

●足利漫我人

9、10、11月号

「県立館林美術館情報 「ハンス・アルプ展 20世紀彫刻の開拓者」」<マガジン・ネットワーク>

●楽SAI

8・9月号、10・11月号

「県立館林美術館 企画展示「ハンス・アルプ展」—20世紀彫刻の開拓者—」<群馬県内施設イベント情報>



●ギャラリー

9、10、11月号

「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～」<全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ>

●教育ぐんま

9月号 「企画展「ハンス・アルプ展」

●ぐんま広報

9.4 「館林美術館企画展示「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者」

●ぐんま情報誌 からっ風

9月・10月号、11・12月号

「企画展示「ハンス・アルプ展」～20世紀彫刻の開拓者～」\*  
<Art Museum 2005 美術館情報>

●芸術新潮

3月号 「ハンス・アルプ展」<INVITATION>

●広報たてばやし

11.1号 「美術館のイベントに参加しませんか 県立館林美術館「企画展示「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者」」<情報アラカルト・募集>

●広報SOWA(茨城県総和町広報誌)

8月25日号

「群馬県立館林美術館からのお知らせ 企画展示「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～」<お知らせ>

●日経インテリッセ

5月号 「ハンス・アルプ展“われわれは香りよき人間粒ではなかったか？”\*

●ぱくぱく

9月24日号

「群馬館林 群馬県立館林美術館」<芸術の秋にお出かけしたい！美術館特集>

●博物館研究

Vol.40 No.10

「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者 美術講座「ドイツ美術」がわかる！ 学芸員による作品解説会」

●美術手帖

10、12月号

「群馬 群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ 20世紀彫刻の開拓者」<Exhibition Preview そのほか注目の展覧会から>

●美術の窓

9、10、11、12月号

「群馬県立館林 ハンス・アルプ展」<展覧会情報 美術館>

9月号 No.264

「ハンス・アルプ展」<巡回展情報>

●美連協ニュース

11月号 「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展」<加盟館展覧会案内>

●ぶらざ

9、10、11月号

「群馬県立館林美術館 「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者」」<TOWN情報 ぎやらり～>

●まいにち

8、9月号

「群馬県立館林美術館(館林市)ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～」<イベント・インフォメーション>

8月号 「館林市 館林美術館で「ハンス・アルプ展」」<短信>

●マイ・リトル・タウン

9、10、11月号

「群馬県立館林美術館 ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者」<EVENT GUIDE>

●マンスリー とーぶ

10月号 「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～」<EVENT 沿線催しもの情報>

●遊とびあ

11月号 「群馬の芸術の新しいカタチ 群馬の芸術をさらに深める新進美術館 群馬県立館林美術館 催事案内「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～」」<MUSEUMからの招待状>

●渡良瀬通信

9、10、11月号

「群馬県立館林美術館(館林市) ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～」<Watarase Information 美術館>

●Deli-J

10、11月号

「館林市 ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者～ 群馬県立館林美術館」<Event Guide イベントと伝言板>

●TATEBAYASHI商工会議所ニュース

No.261<表紙>

●TJ(阿毛・埴北版)

10月号 「EVENT～11/27 丸みを帯びた優しい“有機的形態”の作品「ハンス・アルプ展～20世紀彫刻の開拓者」群馬県立館林美術館」<TOWN NEWS>

●VISA

6月号 「自然と人間と、それをつなぐアートについて考えるぜいたくな時」\*(海野弘)<「美をめぐる冒険」>

◎放送

[ラジオ]

●エフエム群馬

9.13 10:40-10:45 <ぐんま情報トッピング>

9.13 17:47-17:51 <FM県政ガイド>

●NHK

9.22 <夕焼けほっとぐんま～あなたの街からこんばんは～>

◎関連事業

●アルプ美術館学芸員による作品解説会

9.11

講師:アストリット・フォン・アステン(アルプ美術館バーンホフ・ローランズエック学芸員)

●美術講座「ドイツ美術」がわかる！

10.2 「17世紀まで:中近世のドイツ美術-デューラーを中心に-」

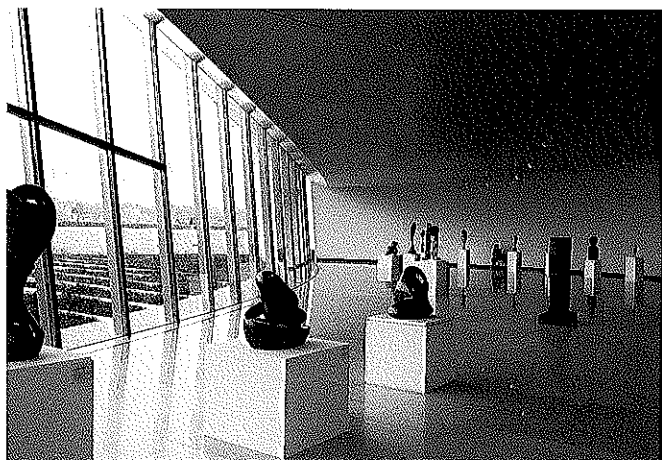
講師:秋山聰(東京学芸大学助教授)

10.30 「18-19世紀:「新」古典主義とロマン主義-ヴィンケルマン周辺とフリードリヒを中心に-」

講師:大原まゆみ(明治学院大学教授)

11.13 「20世紀:ドイツ主義と新表現主義-「ドイツ的」なる美術とは?-」

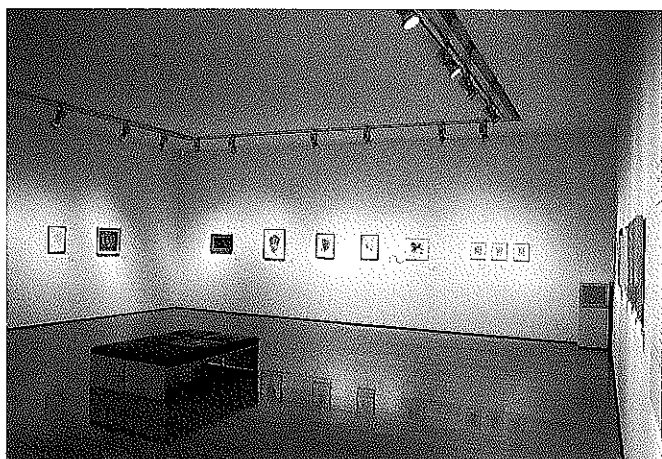
講師:宮下誠(國學院大学助教授)



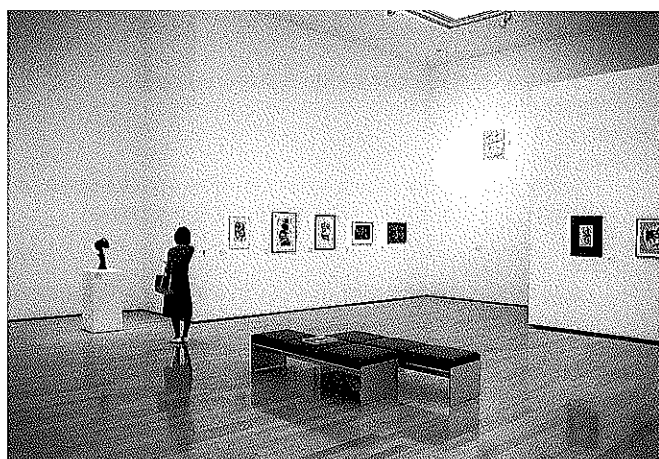
展示室 1



展示室 2



展示室 3



展示室 4

鵜飼美紀+辻和美 - 光のかけら -

会期 平成17年12月10日(土)～平成18年4月2日(日)  
 会場 展示室1、エントランス中庭  
 主催 群馬県立館林美術館  
 観覧料 一般200(100)円、大高生100(80)円  
 ( )内は20名以上の団体割引料金

当館の展示室1は、南側に大きなガラス面を広げ、そこに差し込む太陽の光によって、一日の間に大きく表情を変える。この展示室を舞台に、ガラスの素材をもちいる二作家、鵜飼美紀と辻和美がコラボレーションにより制作、展示を行った。

鵜飼美紀は、手のひらを合わせたくらい大きさになるガラスの器いっぱいに入水を入れ、床に散りばめるインスタレーションを行った。器の水は、作家の手ですくわれた水がそのまま床に置かれていったかのように、その動きの軌跡を示しながら、反射する光によって点描を描き出すものとなった。

ガラス作家の辻和美は、一つ一つ自らの手で造形した「涙」

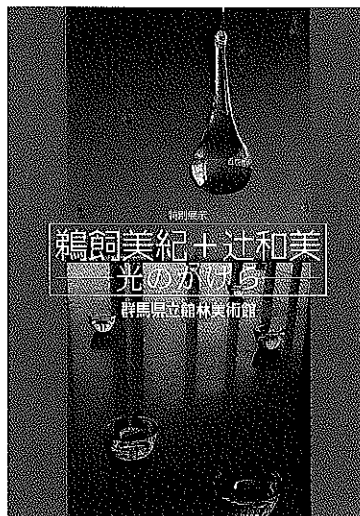
の形をいくつも天井から吊すインスタレーションを行った。人間の感情の流れを瞬間的に停止させるかのように中空に浮かぶ滴は、空間に立つ人と周囲の景色をうつしだしながら、自らの心の在処について問いかける意味を持っていた。

光を透過する素材を共有する二作家の世界は、本展で初めて出会い、当館の壁、天井、ガラス面すべてが弧をえがく独特の構造をもつ展示室1と共鳴しながら、両者はゆるやかに混じり合うものとなった。インスタレーション全体が、人と外の風景を無限に反復してさざめきあう「光のかけら」の小宇宙を形成していた。

器に水を入れた鵜飼美紀の作品は、会期中、水やりのメンテナンスを行い、会期中3回、一般から水やりボランティアを募集した。当日は、作家から作品や制作についての話を聞いた後に作業を行い、作品との関わりを深めてもらう機会となった。



ポスター



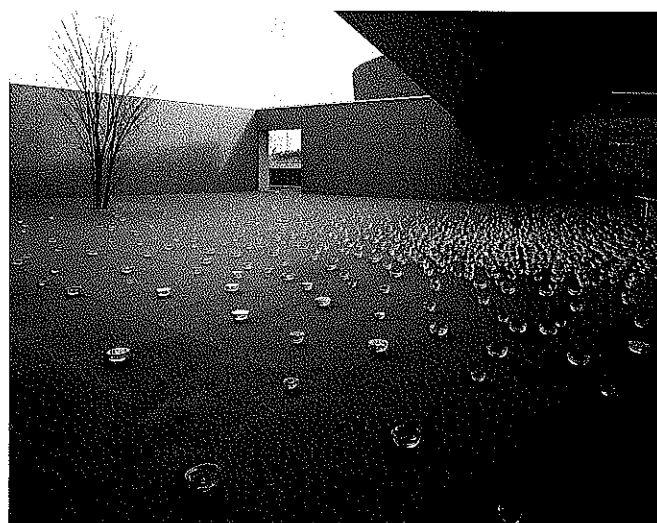
リーフレット

## 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	備考
1	鵜飼美紀	無題	2005年	ガラスの器1044組、水	5.0×1,980.0×2,800.0	展示室1
2	鵜飼美紀	無題	2005年	ガラスの器563個、水	4.5×1,510.0×1,580.0	エントランス中庭
3	辻和美	居心地の良い部屋	2005年	ガラスの涙551個	673.0×1,440.0×1,500.0	展示室1



展示室1



エントランス中庭

(撮影：内田芳孝)

◎印刷物・会場作成物

- リーフレット A4判変形(A2判 縦2つ折り+観音折り) 25.6×18.3cm  
内容:  
鶴飼美紀+辻和美-光のかけら-(学芸員 松下和美)  
辻和美 作家のことは、略歴、展覧会歴、文献、作品図版  
鶴飼美紀 略歴、展覧会歴、文献、作品図版  
会場風景写真  
編集・発行:群馬県立館林美術館  
撮影:内田芳孝  
デザイン:川野直樹  
制作:美術出版デザインセンター
- ポスター B2
- チラシ A4
- パネル  
挨拶パネル、作家のことはパネル1枚
- 会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に\*)

[新聞等]

- 朝日ぐんま  
1.27 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<美術探訪>\*  
•朝日新聞 群馬マリオン  
1.14、1.21、3.18、3.25  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<沿線美術館情報>
- おたタイムス  
12.24 「二人の作家のコラボレーション」\*
- 群馬ようみうり  
12.22 「館林 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<展示>  
•群馬よみうり あみーご  
12.24 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<イベント・インフォメーション>  
3.11 「「水やり」で作品制作に参加 県立館林美術館で14人が体験」<地域の話題>\*
- 上毛新聞  
12.9 「作業ボランティア募集 県立館林美術館」  
12.10 「光で変わる表情見て ガラス素材に2作家競演」\*  
12.16、2.3、2.17、3.31  
「特別展示「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」」<気になる情報ばれっと>  
12.17、3.13  
「館林美術館特別展「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」」<ゆうまちゃんの掲示板>  
1.13 「無題」<気になる情報ばれっと 県内美術館博物館>  
1.23 「作家の鶴飼さんとボランティア11人 1500個の器に水さし」\*  
2.27 「ガラスの中 光で小宇宙 2作家の作品展示」\*  
3.10 「特別展示「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」」
- 上毛シャトル  
12.4、12.18、1.8、1.22、2.5、2.19、3.5、3.19、4.2  
「鶴飼美紀+辻和美 光のかけら」<museum>  
12.5、12.19、12.23、1.1、1.6、1.9、1.23、1.27、1.30、2.3、2.10、2.27、3.3、3.10、3.13、3.18、3.20、3.24、3.27、3.31  
「鶴飼美紀+辻和美 光のかけら」<出かけてみませんか情報BOX>  
12.9 「特別展示の水やりボランティア募集 県立館林美術館」  
12.27 「ガラスで魅せる光のアート 鶴飼さんと辻さんコラボ」\*
- 東京新聞  
12.8、12.15、12.22、1.5、1.12、2.16、2.23、3.2、3.9、3.23  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<ゆめ・ぼっけ 美の散策>  
3.1 「鶴飼美紀+辻和美 光のかけら」<お楽しみウィークリー>\*
- 日本経済新聞  
12.16 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<文化イベント>
- 毎日新聞  
12.21、1.11、1.18、1.25、2.1、2.8、3.1、3.15、3.22  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<見る 聴く 遊ぶ 群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム>

[定期刊行物]

- 尼利漫我人  
12、1、2、3、4月号  
「県立館林美術館 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」
- 教育ぐんま  
3月号 「特別展示「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」」
- ギャラリー  
12、1、2、3月号  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<全国美術展「美術館&画廊」スケジュール&マップ>  
2月号 Vol.250  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<2月の展覧会案内 Exhibition Spot 2>
- グラフぐんま  
1月号 「特別展示 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<Gallery>
- ぐんま情報誌 からっ風  
11・12月号  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<Art Museum 2005 美術館情報>  
1・2月号 「特別展示 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<Art Museum 2005 美術館情報>  
3・4月号 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<Art Museum 2005 美術館情報>
- 広報めいわ  
12月号 「県立館林美術館 鶴飼美紀・辻和美~光のかけら~」<くらしの情報>
- 博物館研究  
Vol.40 No.11、Vol.40 No.12、Vol.41 No.1、Vol.41 No.2  
「群馬県立館林美術館 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」
- 美術手帖  
12、2月号  
「鶴飼美紀+辻和美」<previews>
- 美術の窓  
12、1、2、3月号  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<展覧会情報 美術館>  
2月号 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<2006年上半年展覧会一覽>、<今年の展覧会BEST 80>
- 美術の杜  
Vol.07 Winter  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<Exhibition Preview>
- 美連協ニュース  
11、12月号  
「鶴飼美紀+辻和美、1950年代の美術」  
1月号 「鶴飼美紀+辻和美」
- ぶらざ  
12、1、2、3、4月号  
「鶴飼美紀+辻和美~光のかけら」<ぎゅらり~>
- ほっとHOTぐんま  
Winter(11月10日発行)号  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら(館林市)」<イベント情報>
- まいにち  
12、1、2、3月号  
「特別展示「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」」<Event Information>
- マイ・リトル・タウン  
12、1、2、3月号  
「鶴飼美紀+辻和美~光のかけら~」<EVENT GUIDE>
- マンスリーとーぶ  
3月号 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<EVENT>
- ミセス  
2月号 「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」
- 楽SAI  
12・1月号  
「特別展示「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」」<県内美術館情報>
- 渡良瀬通信  
12、1、2、3、4月号  
「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら」<Watarase Information 美術館>

•BRUTUS

3月15日号

「鵜飼美紀+辻和美 光のかけら」<MIX&MASH&MORE>

•Deli-J

12、3月号

「特別展示「鵜飼美紀+辻和美-光のかけら-」」<Event Guide い  
べんと伝言板>

◎放送

[テレビ]

•NHK総合

1.8 7:40-7:45 <おはよう日本>

1.23 11:10-11:20 <こんにちはいっと六けん>

[ラジオ]

•NHK FM

1.23 18:00-18:05 <夕焼けHOTぐんま>

•エフエム群馬

1.5 10:40-10:45 <ぐんま情報トッピング>

1.5 17:47-17:51 <FM県政ガイド>

•エフエム太郎

12.2 8:25-8:30 <ぐんまいきいき情報>

◎関連事業

•水やりボランティアとの作品メンテナンス作業

1.17、2.21、3.13

作家：鵜飼美紀

対象：小学生以上

---

第1期

展示室1

「近現代の彫刻Ⅰ」 4月16日(土)～6月12日(日)

---

第2期

展示室2

「1950年代(昭和25-34年)の美術」 12月10日(土)～4月2日(日)

展示室3

「柄澤齊」 12月10日(土)～1月15日(日)

「宮脇愛子」 1月18日(水)～2月19日(日)

「藤牧義夫と『新版画』」 2月22日(水)～4月2日(日)

展示室4

「2004年度新収蔵作品」 12月10日(土)～4月2日(日)

「近現代の彫刻Ⅱ」 12月10日(土)～4月2日(日)

---

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ」

- 会場配布用作品リスト

「1950年代(昭和25-34年)の美術」

- チラシ A4(第2期開催の他のテーマ展示と共通)

●パネル

解説パネル5枚

年表パネル1枚

「館林の1950年代」写真パネル10枚

「館林の1950年代」解説パネル1枚

- 会場配布用作品リスト

「柄澤齊」

●パネル

解説パネル1枚

- 会場配布用作品リスト

「宮脇愛子」

●パネル

解説パネル1枚

- 会場配布用作品リスト

「藤牧義夫と『新版画』」

●パネル

解説パネル2枚

『新版画』各号写真パネル5枚

- 会場配布用作品リスト

「2004年度新収蔵作品」

●パネル

解説パネル1枚

- 会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅱ」

●パネル

解説パネル1枚

- 会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に\*)

「新聞等」

●朝日新聞

1.20 「美術講座アーティストとその時代」<群馬マリオン ミュージアム museum>

3.25 「県立館林美術館の催し「1950年代(昭和25-34)年の美術」「藤牧義夫と『新版画』」「2004年度新収蔵作品」「近現代の彫刻」

●朝日ぐんま

3.10 「藤牧義夫と『新版画』色あせることのない輝き」\* <美術探訪>

●おたタイムス

1.28 「1950年代の美術 県立館林美術館」\*

3.4 「正田家より婚礼品として贈られた可能性の高い小室翠雲の作品 館林美術館で展示される」\*

●上毛新聞

12.14、3.7

「館林美術館テーマ展示「1950年代の美術」<ゆうまちゃんの掲示板>

12.15 「館林美術館テーマ展示「柄澤齊」<ゆうまちゃんの掲示板>

12.18、1.23、2.12、2.18

「館林美術館「美術講座 アーティストとその時代」<ゆうまちゃんの掲示板>

12.27 「美術講座の受講者募集 来月から館林美術館」

1.8 「館林美術館「宮脇愛子」<ゆうまちゃんの掲示板>

1.27 「4回の日程 美術講座 29日から県立館林美術館」

1.28 「新収蔵作品 74点を紹介 県立館林美術館」

2.22、3.8

「館林美術館テーマ展示「藤牧義夫と新版画」<ゆうまちゃんの掲示板>

●上毛新聞シャトル(館林ニュース)

12.5、12.9、12.16、12.19、12.23、12.26、1.1、1.6、1.9、1.13、1.16、1.21、1.23、1.27、1.30、2.3、2.6、2.10、2.18、2.20、2.24、2.27、3.3、3.10、3.13、3.18、3.20、3.24、3.27、3.31

「1950年代(昭和25-34年)の美術」展<出かけてみませんか 情報BOX>

1.16、1.21、1.23、1.27

「美術講座・アーティストとその時代「トム・シャノン、ブルーノ・ロメダと現代彫刻」<出かけてみませんか 情報BOX>

1.20 「県立館林美術館 美術講座の受講者募集 今月末から全4回」

1.27、1.30、2.3

「美術講座・アーティストとその時代「リチャード・ロングとアースワーク」<出かけてみませんか 情報BOX>

2.6、2.10、2.18、2.20

「美術講座・アーティストとその時代「1950年代の美術①」<出かけてみませんか 情報BOX>

2.24、3.3

「美術講座・アーティストとその時代「1950年代の美術②」<出かけてみませんか 情報BOX>

「定期刊行物」

●足利漫我人

1月号 「県立館林美術館情報 1950年代(昭和25-34年)の美術」<マガジン・ネットワーク>、「群馬県立館林美術館の美術講座「アーティストとその時代」<追加情報>

2月号 「県立館林美術館情報 1950年代(昭和25-34年)の美術、新収蔵作品、宮脇愛子、藤牧義夫と『新版画』」

3、4月号 「県立館林美術館情報 近現代の彫刻Ⅱ、1950年代(昭和25-34年)の美術、新収蔵作品、藤牧義夫と『新版画』」

●ぐんま情報誌 からっ風

11・12月号

「コレクション展示「柄澤齊」「1950年代の美術」「新収蔵作品」「近現代の彫刻Ⅱ」<Art Museum 2005 美術館情報>

1・2月号 「1950年代(昭和25-34)年の美術」<Art Museum 2005 美術館情報>

●博物館研究

Vol.39 No.12、Vol.40 No.1、Vol.41 No.2

「群馬県立館林美術館 美術講座「アーティストとその時代」<講演会 講座・講習会>

●美術手帖

2月号 「宮脇愛子」<Exhibition Preview そのほか注目の展覧会から>

●美術の窓

12月号 「群馬県立館林 コレクション展示:1950年代の美術他」<展覧会情報 美術館>

1月号 「群馬県立館林 1950年代の美術 柄澤齊」<展覧会情報 美術館>

2月号 「群馬県立館林 コレクション展:宮脇愛子 1950年代の美術 新収蔵作品 近代(ママ)の彫刻2」<展覧会情報 美術館>

3月号 「群馬県立館林 コレクション展:1950年代の美術 近代(ママ)の彫刻2 藤牧義夫と新版画」<展覧会情報 美術館>

●美連協ニュース

2月号 「群馬県立館林美術館 1950年代の美術」

●ぶらざ

3月号 「群馬県立館林美術館「1950年代の美術」<TOWN情報 ぎゃらり〜>

●まいにち

1月号 「群馬県立館林美術館(館林市) 宮脇愛子、新収蔵作品、近現代の彫刻Ⅱ、1950年代の美術、藤牧義夫と『新版画』<イベント・インフォメーション>

2、3月号 「群馬県立館林美術館(館林市)新収蔵作品「近現代の彫刻Ⅱ」(ママ)、1950年代の美術、藤牧義夫と新版画」<イベント・インフォメーション>

●マイ・リトル・タウン

1、2、3月号

「1950年代(昭和25-34年)の美術」<EVENT GUIDE>



●マンスリー とーぶ

3月号 「1950年代の美術」「藤牧義夫と『新版画』」「近現代の彫刻Ⅱ」  
<EVENT 沿線催しもの情報>

●渡良瀬通信

1月号 「群馬県立館林美術館(館林市)1950年代の美術、柄澤齊、宮脇愛子、  
新収蔵作品 近現代の彫刻Ⅱ」<Watarase Information 美術館>

2月号 「群馬県立館林美術館(館林市)、宮脇愛子、新収蔵作品、1950年代  
の美術、近現代の彫刻Ⅱ、藤牧義夫『新版画』」<Watarase Information  
美術館>

3、4月号「群馬県立館林美術館(館林市) 新収蔵作品「近現代の彫刻Ⅱ」(マ  
マ)、1950年代の美術、藤牧義夫『新版画』」<Watarase Information  
美術館>

●Deli-J

3月号 「館林市 1950年代(昭和25～34年)の美術 群馬県立館林美術館」<  
Event Guide いべんと伝言板>

◎ 放送

[ラジオ]

●エフエム群馬

12.15 10:40-10:45 <ぐんま情報トッピング>

12.15 17:47-17:51 <FM県政ガイド>

# 近現代の彫刻 I

平成17年4月16日(土)～6月12日(日) 展示室 1

No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	
1	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6×23.0×6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910-13	ブロンズ	19.8×23.4×10.8	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0×8.7×9.5	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923	合金	22.6×44.8×11.0	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ボンボン	パン	1923頃	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
8	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
9	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5×32.2×30.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げているインドの雌鹿	1927-28	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	群馬県立館林美術館
11	チャーナ・オルロフ	魚ノ噴水	1929	ブロンズ	40.7×13.3×40.5	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	群馬県立館林美術館
13	マックス・エルンスト	花々の中の鳥	1948	ブロンズ	23.8×38.6×19.2	群馬県立館林美術館
14	フェルナン・レジェ	外壁のマスク	1953	ブロンズ	43.0×35.0×5.0	群馬県立館林美術館
15	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7×40.7×40.7	群馬県立館林美術館
16	和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1979	ブロンズ	12.0×35.0×35.0	群馬県立館林美術館
17	和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	ベルギー産大理石	20.0×50.0×50.0	群馬県立館林美術館
18	和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1983	ブロンズ	10.0×30.0×30.0	群馬県立館林美術館
19	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ板	61.0×48.0×39.0	群馬県立館林美術館
20	チェスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994	ブロンズ、ガラス	46.0×51.0×35.0	群馬県立館林美術館
21	フェルディナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4×38.0×26.6	群馬県立館林美術館
22	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0×122.0×112.0	群馬県立館林美術館
23	マリア・ルゴッシー	Dream	1995	合わせガラス、 ブロンズ、 サンドブラスト	29.3×38.4×19.0	群馬県立館林美術館
24	マリア・ルゴッシー	Power of Nature VI	1994-96	合わせガラス、 サンドブラスト	51.4×28.2×21.6	群馬県立館林美術館
25	スタニスラフ・リベンスキー、 ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	鳥	1997	ガラス	72.0×123.0×25.0	群馬県立館林美術館
26	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0×191.2×20.0	群馬県立館林美術館



# 1950年代(昭和25-34年)の美術

平成17年12月10日(土)～平成18年4月2日(日) 展示室2

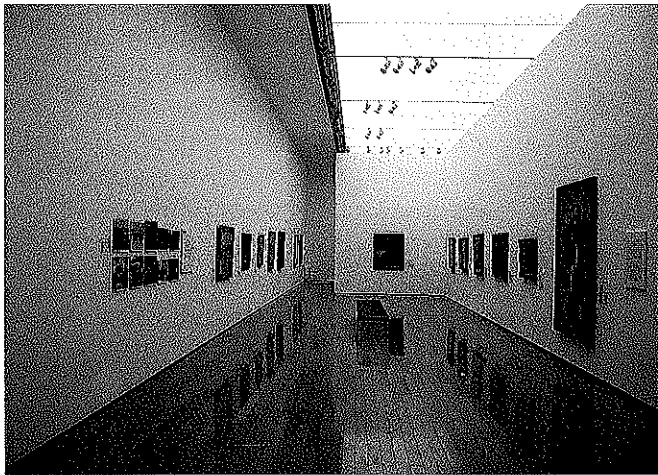
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
1	塩原友子	室内(ミシンの前)	1953	紙本着色、額装	120.0×89.0	群馬県立近代美術館	I
2	高橋光輝	カンナ	1950	紙本着色、額装	185.0×150.0	群馬県立近代美術館	I
3	磯部草丘	萌春	1951	絹本着色、額装	60.0×66.0	群馬県立近代美術館	III
4	磯部草丘	山峡	1952	絹本着色、額装	69.0×73.0	群馬県立近代美術館	III
5	磯部草丘	雲去来	1954	紙本着色、額装	60.0×68.0	群馬県立近代美術館	II
6	磯部草丘	残雪	1956	紙本着色、額装	48.0×61.0	群馬県立近代美術館	III
7	磯部草丘	鴛鴦	1956	絹本着色、額装	42.4×50.7	群馬県立近代美術館	III
8	磯部草丘	夏曉清涼	1958	紙本着色、額装	66.0×71.0	群馬県立近代美術館	II
9	内海加寿子	葡萄と梨	1951	紙本着色、額装	77.1×67.8	群馬県立近代美術館	II
10	内海加寿子	石榴	1952	紙本着色、額装	37.4×79.6	群馬県立近代美術館	II
11	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952	油彩・カンヴァス	90.7×72.5	群馬県立館林美術館	
12	猪熊弦一郎	猫と魚	1953-54	油彩・カンヴァス	60.5×50.0	群馬県立館林美術館	
13	今井俊満	晩秋	1956-57	油彩・カンヴァス	195.0×114.0	群馬県立近代美術館	
14	牛島憲之	五月の水門	1950	油彩・カンヴァス	72.5×91.0	群馬県立近代美術館	
15	オノサト・トシノブ	二つの円	1957	油彩・カンヴァス	60.6×72.8	群馬県立近代美術館	
16	オノサト・トシノブ	One circle	1958	油彩・カンヴァス	41.0×31.5	群馬県立近代美術館	
17	オノサト・トシノブ	無題	1959	油彩・カンヴァス	116.9×90.8	群馬県立近代美術館	
18	清水刀根	鳩	1954	油彩・カンヴァス	193.7×116.7	群馬県立近代美術館	
19	高島達四郎	サン・ジャネ	1955	油彩・カンヴァス	72.6×91.0	群馬県立近代美術館	
20	鶴岡政男	顔	1950	油彩・ガラス	13.6×21.0	群馬県立近代美術館	
21	鶴岡政男	ドン・キホーテ	1951	油彩・カンヴァス	112.1×145.5	群馬県立近代美術館	
22	鶴岡政男	落下する人体	1954	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	群馬県立近代美術館	
23	鶴岡政男	雨の夜	1958	油彩・カンヴァス	260.6×162.1	群馬県立近代美術館	
24	豊田一男	鳥と地球と人	1954	油彩(ロー画)・紙	51.2×37.3	群馬県立近代美術館	I
25	豊田一男	作品54	1954	油彩(ロー画)・紙	35.2×50.2	群馬県立近代美術館	II
26	豊田一男	地球を喰う者	1954	油彩(ロー画)・紙	63.0×50.0	群馬県立近代美術館	III
27	豊田一男	崩壊	1954	油彩(ロー画)・紙	50.0×59.5	群馬県立近代美術館	II
28	豊田一男	百足	1955	油彩(ロー画)・紙	42.2×50.2	群馬県立近代美術館	I
29	豊田一男	巢	1959	油彩(ロー画)・カンヴァス	90.0×114.5	群馬県立近代美術館	
30	中村節也	国境の秋(碓氷峠)	1950	油彩・カンヴァス	52.8×65.0	群馬県立近代美術館	
31	南城一夫	盛花	1950	油彩・カンヴァス	61.0×73.0	群馬県立近代美術館	
32	南城一夫	雨のまんじゅしゃげ	1955	油彩・カンヴァス	72.8×60.6	群馬県立近代美術館	
33	南城一夫	はず池の鯉	1956	油彩・カンヴァス	72.8×61.0	群馬県立近代美術館	
34	福沢一郎	顔	1955	油彩・カンヴァス	116.7×90.9	群馬県立近代美術館	
35	福沢一郎	狩獵	1956	油彩・カンヴァス	193.9×259.1	群馬県立近代美術館	
36	福沢一郎	祈り	1958	油彩・カンヴァス	259.1×193.9	群馬県立近代美術館	
37	福沢一郎	創成	1959	油彩・カンヴァス	97.0×130.3	群馬県立近代美術館	
38	福沢一郎	魚とネオン	1959	油彩・カンヴァス	97.3×130.5	群馬県立近代美術館	
39	山口薫	花子誕生	1951	油彩・カンヴァス	100.0×80.0	群馬県立近代美術館	
40	山口薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100.0×80.5	群馬県立館林美術館	
41	山口薫	鎧と矢	1959	油彩・カンヴァス	90.0×72.0	群馬県立近代美術館	
42	脇田和	午睡	1959	油彩・カンヴァス	72.7×90.9	群馬県立近代美術館	
43	勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0×184.0×57.0	財団法人草月会 (群馬県立館林美術館寄託)	
44	勅使河原蒼風	ピーナス	1957	木	68.0×65.0×54.0	財団法人草月会 (群馬県立館林美術館寄託)	
45	大沢雅休	万葉歌一首	1950	紙本墨書、額装	68.0×140.0	群馬県立近代美術館	I
46	大沢雅休	蝮戸-アラゴンの詩より-	1951	紙本墨書、額装	109.0×69.0	群馬県立近代美術館	I
47	大沢雅休	万葉歌二首	1951	紙本墨書、二曲一隻屏風	各69.0×68.0	群馬県立近代美術館	II

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵	展示 期間
48	大沢雅休	山嶽重疊	1952	紙本墨書、二曲一隻屏風	各140.0×70.0	群馬県立近代美術館	Ⅲ
49	大沢雅休	朝暮暮塩	1953	紙本墨書、額装	56.0×54.0	群馬県立近代美術館	Ⅰ
50	大沢雅休	大法無法	1953	紙本墨書、二曲一隻屏風	70.0×140.0	群馬県立近代美術館	Ⅲ
51	大沢雅休	大法無法	1953	紙本墨書、額装	70.0×140.0	群馬県立近代美術館	Ⅱ
52	大沢雅休	九鼎大呂	1958	陶器	直径39.0	群馬県立近代美術館	

展示期間

Ⅰ期:平成17年12月10日(土)～平成18年1月15日(日)、Ⅱ期:1月18日(水)～2月19日(日)、Ⅲ期:2月22日(水)～4月2日(日)

空欄:平成17年12月10日(土)～平成18年4月2日(日)



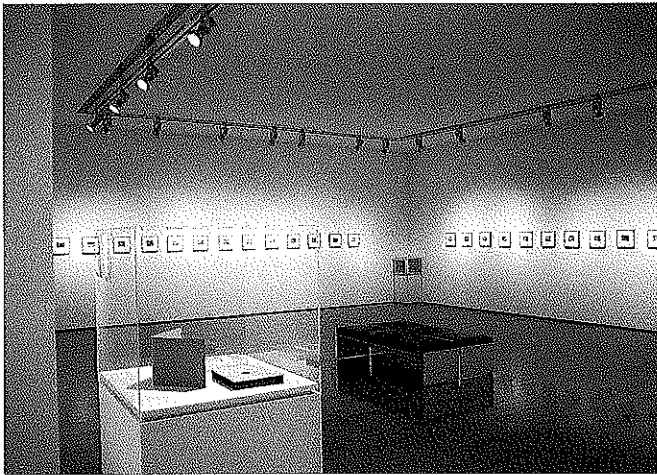
# 柄澤齊

平成17年12月10日(土)～平成18年1月15日(日) 展示室3

作品名	制作年(版)	技法・材質	寸法 (イメージサイズ、縦×横cm)	所蔵
「樹々の家族」(全61点)	2002-2003	木版・紙	19.0×22.0	群馬県立館林美術館

No. 作品名	刷りの年月日	刷った日のエディション
1 樹々の家族	2004.5.4	3/5
2 羽化	2004.4.30	1/3
3 ゆきげ	2004.2.7	2/6
4 ダンス	2004.4.29	1/5
5 芽ぶき	2004.2.7	3/3
6 階段	2004.4.13	2/4
7 さみどり	2004.4.12	2/3
8 予感	2004.4.26	1/4
9 射光	2004.4.9	2/6
10 真昼	2004.4.21	1/3
11 あーん	2004.4.26	1/4
12 こぶし	2004.4.9	1/6
13 アンテナ	2004.4.25	1/3
14 塔	2004.1.25	3/4
15 ホッホ	2004.4.12	3/4
16 影	2004.4.1	3/3
17 山河	2004.5.9	4/5
18 雨あがり	2004.4.29	1/6
19 嘴	2004.4.15	3/4
20 黒猫	2004.4.26	1/3
21 昔日	2004.4.14	3/3
22 ポーター	2004.1.25	3/4
23 何処へ	2004.4.16	2/4
24 六月	2004.4.1	3/4
25 洪水	2004.4.12	2/3
26 いざない	2004.4.12	1/3
27 たまむし	2004.5.3	1/4
28 会話	2004.1.25	3/5
29 夜想曲	2004.4.25	1/5
30 夢のなかへ	2004.2.4	5/7
31 水辺	2004.4.25	1/3
32 園丁	2004.4.15	1/4
33 花火	2004.4.22	1/3
34 のびゆく影	2004.4.30	1/3
35 夜の鳥	2004.4.14	2/5
36 翅	2004.4.20	3/4
37 ひがんばん	2004.1.29	3/6
38 羽毛	2004.4.14	2/5
39 晩夏	2004.4.16	3/4
40 秋天	2004.4.12	4/4
41 回廊	2004.4.14	2/5
42 つぐみ	2004.1.25	5/6

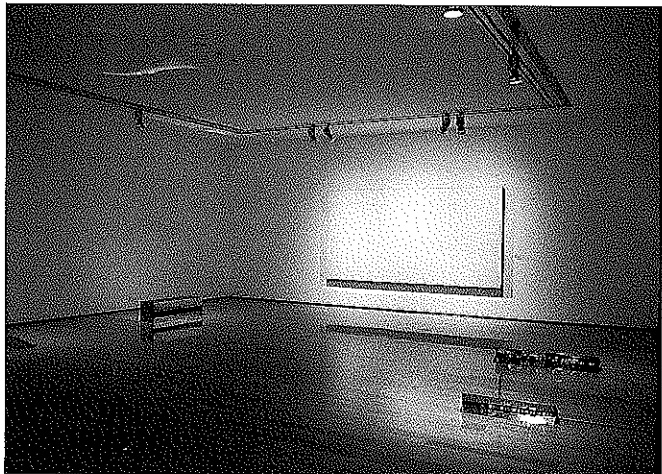
No.	作品名	刷りの年月日	刷った日のエディション
43	環	2004.5.3	4/5
44	一輪	2004.4.21	1/3
45	やぶさめ	2004.1.20	2/5
46	風の声	2004.2.5	3/5
47	約束	2004.4.26	4/4
48	果実	2004.2.4	2/5
49	惑星たち	2004.4.14	4/4
50	月日星	2004.2.4	4/5
51	待ち合わせ	2004.1.29	5/5
52	落陽	2004.4.26	1/5
53	蜃気楼	2004.2.7	2/3
54	秋	2004.1.14	6/6
55	ディスタンス	2004.2.7	4/7
56	さんこうちょう	2004.2.4	3/4
57	藍	2004.1.23	6/7
58	追憶	2004.4.9	1/4
59	脈	2004.1.24	3/7
60	メランコリア	2004.3.3	1/4
61	とらつぐみ	2004.2.7	3/6



# 宮脇愛子

平成17年1月18日(水)～平成18年2月19日(日) 展示室3

No. 作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1 作品	1960-63	油彩、大理石粉・パネル	182.0×363.0	群馬県立近代美術館
2 無題	1961	油彩、大理石粉・カンヴァス	97.0×128.6	群馬県立近代美術館寄託
3 無題	1961	油彩、大理石粉・カンヴァス	91.2×61.0	群馬県立近代美術館寄託
4 無題	1962	油彩、大理石粉・カンヴァス	116.8×90.9	群馬県立近代美術館寄託
5 構成#7	1966	真鍮	120.0×23.0×70.8	群馬県立近代美術館寄託
6 作品#2	1967	真鍮	33.9×120.8×30.2	群馬県立近代美術館寄託
7 作品#11	1968	真鍮	21.0×58.9×28.8 (2点組のうち1点の大きさ)	群馬県立近代美術館寄託
8 作品#12	1969	真鍮	28.0×74.1×18.5	群馬県立近代美術館寄託



# 藤牧義夫と『新版画』

平成18年2月22日(水)～4月2日(日) 展示室3

No. 作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	所蔵	展示 期間
『新版画』第1号		1932刊			群馬県立館林美術館	
1 武藤六郎	表紙		木版・紙	25.5×18.1		
2 武藤六郎	街の屋根		木版・紙	22.1×14.1		
3 藤牧義夫	朝(自画像)		木版・紙	12.0×9.7		
4 柴秀夫	農婦図		木版・紙	10.4×9.5		
5 吉原正道	裸婦		木版・紙	26.0×19.0		
『新版画』第9号		1933刊			群馬県立館林美術館	
6 佐伯留守夫	表紙		木版・紙	29.0×22.1		
7 蓬田兵衛門	風景		木版・紙	13.1×20.3		
8 藤牧義夫	島のぢいさん		木版・紙	14.4×9.4		
9 藤牧義夫	鉄-版画編集試作4		機械刷	4.2×5.1		A、B、C
10 藤牧義夫	鉄-版画編集試作5		機械刷	2.9×5.2		A、B、C
11 藤牧義夫	鉄-版画編集試作7		機械刷	3.8×4.8		A、B、C
12 藤牧義夫	鉄-版画編集試作8		機械刷	3.5×5.4		A、B、C
13 藤牧義夫	鉄-版画編集試作9		機械刷	2.7×5.2		A、B、C
14 藤牧義夫	鉄-版画編集試作10		機械刷	4.0×4.9		D
15 藤牧義夫	鉄-版画編集試作12		機械刷	4.3×6.2		D
『新版画』第12号		1934刊			群馬県立近代美術館(中村崇也氏寄贈)	
16 武藤六郎	表紙		木版・紙	26.6×19.6		
17 水船六洲	鍵を持つ男		木版・紙	14.2×12.1		
18 堀一恵	ポンポン蒸気		木版・紙	12.7×12.7		
19 荒井東留	ぼたん		木版・紙	18.6×21.3		
20 藤牧義夫	つき		木版・紙	12.7×12.8		
『新版画』第14号		1934刊			群馬県立館林美術館	
21 藤牧義夫	表紙		木版・紙	29.4×21.9		
22 藤牧義夫	まくら橋		木版・紙	12.2×9.2		
23 清水正博	松竹座にて		木版・紙	16.2×12.0		
24 段塚青一	凝視		木版・紙	11.8×8.1		
『新版画』第17号		1935刊			群馬県立館林美術館	
25 藤牧義夫	表紙		木版・紙	29.2×22.0		
26 藤牧義夫	うらまち		木版・紙	15.0×12.0		A
27 藤牧義夫	工場(川面)		木版・紙	9.5×12.5		B
28 藤牧義夫	五月		木版・紙	7.0×10.5		C
29 藤牧義夫	彼岸		木版・紙	12.0×15.0		D
30 小野忠重	二裸婦		木版・紙	12.1×18.4		

※作品タイトルは、すべて新字表記。

展示期間

A:2月22日(水)～3月5日(日)、B:3月7日(火)～12日(日)、C:3月14日(火)～19日(日)、D:3月21日(火)～4月2日(日)

空欄:2月22日(水)～4月2日(日)



## 2004年度新収蔵作品

平成17年12月10日(土)～平成18年4月2日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)	展示 期間
1	小杉放菴	秋果童子	1926	油彩・カンヴァス	71.4×51.5	
2	井上長三郎	二人	1978	水彩・紙(色紙)	27.0×24.0	Ⅲ
3	鶴岡政男	眠る人	1976	油彩・カンヴァス	33.0×45.5	
4	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・カンヴァス	33.0×45.5	
5	鶴岡政男	西方の聖	1935	墨・紙	28.0×22.5	Ⅲ
6	鶴岡政男	素描(1)	1953	インク・紙	35.8×24.7	Ⅲ
7	鶴岡政男	素描(2)	1950年代	インク・紙	27.5×19.8	Ⅲ
8	鶴岡政男	素描(3)	1950年代	インク・紙	13.8×18.2	Ⅲ
9	鶴岡政男	素描(4)	1950年代	インク・紙	19.0×26.0	Ⅲ
10	鶴岡政男	素描(5)	1950年代	インク・紙	35.7×26.3	Ⅲ
11	鶴岡政男	素描(6)	1950年代	墨・紙	19.2×13.5	Ⅲ
12	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8×21.0×17.5	
13	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951	テラコッタ	6.5×4.4×5.3	
14	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951	ブロンズ	6.0×4.5×5.5	
15	鶴岡政男	男の顔	1951	ブロンズ	9.2×4.5×6.5	
16	鶴岡政男	人体	1951	テラコッタ	19.0×15.0×7.0	
17	鶴岡政男	灰皿	1951	陶器	3.8×10.6×8.8	
18	鶴岡政男	湯呑み(1)	1951頃	陶器	高さ:7.8、直径:7.4	
19	鶴岡政男	湯呑み(2)	1951頃	陶器	高さ:10.1、直径:8.2	
20	鶴岡政男	湯呑み(3)	1951頃	陶器	高さ:10.5、直径:13.1	
21	鶴岡政男	急須	1951頃	陶器	8.5×12.4×10.2	
22	鶴岡政男	太陽	1951頃	パステル・紙	27.0×38.3	Ⅲ
23	鶴岡政男	幼虫	1968	パステル・紙	26.0×36.5	Ⅲ
24	鶴岡政男	赤い蛇	1968頃	パステル・紙	34.0×23.0	Ⅲ
25	戸谷成雄	景体のパロック(8点組)	2002	木、アクリル、灰		
26	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング1A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
27	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング1B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
28	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング2A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
29	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング2B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
30	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング3A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
31	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング3B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
32	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング4A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
33	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング4B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
34	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング5A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
35	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング5B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
36	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング6A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
37	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング6B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
38	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング7A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
39	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング7B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
40	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング8A	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	I
41	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング8B	2002	鉛筆・紙	25.7×18.0	II
42	山口啓介	花の心臓/被子植物の空気柱	2003	顔料・樹脂・カンヴァス	270.0×181.0×4.5	
43	山口啓介	花の心臓/蕊柱*	2003	顔料・樹脂・カンヴァス	270.0×181.0×4.5	I、II
44	松江泰治	YEMEN1991#15	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
45	松江泰治	CANARY1993#35	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
46	松江泰治	CHILE1995#62	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
47	松江泰治	NEWZEALAND1996#22	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
48	松江泰治	EGYPT1997#12	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
49	松江泰治	UTAH1997#46	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	展示 期間
50	松江泰治	MOROCCO1997#9	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
51	松江泰治	KOREA1999#5	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
52	松江泰治	TEXAS1999#61	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
53	松江泰治	ITALY1999#13	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
54	松江泰治	ALTIPLANO2000#19	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
55	松江泰治	ALTIPLANO2000#20	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
56	松江泰治	ARGENTINA2000#27	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
57	松江泰治	MONTANA2000#93	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
58	松江泰治	BALKAN2001#21	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
59	松江泰治	NEWBRUNSWICK2002#54	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
60	松江泰治	PRINCEEDWARDISLAND2002#56	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
61	松江泰治	MISSOURI2002#63	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	44.6×55.6	II
62	伊庭靖子	Untitled	1998	油彩・カンヴァス	183.0×393.0	
63	ブルーノ・ロメダ	純粹な大円	2003	ブロンズ	188.0×191.2×20.0(台座含む)	
64	ジム・ダイン	フローラの神殿	1984	ドライポイント・紙	52.8×36.8×3.8(書籍サイズ)	
		フローラの神殿(外箱)	1984	ブロンズ、山羊皮、布	56.0×40.0×7.9	
65	リチャード・ロング	二つのサハラ作品(2点組)	1988			III★
		左(写真)		グラノリトグラフ・紙	60.1×89.9	
		右(テキスト)		シルクスクリーン・紙	57.3×57.3	
66	リチャード・ロング	エイヴォン川のマッド・ドローイング(3点組)	1998	グラノリトグラフ・紙	左:45.0×32.5、中央:45.1×32.5、 右:45.1×32.5	III★
67	小室翠雲	蒼松壽古図・梅花双喜図	1930	絹本彩色・二曲一雙屏風	各116.7×168.0	III
68	永井一正	ブレ姫路市制100周年記念 永井一正の世界展	1988	オフセット・紙	103.0×72.8	I
69	永井一正	人権ー共生	1988	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	I
70	永井一正	89'姫路シロトピア博	1988	オフセット・紙	103.0×72.8	I
71	永井一正	88'富山の美術	1988	オフセット・紙	103.0×72.8	I
72	永井一正	第2回世界ポスタートリエナーレトヤマ1988作品募集(海外向け)	1988	オフセット・紙	103.0×72.8	I
73	永井一正	永井一正のポスター展	1988	オフセット・紙	103.0×72.8	I
74	永井一正	PEACE	1989	オフセット・紙	103.0×72.8	I
75	永井一正	第4回世界ポスタートリエナーレ	1993	オフセット・紙	103.0×72.8	II
76	永井一正	写楽出現200年	1994	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	II
77	永井一正	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	II
78	永井一正	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	II
79	永井一正	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	II
80	永井一正	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	II
81	永井一正	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	II
82	永井一正	COEXIST(BEING)	2000	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III
83	永井一正	COEXIST(LIFE)	2000	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III
84	永井一正	LIFE(きのこ/笠)	2001	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III
85	永井一正	LIFE(きのこ/球)	2001	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III
86	永井一正	LIFE(きのこ)	2001	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III
87	永井一正	LIFE(フクロウ)	2002	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III
88	永井一正	LIFE(ポットー)	2002	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	III

\*は寄託作品。それ以外は群馬県立館林美術館所蔵。

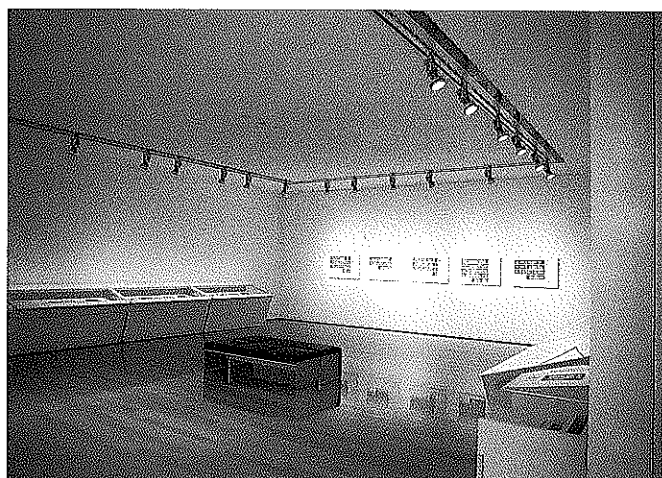
展示期間 I期:平成17年12月10日(土)~平成18年1月15日(日)、II期:1月18日(水)~2月19日(日)、III期:2月22日(水)~4月2日(日)

III★:美術講座に関連し、2月4、5、7日にも展示。

## 近現代の彫刻Ⅱ

平成17年12月10日(土)～平成18年4月2日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	フランソワ・ポンボン	風見鶏	1908-32	銅	47.0×54.4×6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンボン	ほろほろ鳥	1910-13	ブロンズ	19.8×23.4×10.8	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンボン	パン	1923頃	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンボン	シロクマ	1923-33	白色大理石	23.6×47.2×13.4	群馬県立館林美術館
5	カレル・アペル	飛ぶ魚	1977	アクリル・木	53.3×80.0×18.0	群馬県立館林美術館
6	カレル・アペル	サーカス・シリーズ:鳥の進化	1978	アクリル・木	83.8×89.0×18.0	群馬県立館林美術館
7	エマニュエル・コラン	ジュゴン	1991	樺、ポプラ、ブナ・着色	30.0×140.0×55.0	群馬県立館林美術館
8	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0×122.0×112.0	群馬県立館林美術館
9	トム・シャノン	ドルフィン・ファイ	2003	木、磁石、ワイヤー	154.0×226.0×86.0	群馬県立館林美術館



藤牧義夫と『新版画』会場



2004年度新収蔵作品会場

## E 観覧者数一覧表

### コレクション展示（特別展示を含む）

	有料観覧者						無料観覧者						観覧者 合計
	個人			団体			有料 合計	小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計	
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計							
からだ 4/1～4/3 3日	318	17	335	0	0	0	335	42	0	7	93	142	477
光のかけら 12/10～3/31 89日 (展示は平成18年度 4月2日まで継続)	5,022	400	5,422	419	0	419	5,841	393	64	158	1,410	2,025	7,866
コレクション展示 計 92日	5,340	417	5,757	419	0	419	6,176	435	64	165	1,503	2,167	8,343

### 企画展示

植物画の世界 4/16～6/12 50日	4,770	292	5,062	186	112	298	5,360	421	237	198	1,729	2,585	7,945
夏の蜜気楼 6/25～8/31 59日	3,864	405	4,269	107	225	332	4,601	1,164	133	153	1,970	3,420	8,021
ハンス・アルプ展 9/11～11/27 67日	2,973	234	3,207	228	95	323	3,530	272	334	130	3,528	4,264	7,794
企画展示 計 176日	11,607	931	12,538	521	432	953	13,491	1,857	704	481	7,227	10,269	23,760
合計	16,947	1,348	18,295	940	432	1,372	19,667	2,292	768	646	8,730	12,436	32,103

平成17年度の総観覧者数は、32,103人である。

**A 講演会**

開催日	名称 演題	講師	会場	参加者数
4.17	記念講演会 「日本の植物画の系譜」	大場秀章(東京大学総合研究博物館教授)	講堂	58

**B 作品解説会・ギャラリートーク**

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.20	植物画の世界	松下由里	展示室	12
5.8	植物画の世界	松下由里	展示室	34
5.29	植物画の世界	伊藤佳之	展示室	16
7.10	夏の蜃気楼	松下和美	展示室	25
7.26	夏の蜃気楼★	松下和美	展示室	9
8.3	夏の蜃気楼	松下和美	展示室	29
8.21	夏の蜃気楼	松下和美	展示室	24
9.11	ハンス・アルプ展	アストリット・フォン・アステン*	展示室	22
9.21	ハンス・アルプ展	中田宏明	展示室	11
9.27	ハンス・アルプ展★	中田宏明	展示室	1
11.3	ハンス・アルプ展	中田宏明	展示室	20
2.7	特別展示、コレクション展示★	松下和美、中田宏明	展示室	2

★印は教職員のための作品解説会。 \*印はアルプ美術館学芸員による作品解説会。

2. サンデー・ギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
12.11	松下和美、中田宏明	展示室	10
12.25	松下和美	展示室	9
1.8	中島幸子	展示室	32
1.22	松下和美、中田宏明	展示室	11
2.12	中田宏明	展示室	7
2.26	中田宏明	展示室	13
3.12	中田宏明	展示室	28
3.26	松下和美	展示室	20

### 3.子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
5.21	中島幸子	展示室	2
6.4	徳江庸行	展示室	3
7.9	徳江庸行	展示室	2
11.19	中田宏明	展示室	7
12.24	松下由里	展示室	4
1.14	伊藤香織	展示室	2
1.28	伊藤香織	展示室	2
3.4	中島幸子	展示室	1

※ 参加者のあった回のみ記した。



「植物画の世界」記念講演会



アルプ美術館学芸員による作品解説会



学芸員による子どもギャラリートーク



学芸員による作品解説会

## C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
4.30、5.1、6.12	1. 太田三郎 多々良沼ボタニー・プロジェクト	太田三郎(造形作家)、 青木雅夫(館林市立第十小学校長)	ワークショップ室、 展示室、美術館周辺	14
7.23	2. 空・大地・身体-風景をつくる-	犬飼美也妃 (「夏の蜃気楼」出品作家)	講堂、展示室、 美術館周辺	5
7.31	3. 2005年7月31日の私 -自分の形に描く絵-	吉賀あさみ (「夏の蜃気楼」出品作家)	ワークショップ室、 展示室	19
10.8-9	4. シルクスクリーン-2色刷に挑戦-	小山愛人(版画家)、 鈴木吐志哉(版画家)、 浅野慶(版画家)	ワークショップ室、 展示室	14
12.18	5. ハクチョウ観察隊 -写真をとってコラージュしよう!-	伊藤佳之、中島幸子	多々良沼周辺、 ワークショップ室、 展示室	21

### 1. 太田三郎 多々良沼ボタニー・プロジェクト

造形作家の太田三郎と植物研究者の青木雅夫を講師に招き、美術館周辺の植物を観察、採取してコピーし、手書きの図とともにカード化した植物画を展示室1に掲示した。また、湿地の土を採取して鉢に入れ、地中の種の発芽を観察した。

### 2. 空・大地・身体-風景をつくる-

「夏の蜃気楼」出品作家でパフォーマンス作家である犬飼美也妃を講師に招き、身体とそれを取り囲む空間との関係を、身体の形と動きによって表現した。

### 3. 2005年7月31日の私-自分の形に描く絵-

「夏の蜃気楼」出品作家で造形作家である吉賀あさみを講師に招き、7月31日の自分の等身大のすがたをテトロン布に写し取り、とらえどころのない自分の有り様を確かめる試みを行った。

### 4. シルクスクリーン-2色刷に挑戦-

版画家で創形美術学校専任講師の小山愛人ら3名を講師に招き、2色刷によるシルクスクリーンの版画制作を行い、版画作品への理解を深めた。

### 5. ハクチョウ観察隊-写真をとってコラージュしよう!-

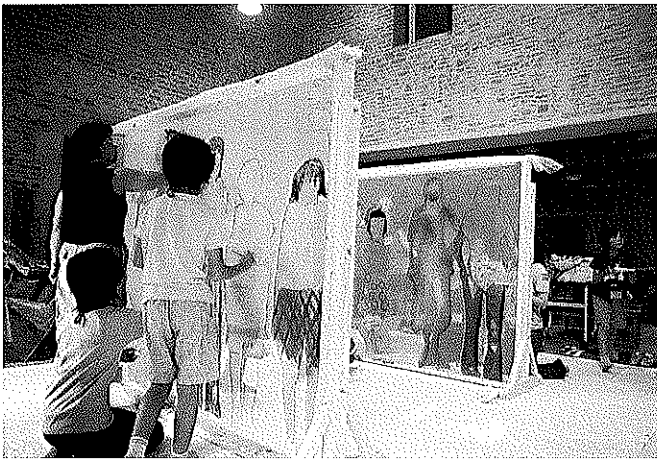
美術館近くにある多々良沼に飛来する、ハクチョウや周辺の自然を観察した体験をもとに、現地で撮影した画像でコラージュ作品を制作した。



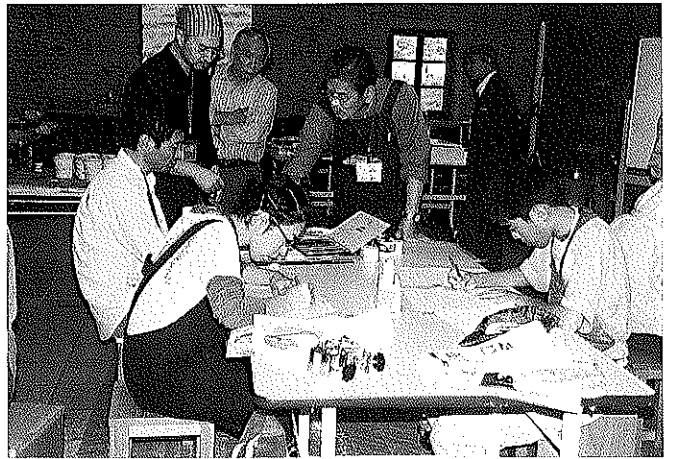
太田三郎 多々良沼ボタニー・プロジェクト



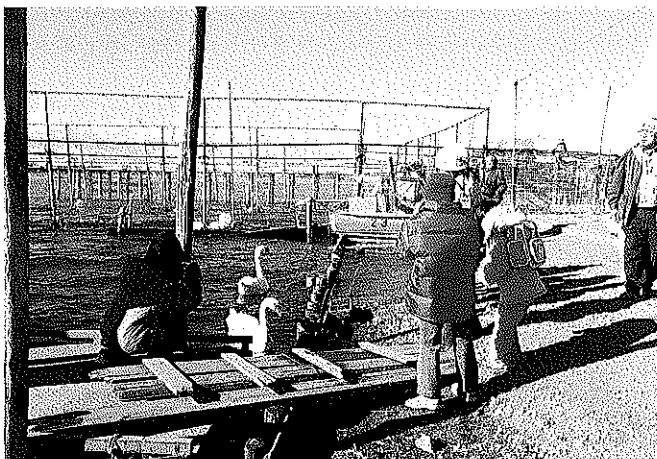
空・大地・身体ー風景をつくるー



2005年7月31日の私ー自分の形に描く絵ー



シルクスクリーンー2色刷に挑戦ー



ハクチョウ観察隊ー写真をとってコラージュしよう！ー



## D 創作体験コーナー みんなのアトリエ

展覧会「夏の蜜気楼」期間中に、カラー粘土を使っていろいろな植物を作る「創作体験コーナー みんなのアトリエ」を、7月21日～8月25日の毎週木曜日、計6回開催し、合計171名が参加した。

## E 美術講座

### 1. 「ドイツ美術」がわかる！

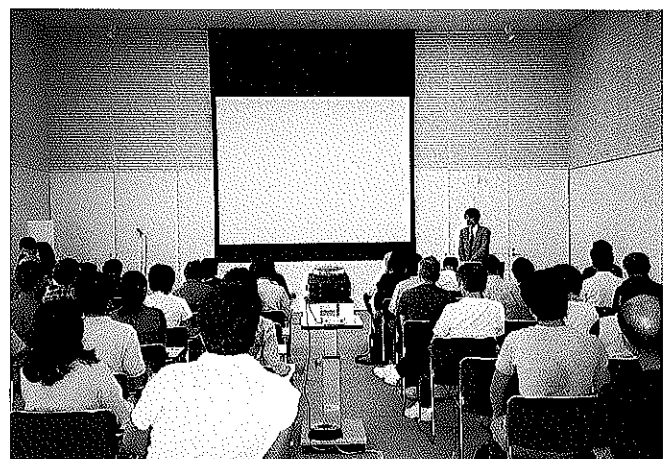
開催日	演題	講師	会場	参加者数
10.2	17世紀まで：中近世のドイツ美術－デューラーを中心に－	秋山聰(東京学芸大学助教授)	講堂	45
10.30	18-19世紀：「新」古典主義とロマン主義－ヴィンケルマン周辺とフリードリヒを中心に－	大原まゆみ(明治学院大学教授)	講堂	47
11.13	20世紀：ドイツ主義と新表現主義－「ドイツ的」なる美術とは？－	宮下誠(國學院大学助教授)	講堂	49

### 2. アーティストとその時代

開催日	演題	講師	会場	参加者数
1.29	トム・シャノン、ブルーノ・ロメダと現代彫刻	木島俊介	講堂	23
2.5	リチャード・ロングとアースワーク	松下和美	講堂	22
2.19	1950年代の美術①	伊藤佳之	講堂	23
3.5	1950年代の美術②	中田宏明	講堂	18



創作体験コーナー みんなのアトリエ



美術講座「ドイツ美術」がわかる！

## F ミュージアム・オリエンテーリング GMAT探検隊

小学3年生から一般まで対象に、クイズ形式のワークシートを使いながら美術館内を巡り、美術館と展示作品に親しんだ。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6.11	美術館のうらがわ探検	中島幸子	美術館	12
11.12	美術館ウォッチング	中島幸子	美術館	5

## G 子どもミュージアム・スクール

昨年に引き続き、小学3年生から中学2年生までを対象に、美術鑑賞やワークショップなどの体験を月1回、年間を通して7回連続で行う「子どもミュージアム・スクール」を開催した。この事業は、多彩な美術の体験を継続的に行うことによって、美術館と美術作品に親しみ理解と深めることを目的としている。講師は、中島幸子ほか当館職員が担当した。

開催日	時間	名称 内容	会場	参加者数
5.29	10:30-16:00	開校式、ワークショップ「植物を見て描こう、作ろう」、展覧会鑑賞、作品制作	美術館、美術館周辺	20
6.25	10:30-16:00	ワークショップ「企画展覧会「夏の蜃気楼」を楽しむ」、展覧会鑑賞、作品制作、犬飼美也妃パフォーマンス参加	美術館	19
7.30	10:00-16:30	ワークショップ「2005年7月30日の私－自分の形に描く絵－」 講師：吉賀あさみ(出品作家)、展覧会鑑賞、アーティスト・トーク、作品制作	美術館	21
8.27	10:30-16:00	ワークショップ「美術館探検」、展覧会鑑賞	美術館	19
9.24	10:30-16:00	ワークショップ「コラージュで描こう」、展覧会鑑賞、作品制作	美術館	14
10.29	9:40-16:30	こんにちは美術館「栃木県立美術館をたずねる」、展覧会鑑賞	美術館、栃木県立美術館	16
11.26	10:30-16:00	ワークショップ「ハクチョウ観察隊－多々良の自然にふれる」、自然観察、展覧会鑑賞、作品制作、修了式	美術館、多々良沼周辺	18



GMAT探検隊「美術館のうらがわ探検」



子どもミュージアム・スクール

## H アーティスト・トーク

企画展覧会「夏の蜃気楼」展会中に、出品作家による展示作品を中心としたギャラリートークを行った。

開催日	アーティスト	会場	参加者数
6.25	青木陵子、稲垣智子	展示室	36
8.14	小瀬村真美、諸橋明香	展示室	43
8.20	安田千絵、吉賀あさみ	展示室	33
8.28	加藤千尋、金田実生、長塚秀人	展示室	62

## I パフォーマンス

企画展覧会「夏の蜃気楼」展会中に、出品作家犬飼美也妃によるパフォーマンスを行った。最終日は、ビニール袋に詰めた作者の呼吸を自然に戻す「解放式」となった。

開催日	名称	会場	参加者数
6.25	犬飼美也妃パフォーマンス「すってはいて」	展示室	44
7.24	犬飼美也妃パフォーマンス「すってはいて」	エントランス、美術館周辺	40
8.20	犬飼美也妃パフォーマンス「すってはいて」	展示室	31
8.31	犬飼美也妃パフォーマンス「解放式」	展示室、美術館周辺	23



アーティスト・トーク



パフォーマンス

## J 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目指しているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

### 1. 学校との連携事業

開催日	名称	学校名、学年	講師	会場	参加者数
8.11	作品鑑賞	大泉町立南中学校美術部	中島幸子	展示室他	14
8.17	作品鑑賞	共愛学園高等学校美術部	中島幸子	研修室	16
8.18・25	職場体験	館林市立第二中学校2年	伊藤佳之他	ワークショップ室	3
8.20	作品鑑賞	大泉町立北中学校	伊藤佳之	研究室	14
8.31	職場体験学習	館林市立多々良中学校1年	伊藤佳之	研修室他	8
9.22	職場体験学習	群馬県立西邑楽高等学校2年	中島幸子	展示室、研修室他	20
10.19	バリアフリー学習	館林市立第八小学校4年	堀口英子	研修室	20
10.20	作品鑑賞	富士幼稚園	伊藤佳之他	展示室	75
2.23	作品鑑賞	板倉町立北小学校6年	伊藤佳之他	展示室	30

### 2. 研修等の受け入れ

開催日	名称	学校名、学年	講師	会場	参加者数
7.21・28	社会体験研修	群馬県立桐生女子高等学校	伊藤佳之他	ワークショップ室他	1
7.21・28	社会体験研修	館林市立第一小学校	伊藤佳之他	ワークショップ室他	1
8.9	「美術作品のよさや面白さなどについて感じたことや思ったことを話し合う鑑賞」	群馬県総合教育センター研修	松下和美、伊藤佳之	講堂、展示室	10

### 3. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	2	5	4	2	11	3	8	3	3	1	6	5	53
人数	33	242	243	39	276	61	441	93	73	37	174	103	1,815



学校連携(作品鑑賞)



ボランティア(特別展示水やりボランティア)

## K 刊行物

(展覧会関連のものは、各展覧会の項に記載)

©GMAT News(A4判、4頁、発行部数8,000部)

GMAT Newsは、企画展やコレクション展示、講演、ワークショップ、ギャラリートークなどの館行事の紹介や、所蔵品の解説などによって内容を構成している。館の事業の広報をはかるとともに、美術及び美術館に対する県民の理解を深めることを目的として、年4回発行。

•GMAT News 15 平成17年6月1日発行

表紙 夏の蟹気楼 出品作品紹介 金田実生《夜が少しづつ降りる》

企画展示のご案内 夏の蟹気楼、関連事業

所蔵作品のご紹介 ブルーノ・ロメダ《純粋な大円》

「植物画の世界」記念講演会ご報告

次回企画展示のご案内 ハンス・アルプ展-20世紀彫刻の開拓者

9月11日(日)~11月27日(日)

企画展示「夏の蟹気楼」関連事業参加者募集

友の会だより 友の会総会のお知らせ、ミュージアム・ショップ近況報告



•GMAT News 16 平成17年9月1日発行

表紙 ハンス・アルプ展 出品作品紹介 ハンス・アルプ《自画像》

企画展示のご案内 ハンス・アルプ展-20世紀彫刻の開拓者-

関連事業

特別展示のご案内 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら-

12月10日(土)~4月2日(日)

「植物画の世界」関連事業ご報告

「夏の蟹気楼」関連事業のご報告(1)

版画ワークショップ「シルクスクリーン-2色刷りに挑戦-」参加者募集

のお知らせ、ワークショップ「ハクチョウ観察隊」参加者募集

友の会だより 10月会員を募集中です、ミュージアム・ショップ新入荷情報!



•GMAT News 17 平成17年12月1日発行

表紙 特別展示 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら- 出品作品紹介

鶴飼美紀《無題》、辻和美《居心地の良い部屋》

特別展示のご案内 鶴飼美紀+辻和美-光のかけら-

「夏の蟹気楼」関連事業のご報告(2)アーティスト・トーク、パフォーマンス

版画ワークショップ「シルクスクリーン-2色刷りに挑戦-」にご報告

展示室2「1950年代(昭和25-34年)の美術」

展示室3「柄澤齊」、「富脇愛子」、「藤牧義夫と『新版画』」

展示室4「2004年度新収蔵作品」、「近現代の彫刻II」

美術講座「『ドイツ美術』がわかる!」のご報告

美術講座「アーティストとその時代」参加者募集

友の会だより ミュージアムツアーのご報告、ニューイヤーコンサートのお知らせ



•GMAT News 18 平成18年3月1日発行

表紙 ウィリアム・モリス 出品作品紹介

デザイン:ウィリアム・モリス《クレイ》

企画展示のご案内 ウィリアム・モリス展-ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイナー-、関連事業

同時開催:特集展示「ロッセッティとバーン=ジョーンズ-モリスをめぐる作家たち-」のご案内

テーマ展示のご案内

2005年度「子どもミュージアム・スクール」のご報告と2006年度参加者募集

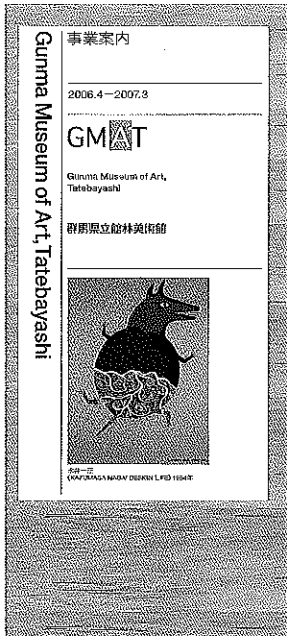
「ウィリアム・モリス展」記念講演会・ワークショップ参加者募集のお知らせ

記念講演会「バーン=ジョーンズが人を、ウェップが鳥を、そしてモリスが野の花を描いた」、ワークショップ「植物アレンジメント/変容する植物模様」

友の会だより 4月会員を募集しています、ニューイヤーコンサートのご報告

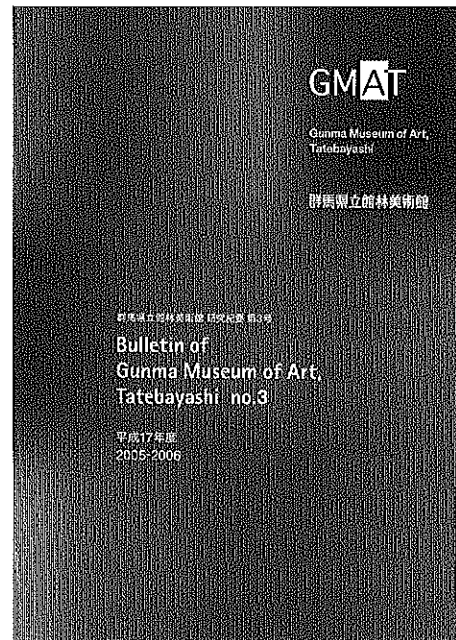


◎群馬県立館林美術館平成18年度事業案内  
B4変形 4つ折り  
平成18年3月発行  
発行部数30,000部

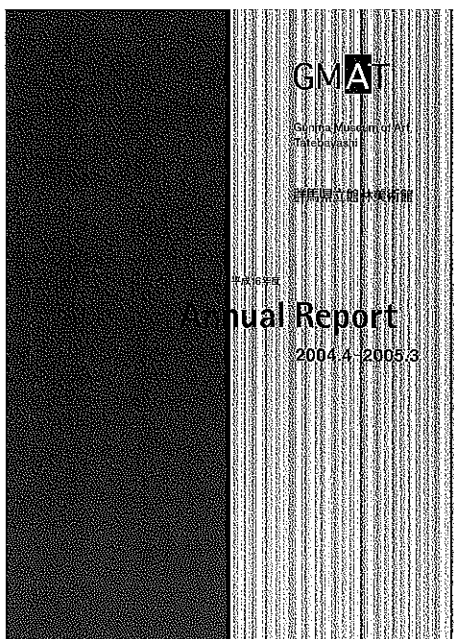


◎群馬県立館林美術館平成17年度研究紀要  
A4判 28頁  
平成18年3月発行  
発行部数700部

内容：  
伊藤香織 「国立文化財学院－フランスにおける文化財保存官養成」  
中田宏明 研究ノート「群馬県と写真をめぐって」その1



◎群馬県立館林美術館平成16年度年報  
A4判 97頁  
平成18年1月発行  
発行部数900部



## L ボランティア

企画展示「木でつくる美術」開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

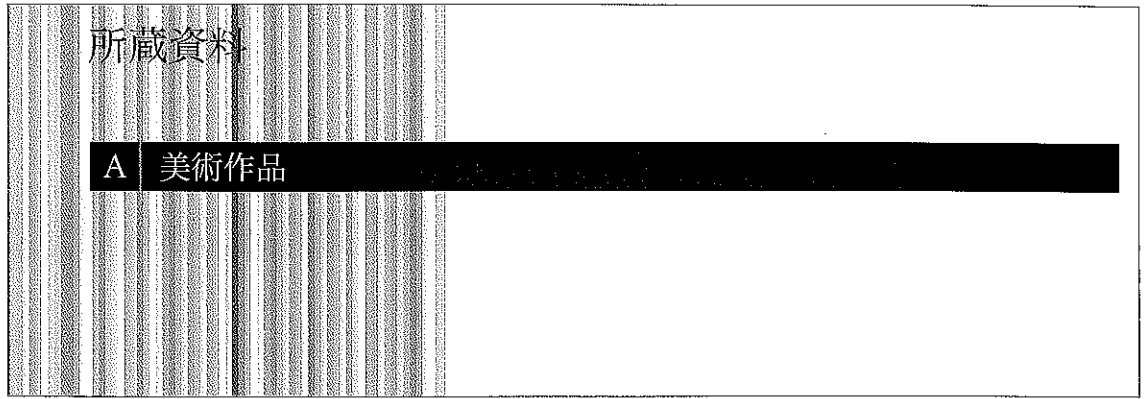
期日	名称	人数
7.22-8.26	創作体験コーナー「みんなのアトリエ」作業補助ボランティア	31
H18.1.17、2.20、3.13	特別展示「鶴飼美紀+辻和美-光のかけら-」水やりボランティア	14

## M 博物館実習

- 1.実習生 4名  
実践女子大学 文芸学部美学美術史学科 1名  
長岡造形大学 造形学部環境デザイン学科文化財建造物コース 1名  
日本大学 芸術学部デザイン学科 1名  
共立女子大学 文学部文学専攻文芸教養コース 1名
- 2.実施期間 平成17年8月16日～21日
- 3.実習内容
- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| ◎講義           | ◎実習作業                 |
| ・館長講話         | ・企画展、関連事業の見学          |
| ・美術館の概要       | ・創作体験コーナー「みんなのアトリエ」補助 |
| ・美術館活動と学芸員の役割 | ・美術品の取り扱い             |
| ・美術館の学芸業務     | ・監視体験                 |
| ・美術館の教育普及活動   | ・広報物の発送準備             |
| ・美術館の施設管理・運営  | ・図書整理                 |
| ・美術館の環境管理     | ・課題の作成「企画展をつくる」       |
| ・美術館の警備       |                       |

## N 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

- 1.運営会議
- (1)総会(6月25日)
- (2)理事会(6月25日);会運営の方針、役員改選等重要事項の審議
- (3)運営委員会(4回、5月31日、6月21日、8月9日、10月14日);事業の運営企画等具体事項の協議
- 2.美術館協力支援事業
- (1)ミュージアム・ショップの運営(平成17年4月～平成18年3月、12ヶ月);展覧会図録、ポストカード、美術関係書籍その他の展示販売をとおし、来館者へのサービスに努めた。
- (2)美術館支援;美術館活動に必要な図書の寄贈。
- 3.会員対象事業
- (1)美術館情報の提供;5回。会員に対し、「GMAT News」、展覧会・美術館事業の広報資料を送付。
- (2)ミュージアムツアーの開催;美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者数36名。  
訪問先;宇都宮美術館、とちぎ山車会館
- (3)ニューイヤーコンサート(1月13日);音楽の鑑賞(ソプラノ、ピアノ)と会員相互の親睦を深めた。参加者数145名。  
出演者:齋藤千花、田部井剛



1. 作品収蔵状況 平成18年3月31日現在

作家区分 収蔵方法	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	3	1	4	1	0	1	0	0	0	5
油彩その他	6	0	6	13	0	13	6	0	6	25
水彩・素描	11	0	11	3	0	3	8	0	8	22
版画	13	0	13	236	252	488	37	0	37	538
写真	0	0	0	42	0	42	2	0	2	44
彫刻	5	0	5	4	2	6	125	0	125	136
染織・工芸	5	0	5	3	0	3	4	0	4	12
計	43	1	44	302	254	556	182	0	182	782

2. 平成17年度 収蔵作品

平成17年度においては、日本画2点(購入2点)、油彩その他5点(購入5点)、水彩・素描1点(寄贈1点)、版画2点(購入2点)、写真24点(購入24点)、彫刻1点(購入1点)の計35点を新たに収蔵した。以下、各区分ごとに日本人作家、外国人作家の順番に分け、前者は50音順、後者はアルファベット順に配列している。

各作品データは、以下の順に記す(版画等は、共通するデータを最初に記す)。

- ・作者名(生没年)
- ・作品名
- ・制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- ・技法・材質(・形状)
- ・寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行き、単位はcm、版画および写真作品は原則としてイメージサイズを示す)
- ・サイン、年記、その他の記載事項(版画作品の場合は原則として限定番号を記す)
- ・発表展覧会および受賞記録
- ・受入種別(寄贈の場合は寄贈者名を併記)
- ・受入番号



<日本画>

磯部草丘 (1897~1967)

ISOBE Sokyu

犬吠埼図

1933(昭和8)年

絹本彩色・軸

80.0×60.4

落款:上に自賛、款記「昭蘇炎酉盛夏 草丘逸民」、白文方印「艸」、朱文方印「丘」、右下に朱文方印「尺山丈艸居士」(遊印)、左下に白文方印「菴古舎今」(遊印)

購入

749



小室翠雲 (1874~1945)

KOMURO Suiun

長興山荘図

1929(昭和4)年

紙本墨画淡彩・軸

121.3×180.5

落款:右上に自賛、款記「己巳初秋 長興山荘中 翠雲道人并題」、白文方印「真印」、朱文方印「翠雲」、左下に白文長方印「長興山荘」(遊印)

購入

748



<油彩その他>

金田実生 (1963~)

KANEDA Mio

冬の呼吸

2004(平成16)年

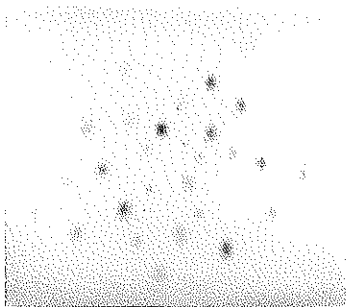
水性クレヨン、鉛筆・紙

155.0×174.0

大阪・アート・カレイドスコープ「O SAKA 04」春・花・生(海岸通ギャラリー・CASO、2004年)

購入

778



金田実生 (1963~)

KANEDA Mio

夜が少しづつ降りる

2005(平成17)年

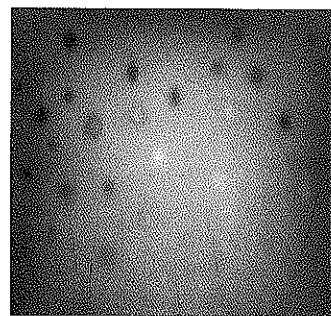
油彩・紙

154.0×165.0

個展 紡ぎゆく日々(ギャラリー 寛、2005年)

購入

779



鶴岡政男 (1907~1979)

TSURUOKA Masao

静かなる山(山と月と湖)

1955(昭和30)年

油彩・カンヴァス

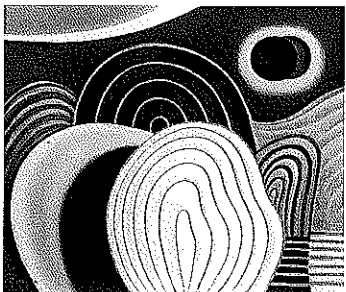
53.0×65.2

画面左下に署名「m.Turuoka」、画面裏に題名と年記、署名「静かなる夜」(山と月と湖) 一九五五—鶴岡政男

戦後洋画の異才 鶴岡政男の全貌(群馬県立近代美術館、1979年)

購入

750



西村盛雄 (1960~)

NISHIMURA Morio

無題

2004(平成16)年

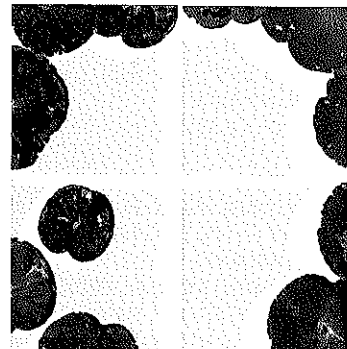
蓮の葉、紙

185.0×185.0(4点組)

今日の作家X 西村盛雄・松本陽子展(神奈川県立近代美術館 鎌倉、2005年)

購入

753



森芳雄 (1908~1997)

MORI Yoshio

母子像

1979(昭和54)年

油彩・カンヴァス

130.0×97.5

画面左下に署名「Y.MoRi」、  
画面裏の右上に題名「母子像」、左  
下に署名と年記「森芳雄-1979-」  
第7回椿会美術展(資生堂ギャラ  
リ-、1980年)

購入

751



<水彩・素描>

鶴岡政男 (1907~1979)

TSURUOKA Masao

雨の庭

1960年代

パステル・紙

36.0×25.0

画面左下に署名「M.Turuoka」、  
画面裏右上に題名「雨の庭」、左下に  
英文題名「18 gardain in the Rain」  
鶴岡政男パステル展(フマギャラ  
リ-、1978年)

寄贈

782



<版画>

J.-J.グランヴィル (1803~1847)

J.-J.GRANDVILLE

『生きている花々』

1847年

第1巻 262頁

扉絵:木口木版、手彩色・紙、図版28点(No.1~28):スチ  
ール・エングレーヴィング、手彩色・紙

第2巻 263-364頁

扉絵:木口木版、手彩色・紙、図版22点(No.29~50):スチ  
ール・エングレーヴィング、手彩色・紙

J.-J.グランヴィル以外の作者による口絵2点:スチール・エ  
ングレーヴィング・紙

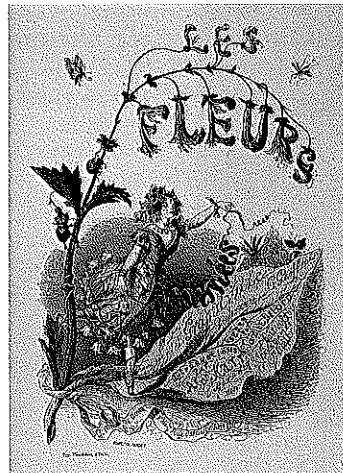
書籍:26.6×19.2×3.1

ページ:25.8×18.0

ガブリエル・ド・ゴネ刊

購入

780



第1巻 扉絵



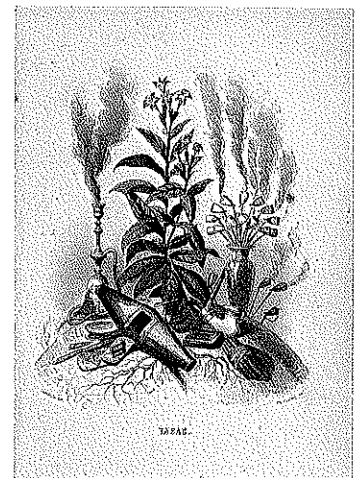
1. ヤグルマソウとヒナゲシ



2. ユリ



3. パンジー



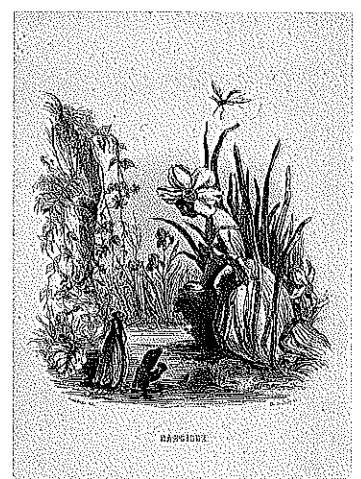
4. タバコ



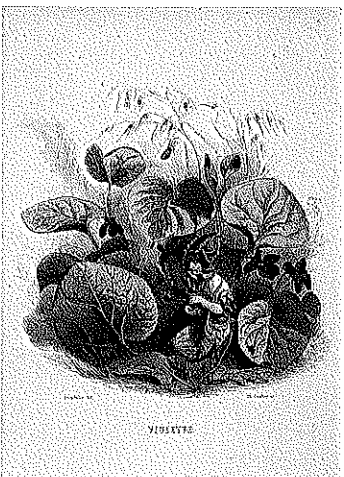
5. チューリップ



6.バラ



7. スイセン



8. スミレ



9. スイレン



10. ゲッケイジュ



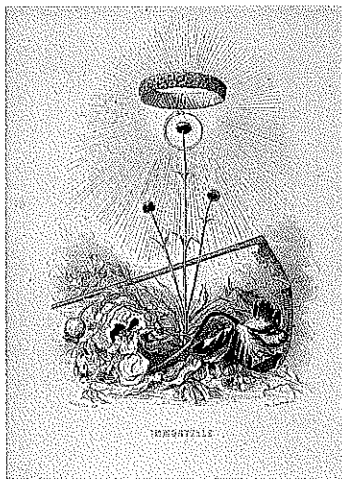
11. ミルテ



12. マーガレット



13. ツバキ



14. ムギワラギク



15. スイカズラ



16. オシロイバナ



17. カーネーション



18. ドクニンジン



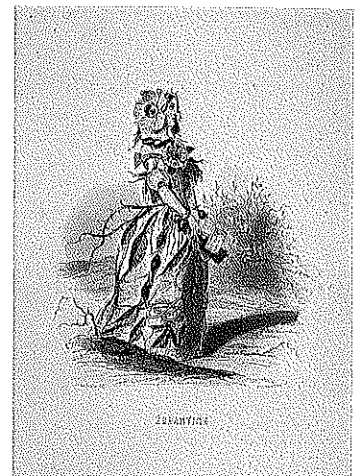
19. ヒマワリ



20. ザクロの花



21. 亜麻



22. ノバラ



23. ケシ



24. アザミ



25. オレンジの花



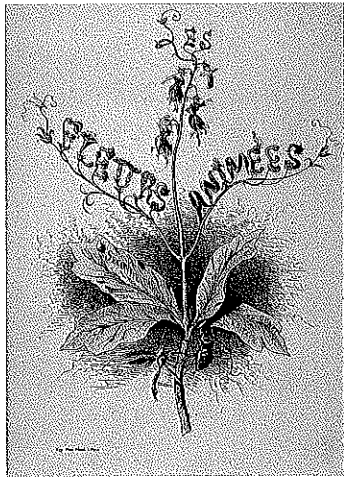
26. ナスタチウム



27. タチアオイ



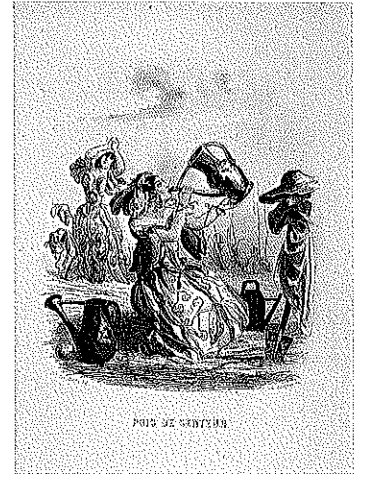
28. サクラソウとマツユキソウ



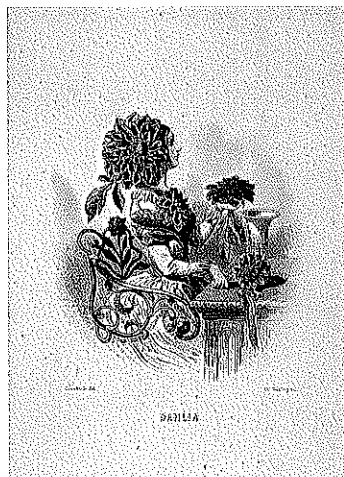
第2巻 扉絵



29. サボテン



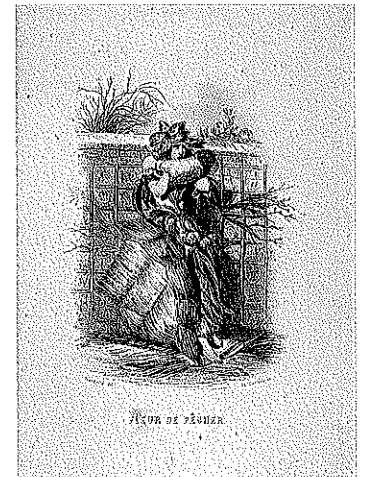
30. スイートピー



31. ダリア



32. オジギソウ



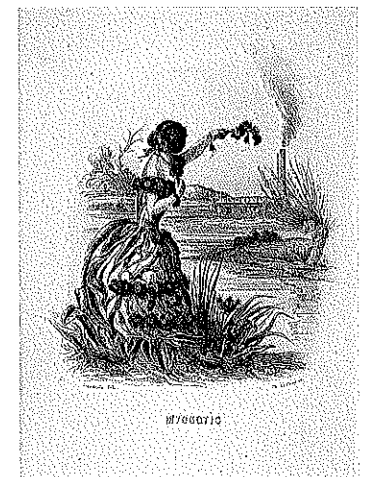
33. モモ



34. サンザシ



35. ブドウ



36. ワスレナグサ



37. ジャスミン



38. キンセンカとマツムシソウ



39. 花の人身売買



40. クワイ



41. アジサイとヨウラクユリ



42. クマツヅラ



43. ニオイアラセイトウ



44. 紅茶とコーヒー



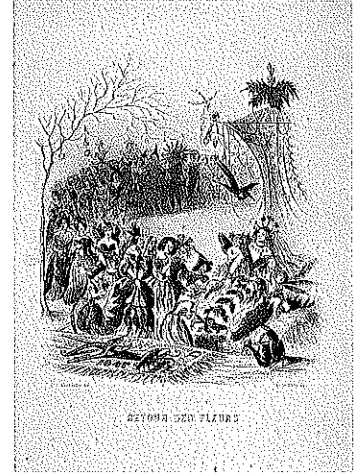
45. ライラック



46. チュベローズと黄水仙



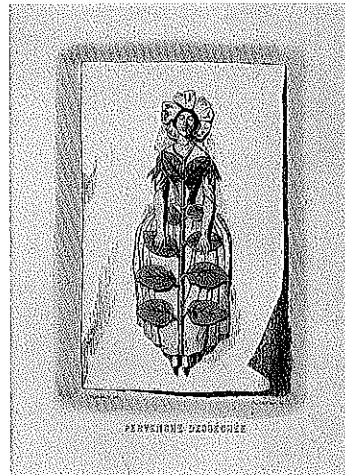
47. 花たちの舞踏会



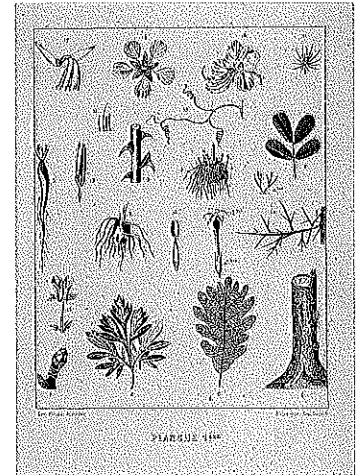
48. 花々の帰還



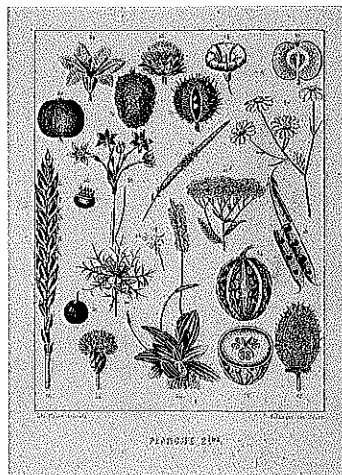
49. 誤りの花



50. 乾燥されたツルニチニチソウ



口絵 1



口絵 2



アルフレッド・テニソン『詩集』

1857年

木口木版・紙

書籍:22.4×16.0×4.1

ページ:21.5×15.0

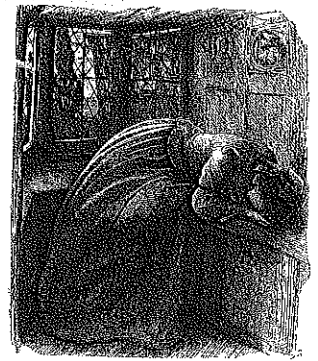
エドワード・モクソン刊

購入

781



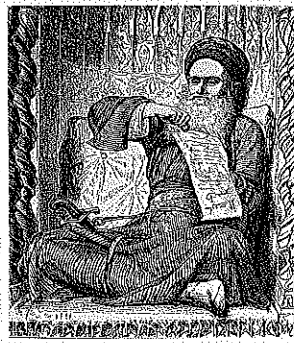
1. トーマス・クレズウィック  
(1811~1869)  
Thomas CRESWICK  
クラリベル  
10.0×8.0



2. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
マリアナ  
9.5×8.0



3. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
アラビアン・ナイトの思い出  
8.0×9.4



4. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
アラビアン・ナイトの思い出  
9.4×8.2



5. トーマス・クレズウィック  
(1811~1869)  
Thomas CRESWICK  
思い出に捧ぐ  
9.2×8.1



6. ウィリアム・マルレディ  
(1786~1863)  
William MULREADY  
海の妖精たち  
8.0×9.5



7. ウィリアム・マルレディ  
(1786~1863)  
William MULREADY  
魔家  
8.1×9.7



8. トーマス・クレズウィック  
(1811~1869)  
Thomas CRESWICK  
哀歌  
9.3×8.1



9. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
オリアナのバラッド  
9.4×8.1



10. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
オリアナのバラッド  
8.1×9.5



11. ジョン・カルコット・ホースリー  
(1817~1903)  
John Callcott HORSLEY  
境遇  
9.1×8.0



12. ジョン・カルコット・ホースリー  
(1817~1903)  
John Callcott HORSLEY  
境遇  
6.8×6.5



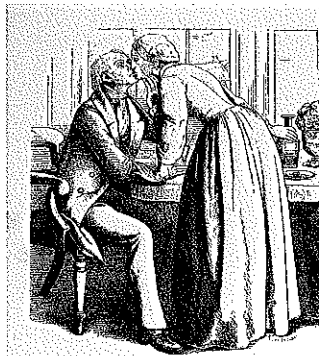
13. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
シャロット姫  
9.5×8.2



14. ダンテ・ゲイブリエル・ロッセッティ  
(1828~1882)  
Dante Gabriel ROSSETTI  
シャロット姫  
9.5×8.1



15. ダンテ・ゲイブリエル・ロッセッティ  
(1828~1882)  
Dante Gabriel ROSSETTI  
南の国のマリアナ  
9.7×8.2



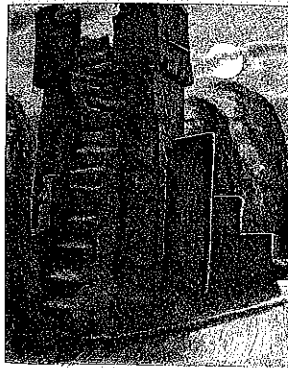
16. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
粉屋の娘  
9.4×8.8



17. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
粉屋の娘  
9.6×8.3



18. クラークソン・フレデリック・スタン  
フィールド  
(1793~1867)  
Clarkson Frederick STANFIELD  
イノーニー  
8.8×9.4



19. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
姉妹  
9.4×7.5



20. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
(1828~1882)  
Dante Gabriel ROSSETTI  
芸術の宮殿  
9.9×8.0



21. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
(1828~1882)  
Dante Gabriel ROSSETTI  
芸術の宮殿  
8.0×9.4



22. ジョン・カルコット・ホースリー  
(1817~1903)  
John Callcott HORSLEY  
メイ・クイーン  
9.7×8.3



23. ジョン・カルコット・ホースリー  
(1817~1903)  
John Callcott HORSLEY  
メイ・クイーン:大晦日  
9.5×8.0



24. ジョン・カルコット・ホースリー  
(1817~1903)  
John Callcott HORSLEY  
メイ・クイーン:結末  
9.6×8.3



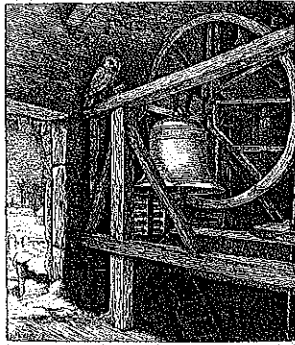
25. クラークソン・フレデリック・スタン  
フィールド  
(1793~1867)  
Clarkson Frederick STANFIELD  
安逸の人々  
11.2×8.4



26. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
美女の夢  
9.8×8.2



27. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
美女  
8.3×9.7



28. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
旧年の終わり  
9.6×8.3



29. ウィリアム・マルレディ  
(1786~1863)  
William MULREADY  
ガチョウ  
8.1×9.7



30. ダニエル・マクリース  
(1806~1870)  
Daniel MACLISE  
アーサーの死  
12.2×9.4



31. ダニエル・マクリース  
(1806~1870)  
Daniel MACLISE  
アーサーの死  
12.1×9.3



32. ジョン・カルコット・ホースリー  
(1817~1903)  
John Callcott HORSELEY  
庭師の娘、あるいは絵画  
9.8×6.8



33. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
ドラ  
9.7×8.2



34. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
ドラ  
9.2×8.2



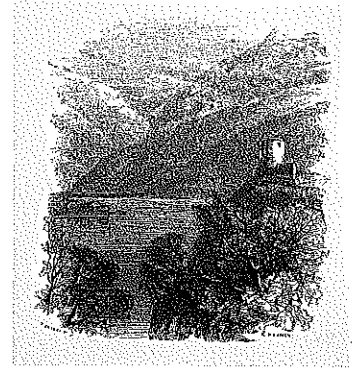
35. クラークソン・フレデリック・スタン  
フィールド  
(1793~1867)  
Clarkson Frederick STANFIELD  
エドウィン・モリス、あるいは湖  
11.3×8.8



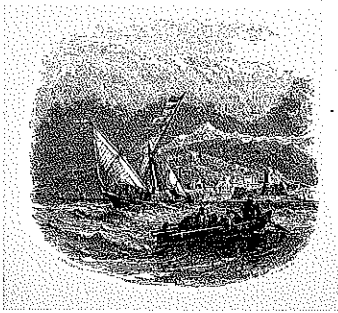
36. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
話をするオークの木  
8.3×9.8



37. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
話をするオークの木  
9.7×8.4



38. トーマス・クレズウィック  
(1811~1869)  
Thomas CRESWICK  
黄金年  
9.4×8.5



39. クラークソン・フレデリック・スタン  
フィールド  
(1793~1867)  
Clarkson Frederick STANFIELD  
ユリシーズ  
9.6×10.3



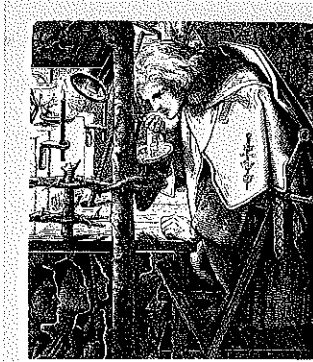
40. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
ロクスリー館  
9.5×8.2



41. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
ロクスリー館  
9.3×8.2



42. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
ゴディヴァ  
9.5×8.1



43. ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
(1828~1882)  
Dante Gabriel ROSSETTI  
サー・ガラハッド  
9.5×8.1



44. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
聖アグネス祭の前夜  
9.8×7.8



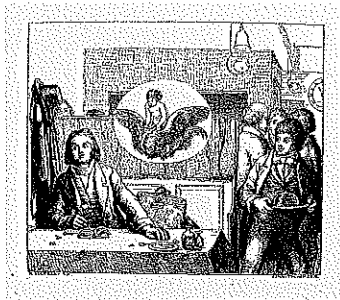
45. クラークソン・フレデリック・スタン  
フィールド  
(1793~1867)  
Clarkson Frederick STANFIELD  
聖アグネス祭の前夜  
11.5×9.2



46. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
白日夢  
8.4×9.7



47. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
白日夢：復活  
8.8×9.5



48. ウィリアム・マルレディ  
(1786~1863)  
William MULREADY  
コック亭でのウィル・ウォーターブ  
ルーフの叙情的な長いおしゃべり  
8.2×9.7



49. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
エドワード・グレイ  
8.3×8.3



50. トーマス・クレズウィック  
(1811~1869)  
Thomas CRESWICK  
ある別れ  
10.0×8.0



51. ジョン・エヴァレット・ミレイ  
(1829~1896)  
John Everett MILLAIS  
パーリー卿  
8.3×9.7



52. ウィリアム・ホルマン・ハント  
(1827~1910)  
William Holman HUNT  
乞食のメイド  
9.4×8.1



53. トーマス・クレズウィック  
(1811~1869)  
Thomas CRESWICK  
[東へ行け、幸せな地へ、そして去れ]  
9.8×8.0



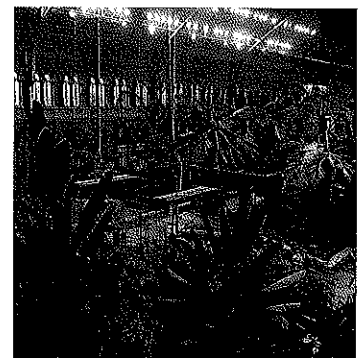
54. クラークソン・フレデリック・スタン  
フィールド  
(1793~1867)  
Clarkson Frederick STANFIELD  
「砕け、砕けよ、砕け散れ」  
9.6×8.0

<写真>

安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1997(平成9)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
754



安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1997(平成9)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
755



安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1997(平成9)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
756



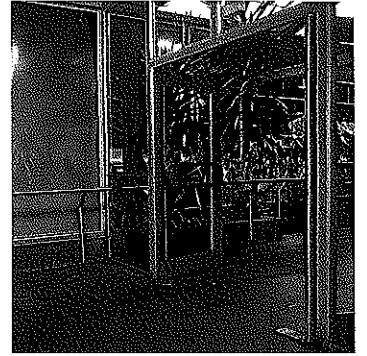
安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
2001(平成13)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
757



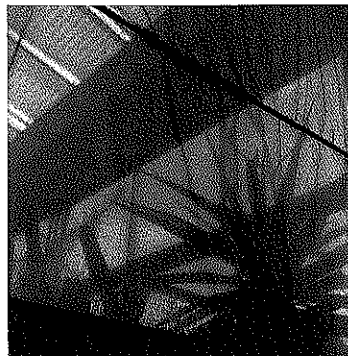
安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1997(平成9)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
758



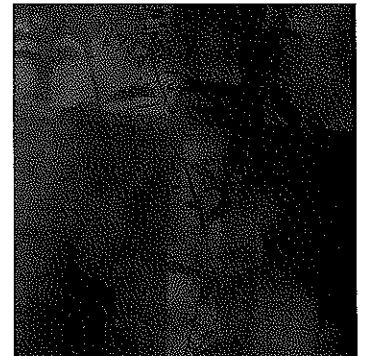
安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1999(平成11)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
759



安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1998(平成10)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
760



安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
2000(平成12)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
761



安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
2001(平成13)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
762



安田千絵 (1962~)  
YASUDA Chie  
Untitled  
1998(平成10)年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
43.0×35.5  
シート裏に制作年、エディション  
番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」  
購入  
763





安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1999(平成11)年

ゼラチン・シルバー・プリント

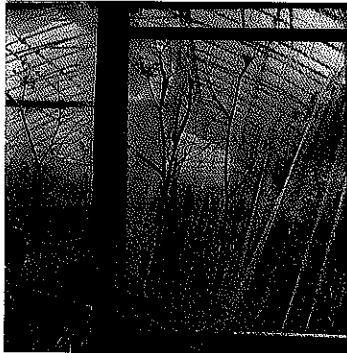
43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

764



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1998(平成10)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

765



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

2001(平成13)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

766



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

2001(平成13)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

767



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1998(平成10)年

ゼラチン・シルバー・プリント

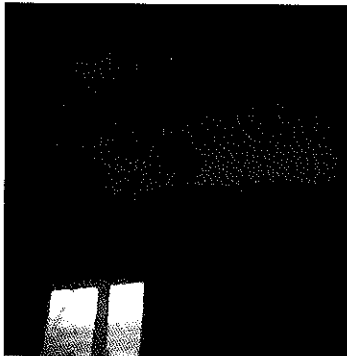
43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

768



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1998(平成10)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

769



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1993(平成5)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

770



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1993年(平成5)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

771



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1995(平成7)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

772



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1995(平成7)年

ゼラチン・シルバー・プリント

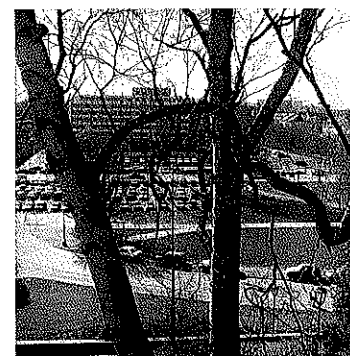
43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

773



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

2002(平成14)年

ゼラチン・シルバー・プリント

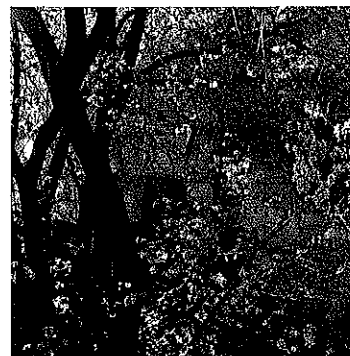
43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

774



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1996(平成8)年

ゼラチン・シルバー・プリント

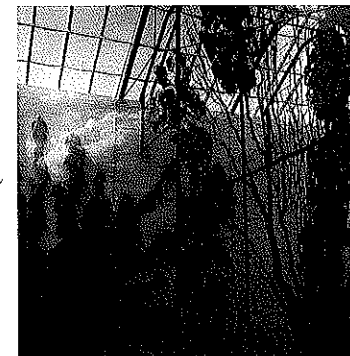
43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号「1/5」、署名「Chie Yasuda」

購入

775



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

2000(平成12)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号[1/5]、署名[Chie Yasuda]

購入

776



安田千絵 (1962~)

YASUDA Chie

Untitled

1996(平成8)年

ゼラチン・シルバー・プリント

43.0×35.5

シート裏に制作年、エディション

番号[1/5]、署名[Chie Yasuda]

購入

777



<彫刻>

西村盛雄 (1960~)

NISHIMURA Morio

甘露の雨: マナ10

2002(平成14)年

木

65.0×160.0×207.0

MORIO NISHIMURA Artist in

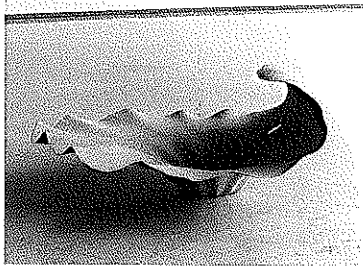
Residence 2001/2002(クンスト・

シュタツィオン・ザンクト・ペー

ター教会、ケルン、2002年)

購入

752



### 3.平成17年度 寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0×123.0
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0×123.0
伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180.0×180.0
伊庭靖子	Untitled	2003	油彩・カンヴァス	120.0×160.0
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・ 浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他・紙	43.6×34.6
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7×18.8
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3×16.3
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2×14.2
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1×21.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3×23.3
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6×22.0
清宮質文	暗い夕日(暗い夕日1)	1972	木版・紙	21.0×19.2
清宮質文	冬(暗い夕日2)	1972	木版・紙	23.0×21.8
清宮質文	トンネルの出口(暗い夕日3)	1972	木版・紙	23.4×20.1
清宮質文	虜囚の窓(暗い夕日4)	1972	木版・紙	24.3×20.0
清宮質文	夕方の静物(暗い夕日5)	1972	木版・紙	23.0×21.9
清宮質文	窓のカンテラ(暗い夕日6)	1972	木版・紙	24.2×15.0
清宮質文	入日(暗い夕日7)	1972	木版・紙	16.2×25.8
清宮質文	町外れ(暗い夕日8)	1972	木版・紙	16.6×22.0
清宮質文	夕日の静物(暗い夕日9)	1972	木版・紙	13.7×22.2
清宮質文	瓶の中の魚(暗い夕日10)	1972	木版・紙	20.0×22.6
清宮質文	深夜の蠅燭	1974	木版・紙	18.0×15.2
清宮質文	星占い〜去りゆく凶星〜	1975	木版・紙	15.2×18.0
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2×14.1
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0×16.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5×14.0
清宮質文	われむかしの日にしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2×13.0
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5×6.8
清宮質文	夕べの道	1983	水彩・紙	17.4×25.4
清宮質文	古い暦	1983	モノタイプ・紙	18.5×14.1
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	20.8×16.2
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	19.3×11.8
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.6×16.2
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8×16.0
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.5×16.9
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8×7.0
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8×27.7
清宮質文	緑の太陽	1988	水彩・紙	16.8×29.2
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.2×16.2
清宮質文	未完(絶筆)	1991	ガラス絵	13.0×16.6
南城一夫	うさぎ		素描・紙	17.2×14.0
浜田知明	初年兵哀歌 便所の伝説	1951	メゾチント・紙	24.1×86.0
浜田知明	副校長D氏像	1956	エッチング、アクアチント・紙	21.6×14.6
浜田知明	地方名士	1958	エッチング、アクアチント・紙	36.1×13.0
浜田知明	詩人	1963	エッチング、アクアチント・紙	26.1×21.4
浜田知明	家族(大)	1974	エッチング、アクアチント・紙	24.5×23.5
浜田知明	いらいらB	1975	エッチング、アクアチント・紙	36.2×28.0
浜田知明	教授達	1981	エッチング、アクアチント・紙	18.3×25.6
浜田知明	月夜	1987	エッチング、アクアチント・紙	26.5×15.7
浜田知明	ボタンA	1988	エッチング、アクアチント・紙	32.5×35.5
浜田知明	夜	1988	エッチング、アクアチント・紙	25.0×21.4
浜田知明	窓から〜何もしてないよ(B)	1994	エッチング、アクアチント・紙	24.4×19.5
秀島由己男	霊歌 I	1989	メゾチント・紙	29.2×16.5
秀島由己男	月夜	1981	メゾチント・紙	15.8×8.4
ヴィクトル・ヴァザルリ	オペティカルイリュージョン		リトグラフ・紙	47.8×45.5

#### 4.館蔵作品貸出状況

##### 4-1.館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
フランソワ・ボンボン	シロクマ	東京都美術館 福岡市美術館 サントリーミュージアム[天保山] 読売新聞東京本社	アール・デコ	東京都美術館 4.16-6.26 福岡市美術館 7.10-9.4 サントリー・ミュージアム[天保山] 9.15-11.6
勅使河原蒼風	ビーナス*	愛知県美術館	アジアの潜在力 －海と島が育んだ美術－	愛知県美術館 5.24-7.10
戸谷成雄	景体のバロック	長野県信濃美術館	森のくいの物語－木であそぼう・戸谷成雄 の森のなかへ－	長野県信濃美術館 9.16-11.6
小室翠雲	夏冬山水図屏風	館林市教育委員会	小室翠雲と弟子たち－南画の系譜－	館林市第一資料館 10.29-12.4

##### 4-2.館蔵品移動状況

作者名	作品名	移動先	展覧会名	会場・会期
カレル・アベル	飛ぶ魚	群馬県立近代美術館	カラフル！	群馬県立近代美術館 7.30-9.4
ニルス・ウド	ナラの葉／フランス、リムー ザン地方、ヴァシヴィエール湖			
アンディ・ウォーホル	版画集《花》10点組			

\*印は寄託作品

#### 5.保存・修復

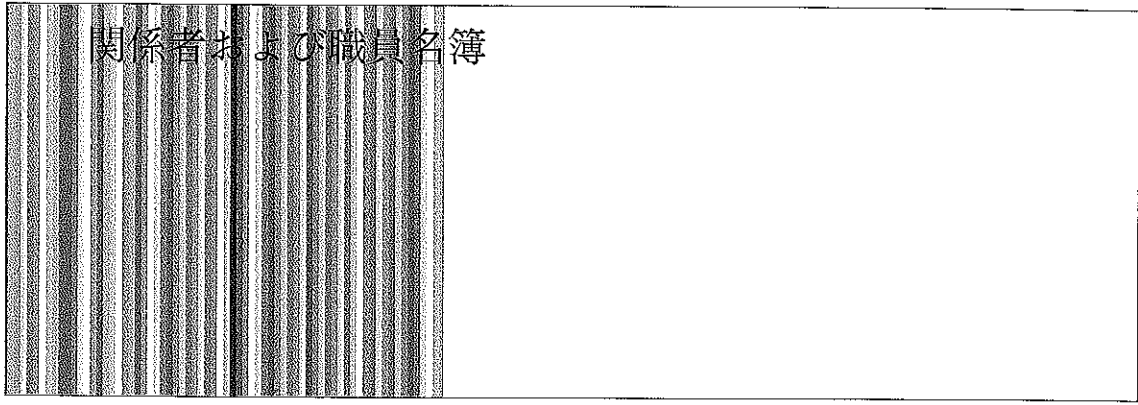
作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兔	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング

---

---

**B 図書資料その他**

平成17年度 収蔵図書							
種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	217	255	53	1	2	0	528
寄贈	69	46	411	83	78	1	688
計	286	301	464	84	80	1	1,216



(平成17年7月29日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名 職名

雪山行二 横浜美術館館長

水澤勉 神奈川県立近代美術館企画課長

横山勝彦 練馬区立美術館主査(学芸員)

古田亮 東京国立近代美術館主任研究官、企画・渉外係長

---

## 職員名簿

---

(平成17年4月1日～18年3月31日)

館長 木島俊介  
副館長 稲垣泰男  
次長 岡部王二(総務普及グループリーダー)

<総務普及グループ>

補佐 貝塚則一  
専門員(学芸員) 中島幸子  
主任 古屋達夫  
主任学芸員 伊藤佳之  
主事 堀口英子  
教育普及員 福田育恵  
最上雅世  
福田香織  
紅屋浩子  
齋藤久美子

<学芸グループ>

学芸グループリーダー  
徳江庸行  
専門員(学芸員) 松下由里  
主任学芸員 松下和美  
学芸員 伊藤香織  
学芸員 中田宏明  
資料整理員 伊羅子典代



---

群馬県立館林美術館年報 平成17年度

印刷・発行 平成19年3月

編集・発行 群馬県立館林美術館

〒374-0076

群馬県館林市日向町2003

Tel.0276-72-8188

フォーマット・デザイン

矢萩喜従郎

制作 朝日印刷工業株式会社